
川越市
障害福祉に関するアンケート
報告書
(案)

令和8年 月

目次

調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査対象・回収状況	1
3. 調査時期	1
4. 調査方法	1
5. 調査項目	2
6. この報告書における調査結果の見方	2
調査結果 I 当事者調査	3
1. 記入者・本人のことについて	3
（1）この調査票に記入する方はどなたですか。	3
（2）あなたの性別をお答えください。	4
（3）あなたの年齢を以下の欄にご記入ください。（令和7年9月1日 現在）	5
（4）あなたの昨年1年間のおおよその総収入額をご記入ください。	6
（5）あなたの生活を支えている収入は次のうちどれですか。（MA）	7
2. 障害の状況について	8
（1）身体障害者手帳を持っていますか。	8
（2）身体障害者手帳を持っている方は、主な障害をお答えください。	9
（3）療育手帳を持っていますか。	10
（4）精神障害者保健福祉手帳を持っていますか。	11
（5）難病（指定難病、特定疾患、指定疾患、小児慢性特定疾病）の認定を受けていますか。	12
（6）発達障害と診断されたことはありますか。	13
（7）高次脳機能障害と診断されたことはありますか。	14
（8）障害支援区分の認定を受けていますか。	15
（9）介護保険で介護サービスを利用していますか。	16
3. 介助等の状況について	17
（1）主にあなたの介助をしているのはどなたですか。	17
4. 健康状態や医療について	18
（1）健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。	18
（2）困ったり不便に思うことは何ですか。（MA）	19
（3）現在、医療的ケアを受けていますか。	20
（4）あなたの医療的ケアを行っている方はどなたですか。（MA）	21
5. 外出や余暇の過ごし方について	22
（1）1週間にどのくらい外出しますか。	22
（2）普段はどなたと一緒に外出していますか。（MA）	23
（3）外出の際に困っていることはありますか。	24

(4) どのようなことに困っていますか。(MA)	25
(5) 1年間で次の活動をする機会がありましたか。(MA)	26
(6) 今後してみたいですか。(MA)	27
(7) 先ほど(問19)の活動をするにはどんなことが必要だと思いますか。(MA) ..	28
6. 通学・通園の状況について	29
(1) 幼稚園や保育所、学校等に通っていますか。	29
(2) 幼稚園や保育所、学校等に通うにあたって困っていることはありますか。 .	30
(3) 困っていることは何ですか。(MA)	31
7. 入所期間・理由について	32
(1) 現在の施設に入所している期間をご記入ください。(1年未満は0とご記入く	
ださい)	32
(2) 現在の施設へ入所することを決めた理由は何ですか。(MA)	32
8. 施設での生活について	33
(1) この1年間でどのくらい自宅に帰りましたか。	33
(2) 現在入所している施設の生活に満足していますか。	33
9. 雇用・就労について	34
(1) 現在、仕事をしていますか。	34
(2) 現在の職場で何年働いていますか。	35
(3) 現在の仕事はどのようにして見つけましたか。	36
(4) どのような勤務形態で働いていますか。	37
(5) 1週あたりの勤務日数	38
(6) 1日あたりの勤務時間	39
(7) 仕事をする上で困っていることはありますか。	40
(8) 仕事をする上で主に困っていることは何ですか。(MA)	41
(9) 仕事を辞めた理由は何ですか。(MA)	42
(10) 障害のある人の就労を促進するためには何が必要だと思いますか。(MA) ...	43
10. 現在の暮らしと今後の希望について	44
(1) 現在どこで暮らしていますか。	44
(2) 将来どこで暮らしたいですか。	45
(3) 施設での生活を続けたい理由は何ですか。(MA)	46
(4) 施設を出たい理由は何ですか。(MA)	46
(5) 現在誰と暮らしていますか。(MA)	47
(6) 将来誰と一緒に暮らしたいですか。(MA)	48
(7) 現在、主に日中をどのように過ごしていますか。	49
(8) 近い将来(今後3年以内)どのように過ごしたいですか。	50
(9) 卒業したら、どのように日中を過ごす予定ですか。また、希望としてはどの	
ように過ごしたいですか。	51
(10) 希望としてはどのように過ごしたいですか。	51
(11) 日中、自宅で過ごしていてどんなことで困っていますか。(MA)	52
(12) 近い将来、日中を主に自宅で過ごしたいと思う理由は何ですか。	53

(13) 障害のある人が地域で生活していくためには何が必要だと思いますか。(MA)	54
11. 相談や情報入手について	55
(1) 現在の生活で困っていることや悩んでいることはありますか。	55
(2) 困っていることや悩んでいることは何ですか。(MA)	56
(3) 普段、悩みや困ったことなどをどこ(誰)に相談しますか。(MA)	57
(4) 相談できない理由は何ですか。(MA)	58
(5) 福祉サービス内容について、どのようなもので知ることが多いですか。(MA)	59
12. 福祉サービスについて	60
(1) 次の障害福祉サービスを利用していますか。今後3年以内にどのくらい利用したいですか。	60
13. 災害時の支援等について	64
(1) 災害時に一人(自力)で避難することはできますか。	64
(2) 災害発生時に困ることや不安なことはありますか。	65
(3) 困ることや不安なことは何ですか。(MA)	66
14. 障害者への理解や権利擁護について	67
(1) 「障害者週間の集い」を知っていましたか。	67
(2) 「成年後見制度」について知っていましたか。	68
(3) 「地域共生社会」を知っていましたか。	69
(4) 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」を知っていましたか。	70
(5) 障害があることで差別を受けたり嫌な思いをしたりすることはありますか。	71
(6) それはどのような場面ですか。(MA)	72
(7) 障害に対する市民の理解について、進んでいると感じますか。	73
15. 市の取り組み等について	74
(1) 次の市の取り組みで、改善してほしいことを教えてください。(3LA)	74
(2) 次の市の取り組みで、満足していることを教えてください。(3LA)	75
16. 市の障害者施策の満足度について	76
(1) 川越市の障害者施策について、満足していますか。	76
17. 介助者向けアンケート	77
(1) ご本人との関係は次のうちどれですか。	77
(2) 年齢を以下にご記入ください。(令和7年9月1日現在)	78
(3) 介助者に必要と思われる支援はありますか。(MA)	79
調査結果Ⅱ 障がいのない市民向け調査	80
1. 記入者・本人のことについて	80
(1) あなたの性別をお答えください。	80
(2) 年齢	80

2. 障害者との関わりについて.....	81
(1) 身近に障害のある人はいますか。(MA).....	81
(2) 普段の生活で、障害のある人と接する機会がありますか。.....	81
(3) 障害のある人と接するのはどのような場面ですか。(MA).....	82
3. 障害福祉の知識について.....	83
(1) 「障害者週間の集い」を知っていますか。.....	83
(2) 「成年後見制度」について知っていましたか。.....	83
(3) 「地域共生社会」を知っていますか。.....	84
(4) 「ヘルプマーク」を知っていますか。.....	84
(5) 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」を知っていますか。.....	85
4. 障害への理解について.....	86
(1) 障害のある人への差別や偏見を感じたことはありますか。.....	86
(2) どのような場面で差別や偏見を感じましたか。(MA).....	86
(3) あなた自身に障害のある人に対して差別や偏見があると思いますか。.....	87
(4) 障害のある人への誤解や偏見を解消するためにどのようなことが必要だと思いますか。(MA).....	87
(5) 障害のある人が地域で生活するためには何が必要だと思いますか。(MA)...	88

調査の概要

1. 調査目的

次期川越市障害者支援計画（令和9年度～）を策定するにあたり、障害のある方やその介助者等（以下、障害者等という）へアンケート調査を行い、障害者等の生活上の課題やニーズ、状況の変化を把握します。

2. 調査対象・回収状況

「障害者手帳所持者等（身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者）」、「特別支援学校高等部3年生」、「障害者支援施設利用者及びグループホーム利用者（以下、施設・グループホーム利用者）」、「障がいのない市民」を対象に調査を実施しました。

調査対象		抽出者数	調査票 回収数	回収率
I 当事者調査	障害者手帳所持者等	3,200	1,651	51.6%
	身体障害者	800	450	56.3%
	知的障害者	800	389	48.6%
	精神障害者	800	367	45.9%
	難病患者	800	445	55.6%
	（発達障害者※）	-	357	-
	（高次脳機能障害者※）	-	45	-
	特別支援学校高等部3年生	44	18	40.9%
	施設・グループホーム利用者	511	248	48.5%
II	障がいのない市民	800	327	40.9%

※「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

3. 調査時期

令和7年9月5日～10月31日

4. 調査方法

- ・対象者を無作為抽出し、調査票を郵送により配布
- ・回答方法は、「紙の調査票に回答して郵送」と「電子申請（オンライン回答）」から回答者が選択

5. 調査項目

I 当事者調査

- A. 記入者・本人のことについて
 - B. 障害の状況について
 - C. 介助等の状況について
 - D. 健康状態や医療について
 - E. 外出や余暇の過ごし方について
 - F. 通学・通園の状況について（「障害者手帳所持者等」のみ）
 - H. 入所期間・理由について（「施設・グループホーム利用者」のみ）
 - I. 施設での生活について（「施設・グループホーム利用者」のみ）
 - J. 雇用・就労について（「障害者手帳所持者等」および「施設・グループホーム利用者」のみ）
 - K. 現在の暮らしと今後の希望について
 - L. 相談や情報入手について
 - M. 福祉サービスについて
 - N. 災害時の支援等について
 - O. 障害者への理解や権利擁護について
 - P. 市の取り組み等について
 - Q. 市の障害者施策の満足度について
- ※介助者向けアンケート

調査結果Ⅱ 障がいのない市民向け調査

- A. 記入者・本人のことについて
- B. 障害者との関わりについて
- C. 障害福祉の知識について
- D. 障害への理解について

6. この報告書における調査結果の見方

- ・調査結果の数値は、回答率(%)で表示しています。回答率(%)の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数はn=で示しています。
- ・回答率(%)については、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しています。そのため回答率(%)の合計数値は100%とはならない場合があります。
- ・回答には、単一回答(○は1つ)と複数回答(○は複数)があり、複数回答の場合は回答率(%)の合計数値は100%を超える場合があります。
- ・本文、表、グラフの間のタイトル及び回答の選択肢は、簡略化して表現している場合があります。

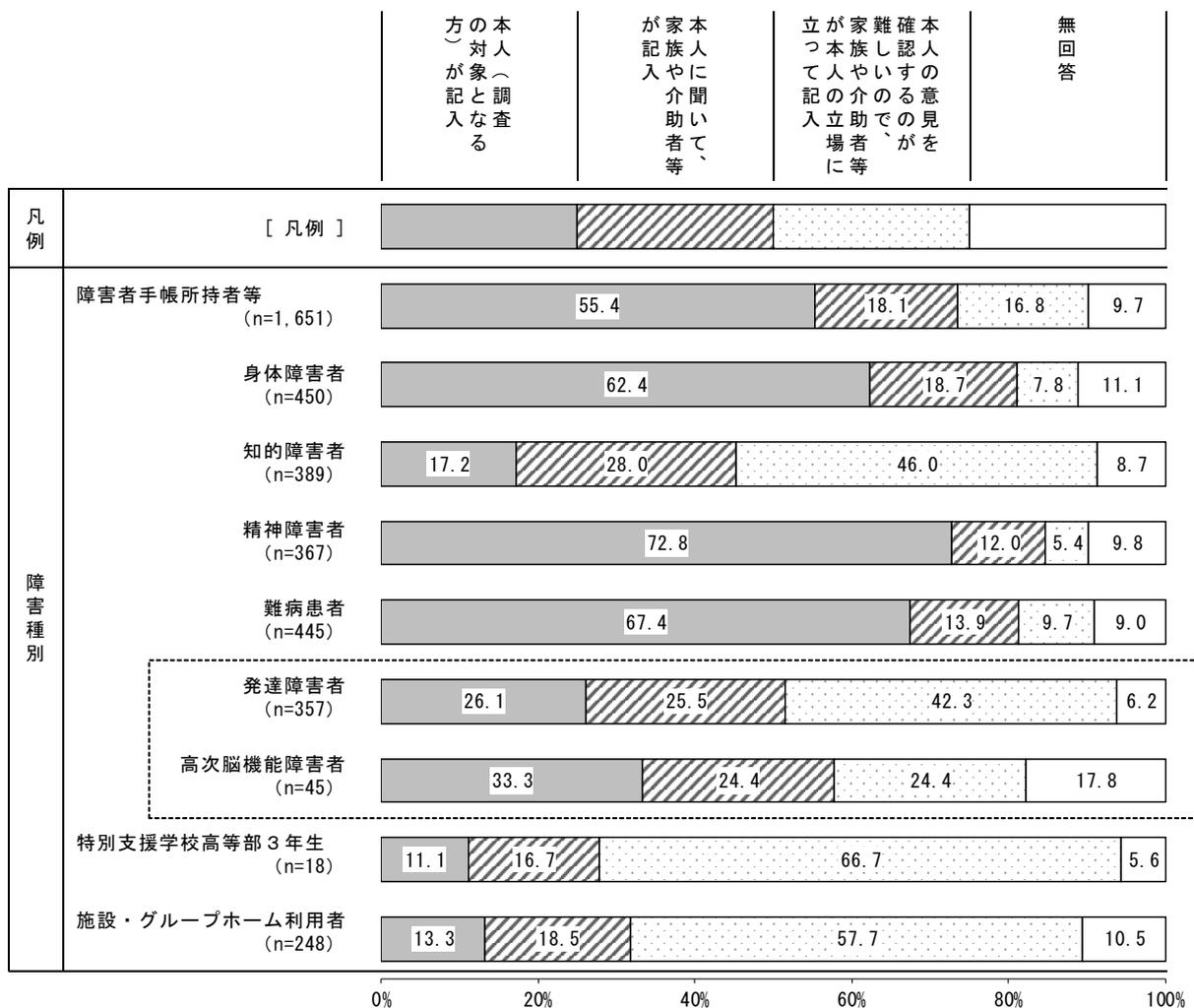
調査結果 I 当事者調査

1. 記入者・本人のことについて

(1) この調査票に記入する方はどなたですか。

- 記入者について、障害者手帳所持者等は「本人（調査の対象となる方）が記入」、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者は「本人の意見を確認するのが難しいので、家族や介助者等が本人の立場に立って記入」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者、高次脳機能障害者は「本人（調査の対象となる方）が記入」、知的障害者、発達障害者は「本人の意見を確認するのが難しいので、家族や介助者等が本人の立場に立って記入」が最も多くなっています。

【記入者】

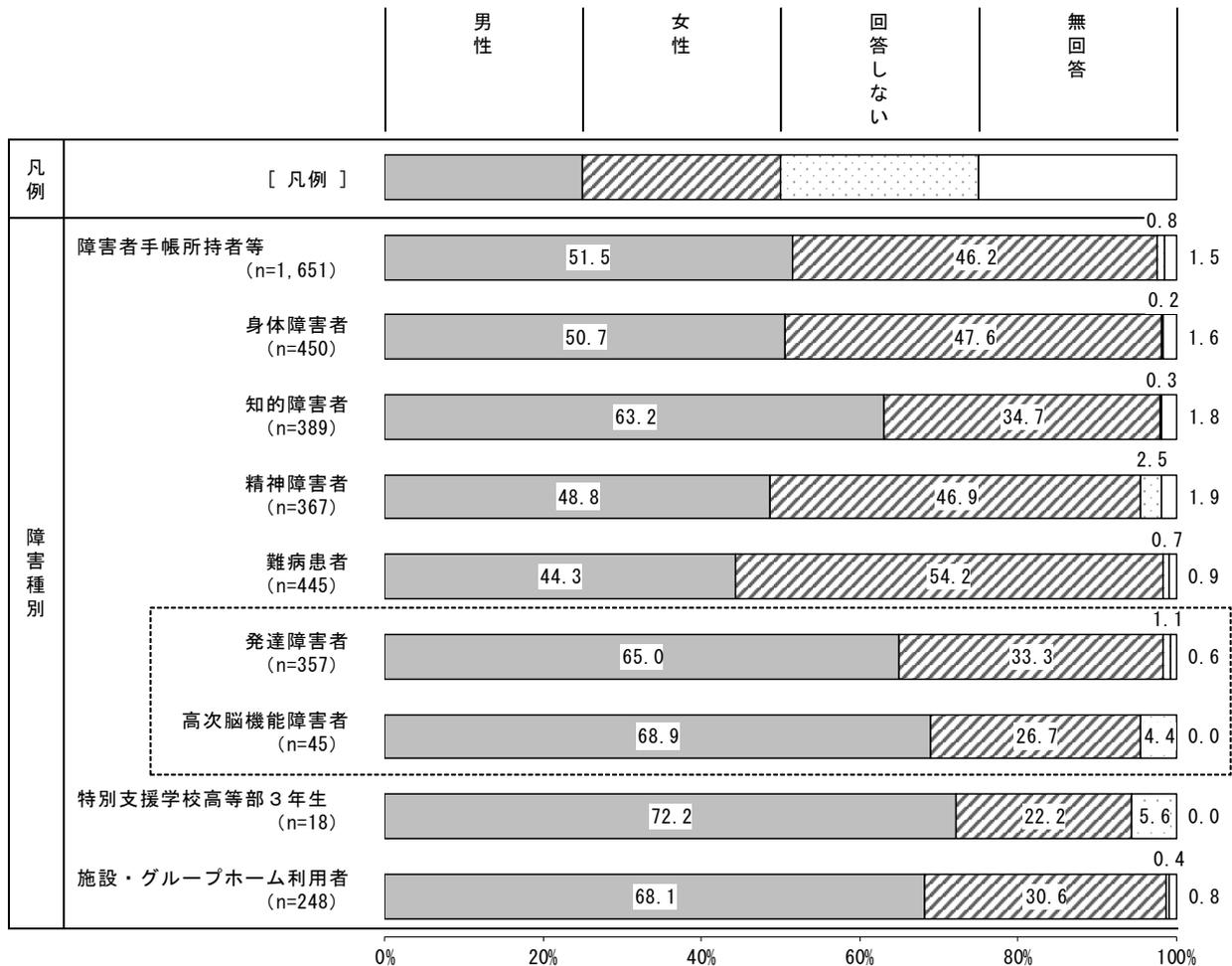


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(2) あなたの性別をお答えください。

- 性別について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「男性」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「男性」、難病患者は「女性」が最も多くなっています。

【性別】

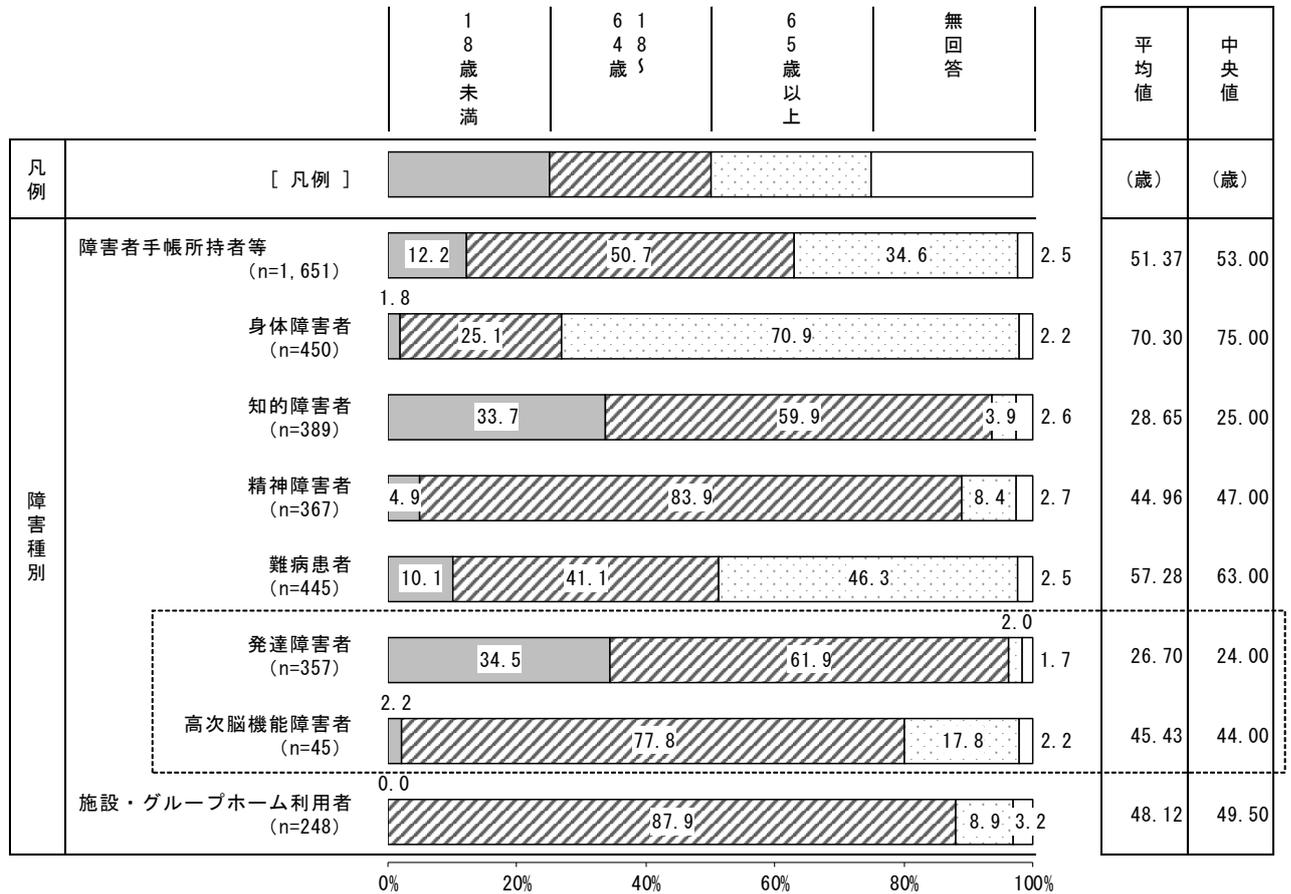


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(3) あなたの年齢を以下の欄にご記入ください。(令和7年9月1日 現在)

- 年齢について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者ともに「18～64歳」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、難病患者は「65歳以上」、知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「18～64歳」が最も多くなっています。

【年齢】

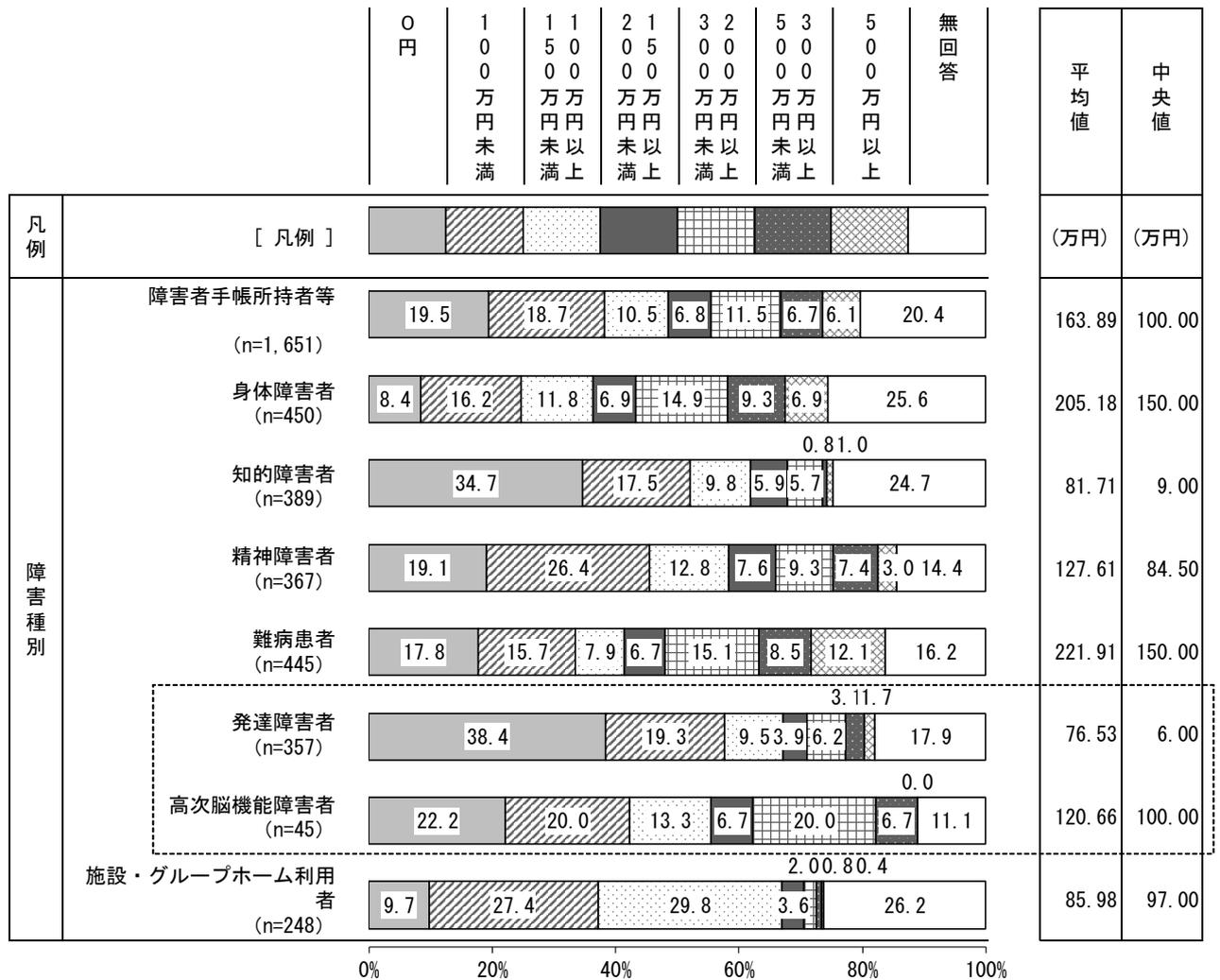


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(4) あなたの昨年1年間のおおよその総収入額をご記入ください。

- 収入額について、障害者手帳所持者等は「0円」、施設・グループホーム利用者は「100万円以上150万円未満」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者は「100万円未満」、知的障害者、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者は「0円」が最も多くなっています。

【収入額】

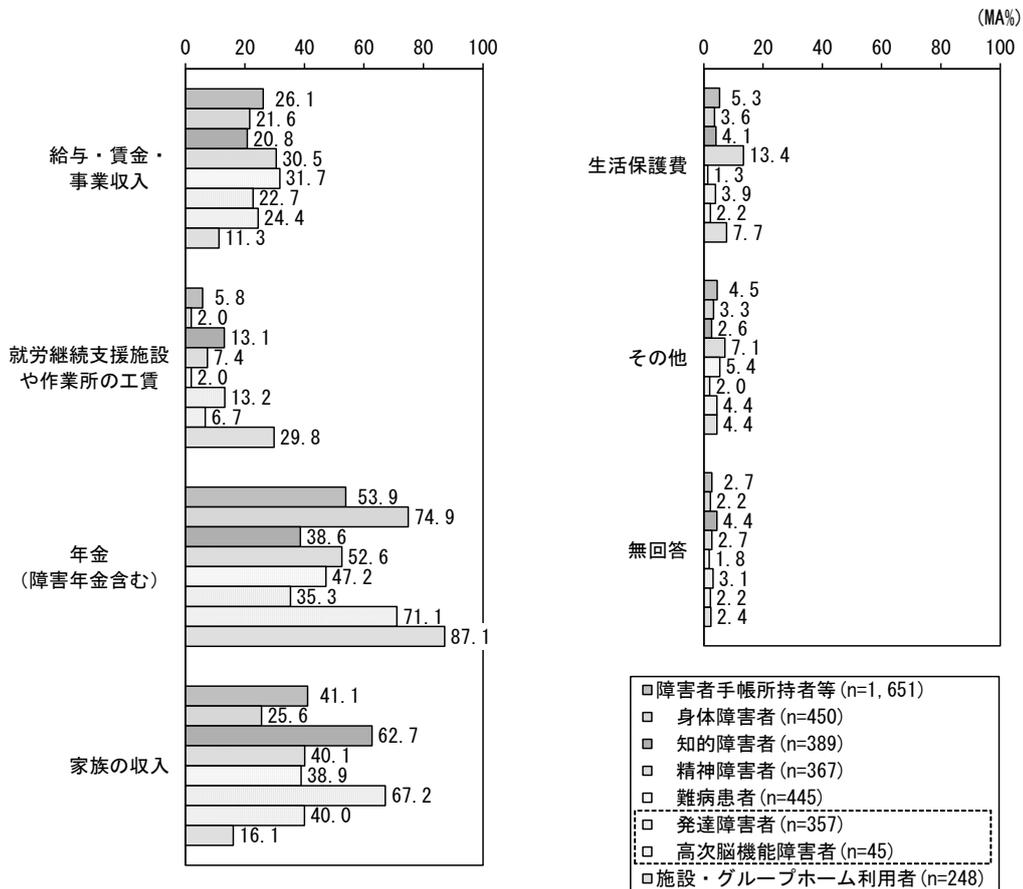


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(5) あなたの生活を支えている収入は次のうちどれですか。(MA)

- 収入源について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者ともに「年金（障害年金含む）」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者、高次脳機能障害者は「年金（障害年金含む）」、知的障害者、発達障害者は「家族の収入」が最も多くなっています。

【収入源】



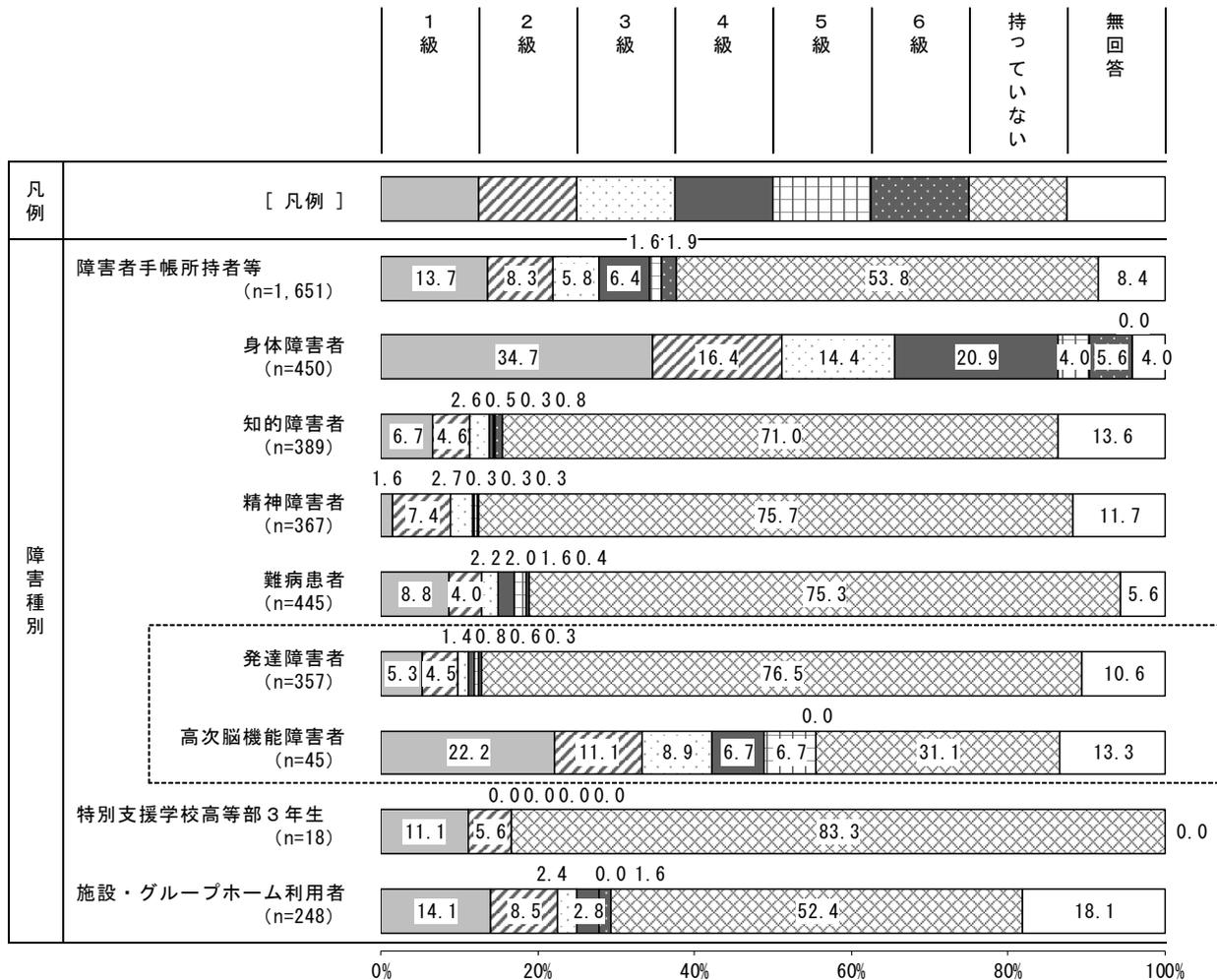
注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

2. 障害の状況について

(1) 身体障害者手帳を持っていますか。

- 身体障害者手帳の有無について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「持っていない」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者は「1級」、知的障害者は「1級」、精神障害者は「1級」、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者は「持っていない」が最も多くなっています。

【身体障害者手帳の有無】

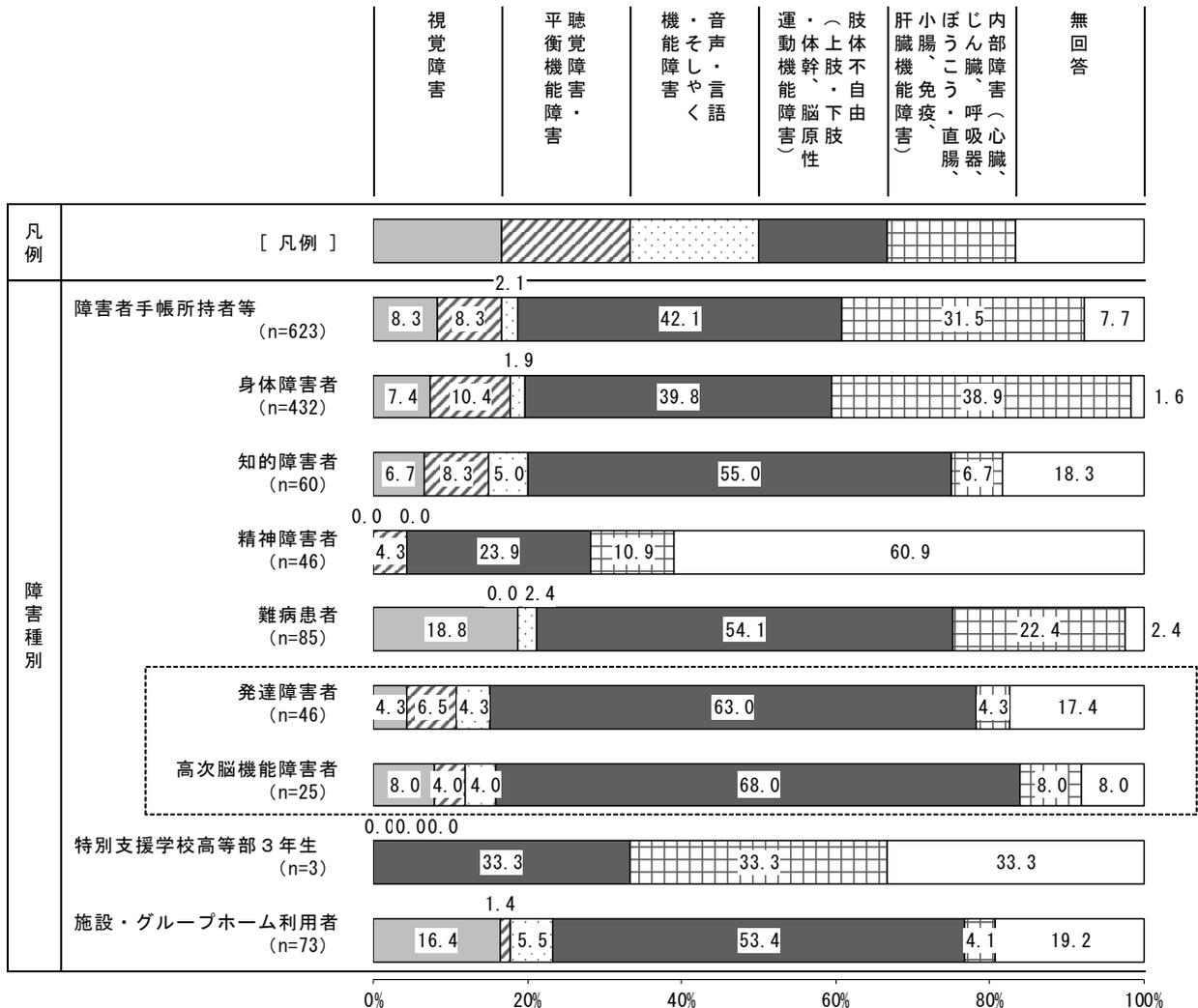


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(2) 身体障害者手帳を持っている方は、主な障害をお答えください。

- 身体障害の部位について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者は「肢体不自由（上肢・下肢・体幹、脳原性運動機能障害）」、特別支援学校高等部3年生は「肢体不自由（上肢・下肢・体幹、脳原性運動機能障害）」と「内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫、肝臓機能障害）」が最も多くなっています。

【身体障害の部位】

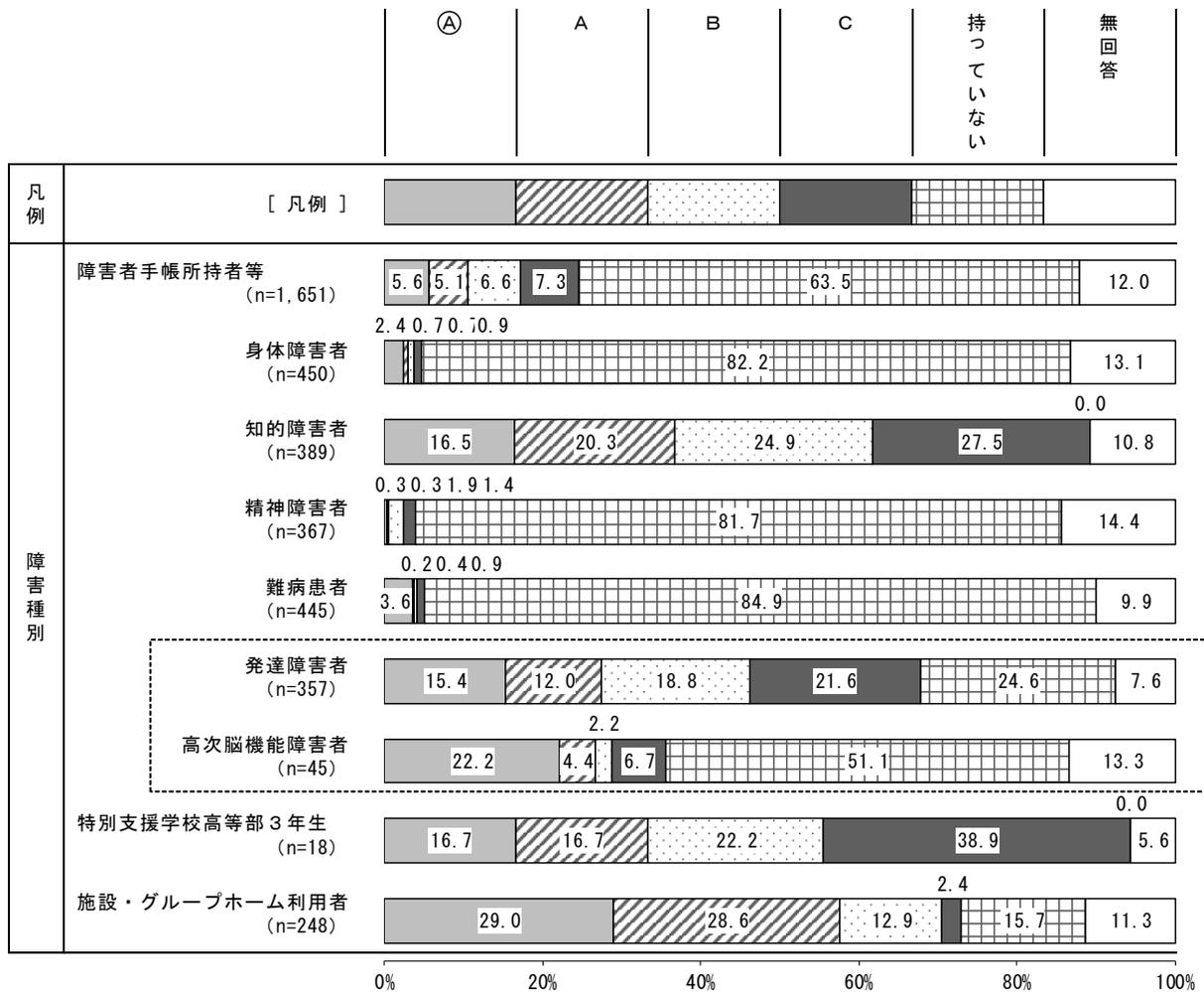


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(3) 療育手帳を持っていますか。

- 療育手帳の有無について、障害者手帳所持者等は「持っていない」、特別支援学校高等部3年生は「C」、施設・グループホーム利用者は「A」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者は「持っていない」、知的障害者は「C」が最も多くなっています。

【療育手帳の有無】

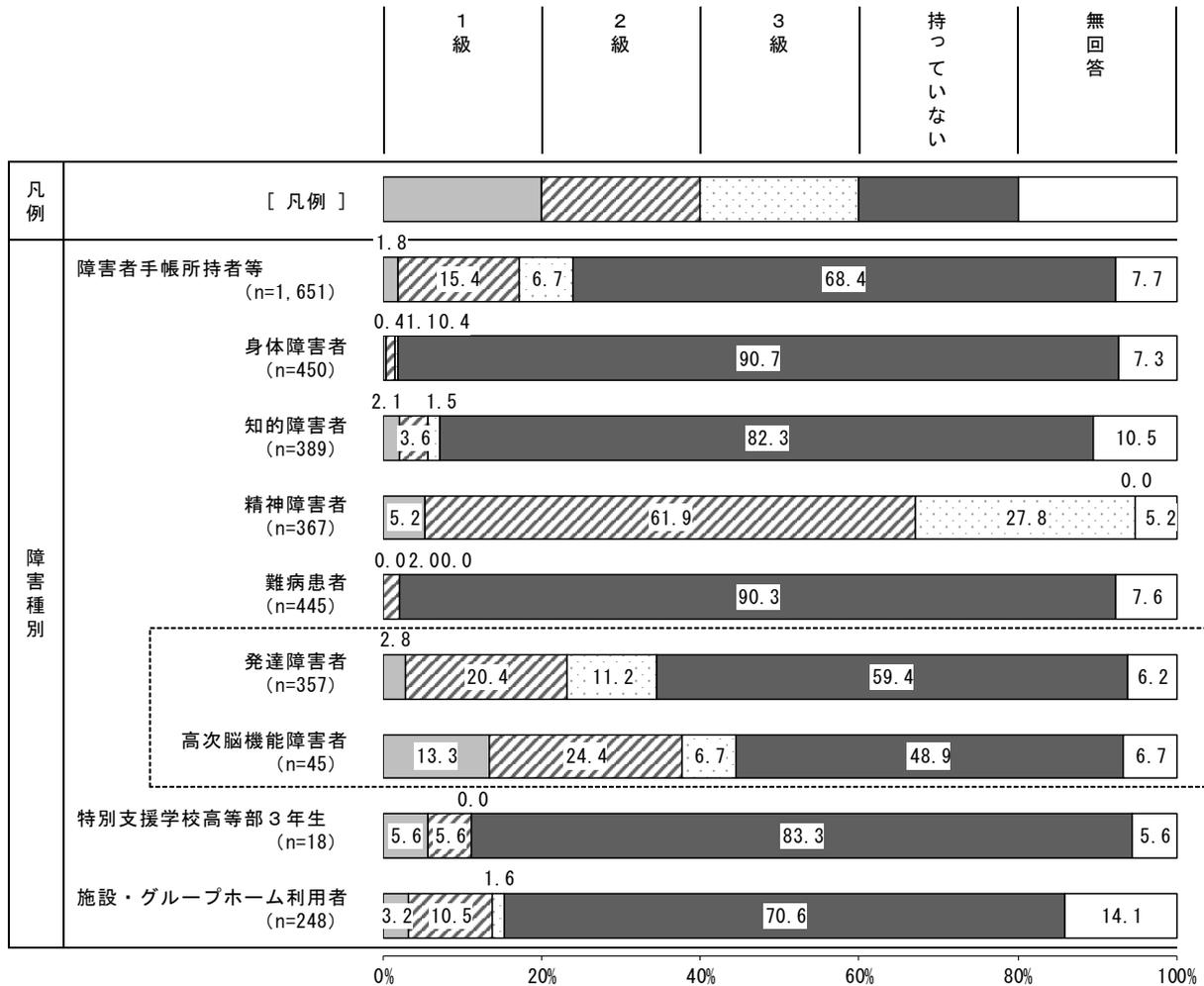


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(4) 精神障害者保健福祉手帳を持っていますか。

- 精神障害者保健福祉手帳の有無について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「持っていない」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、知的障害者、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者は「持っていない」、精神障害者は「2級」が最も多くなっています。

【精神障害者保健福祉手帳の有無】

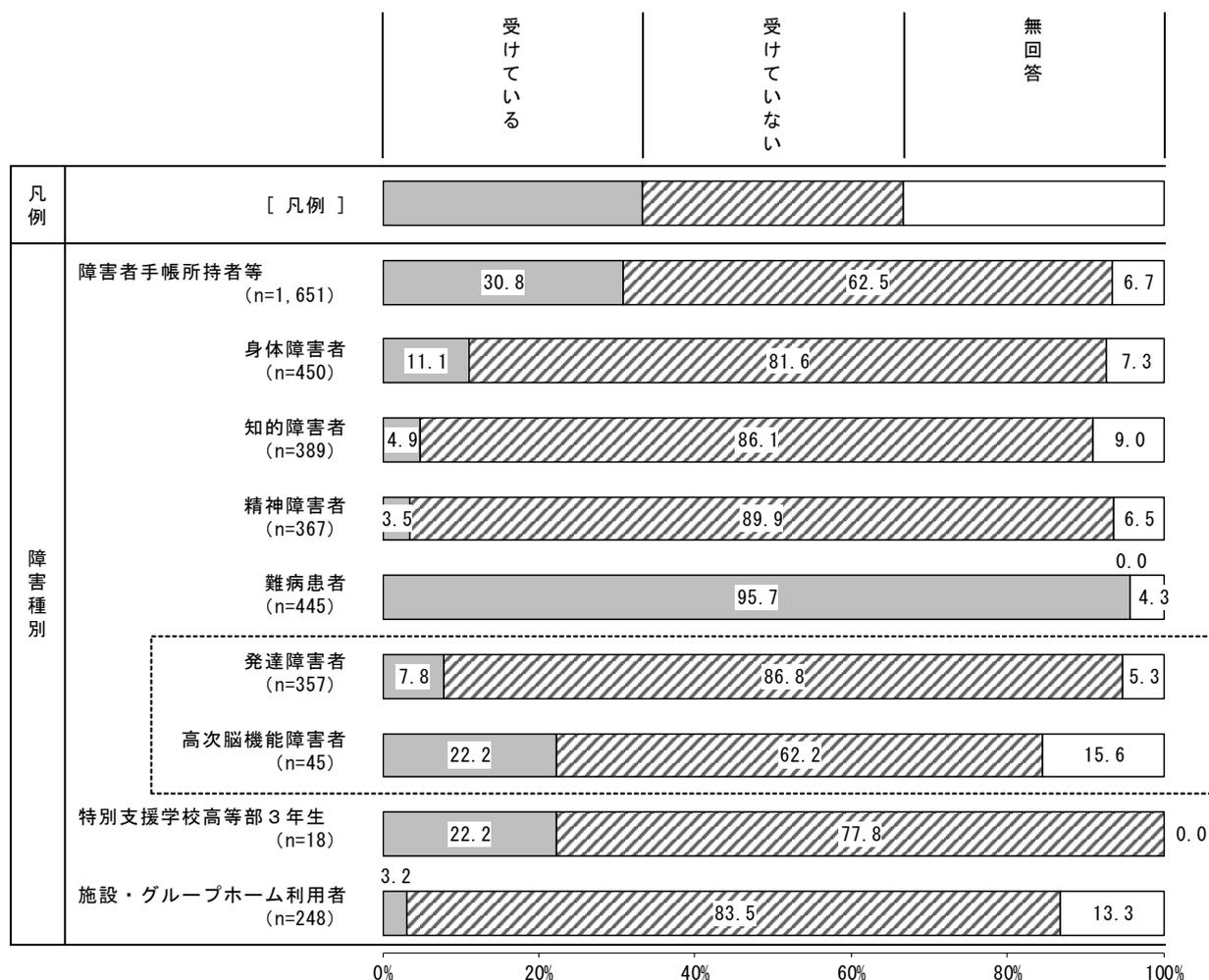


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(5) 難病（指定難病、特定疾患、指定疾患、小児慢性特定疾病）の認定を受けていますか。

- 難病認定の有無について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「受けていない」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「受けていない」、難病患者は「受けている」が最も多くなっています。

【難病認定の有無】

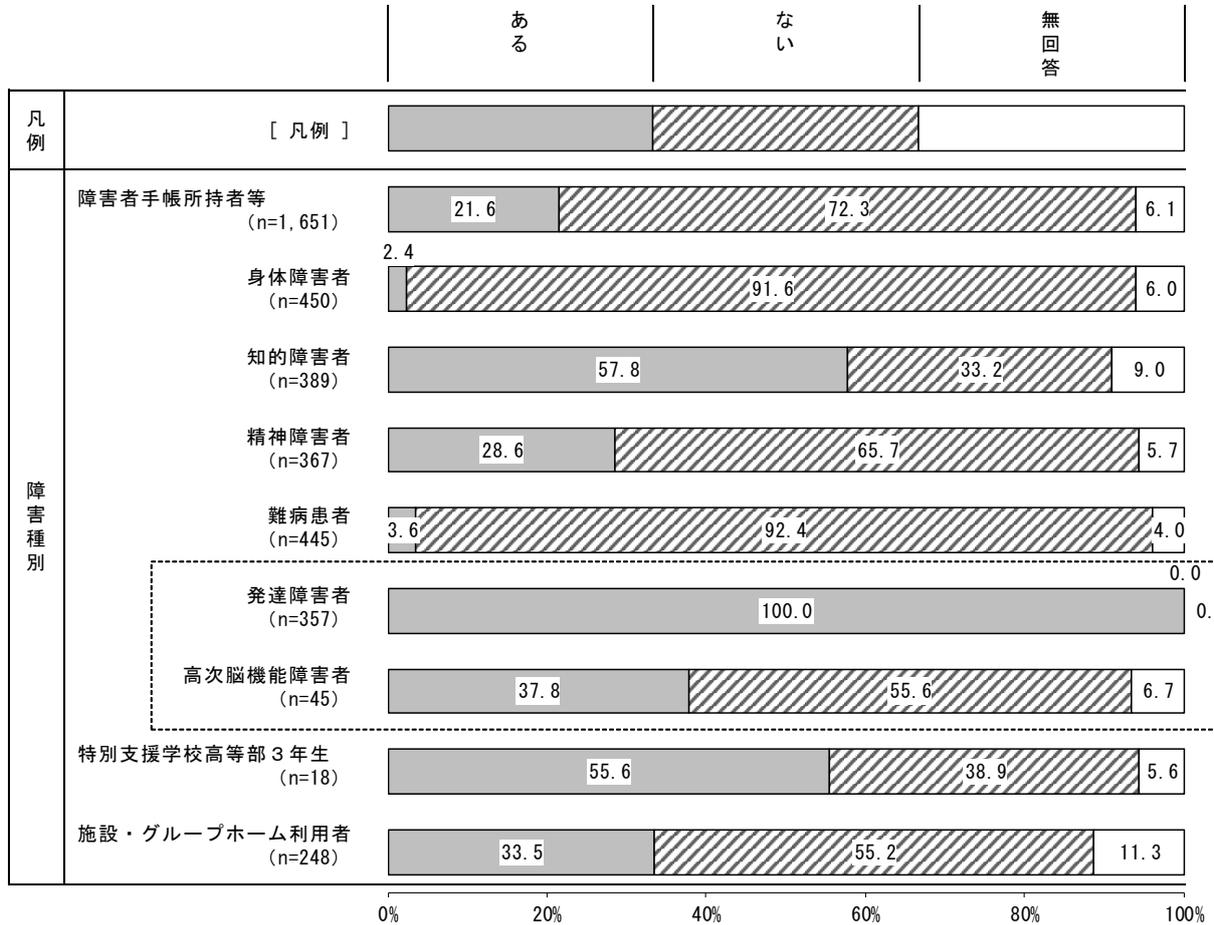


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(6) 発達障害と診断されたことはありますか。

- 発達障害の有無について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者は「ない」、特別支援学校高等部3年生は「ある」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者、高次脳機能障害者は「ない」、知的障害者、発達障害者は「ある」が最も多くなっています。

【発達障害の有無】

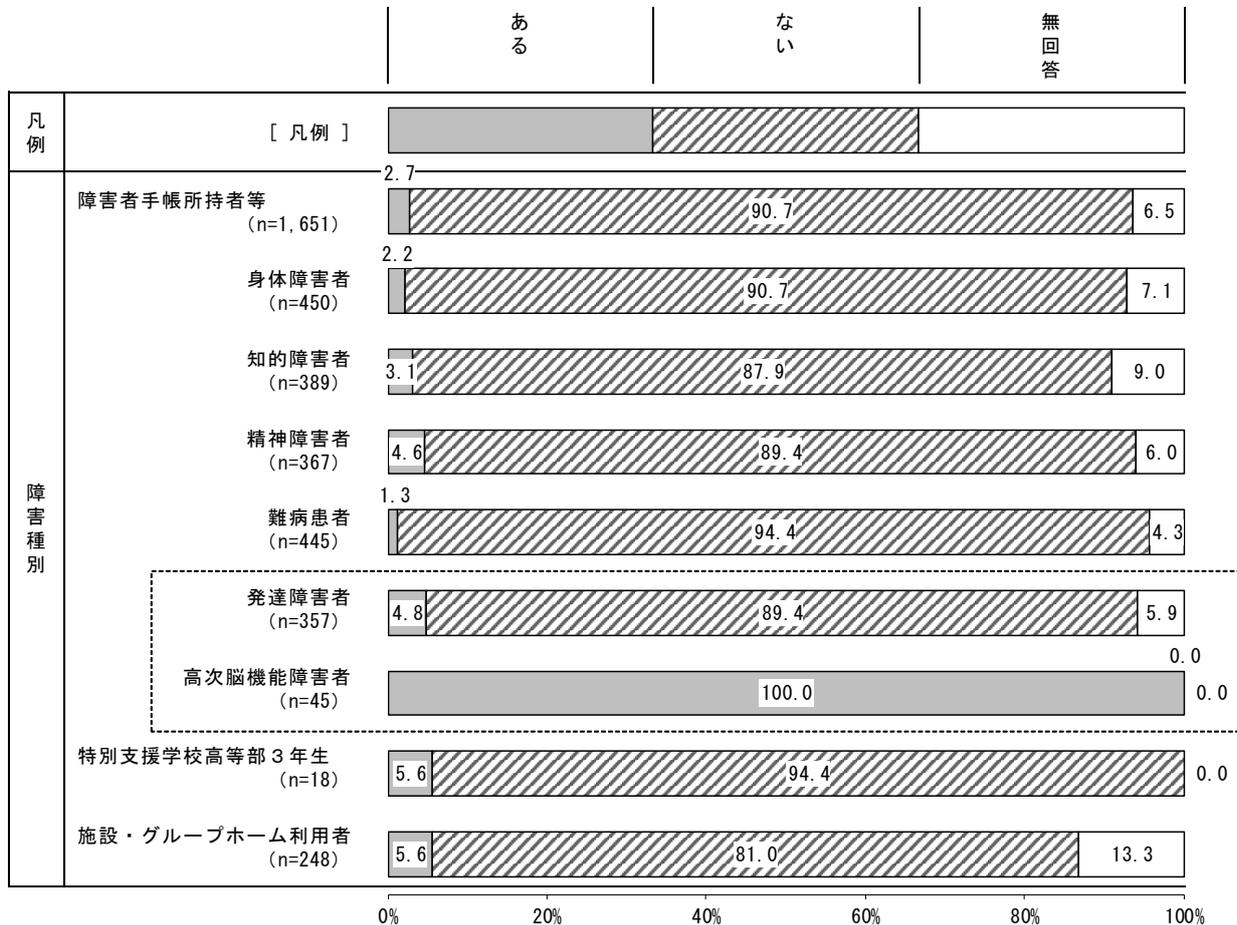


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(7) 高次脳機能障害と診断されたことはありますか。

- 高次脳機能障害の有無について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「ない」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者、発達障害者は「ない」、高次脳機能障害者は「ある」が最も多くなっています。

【高次脳機能障害の有無】

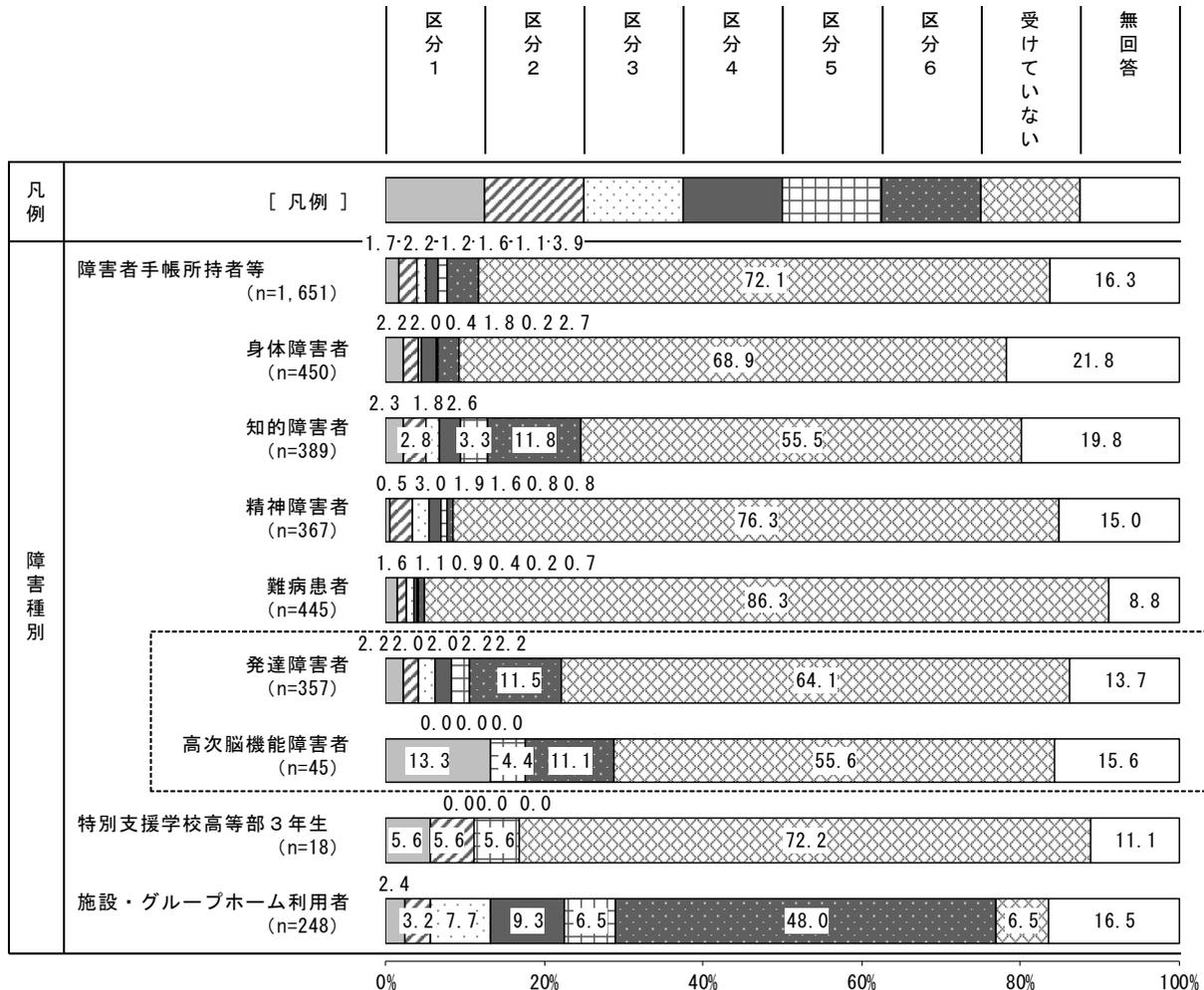


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(8) 障害支援区分の認定を受けていますか。

- 障害支援区分について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生は「受けていない」、施設・グループホーム利用者は「区分6」が最も多くなっています。

【障害支援区分】

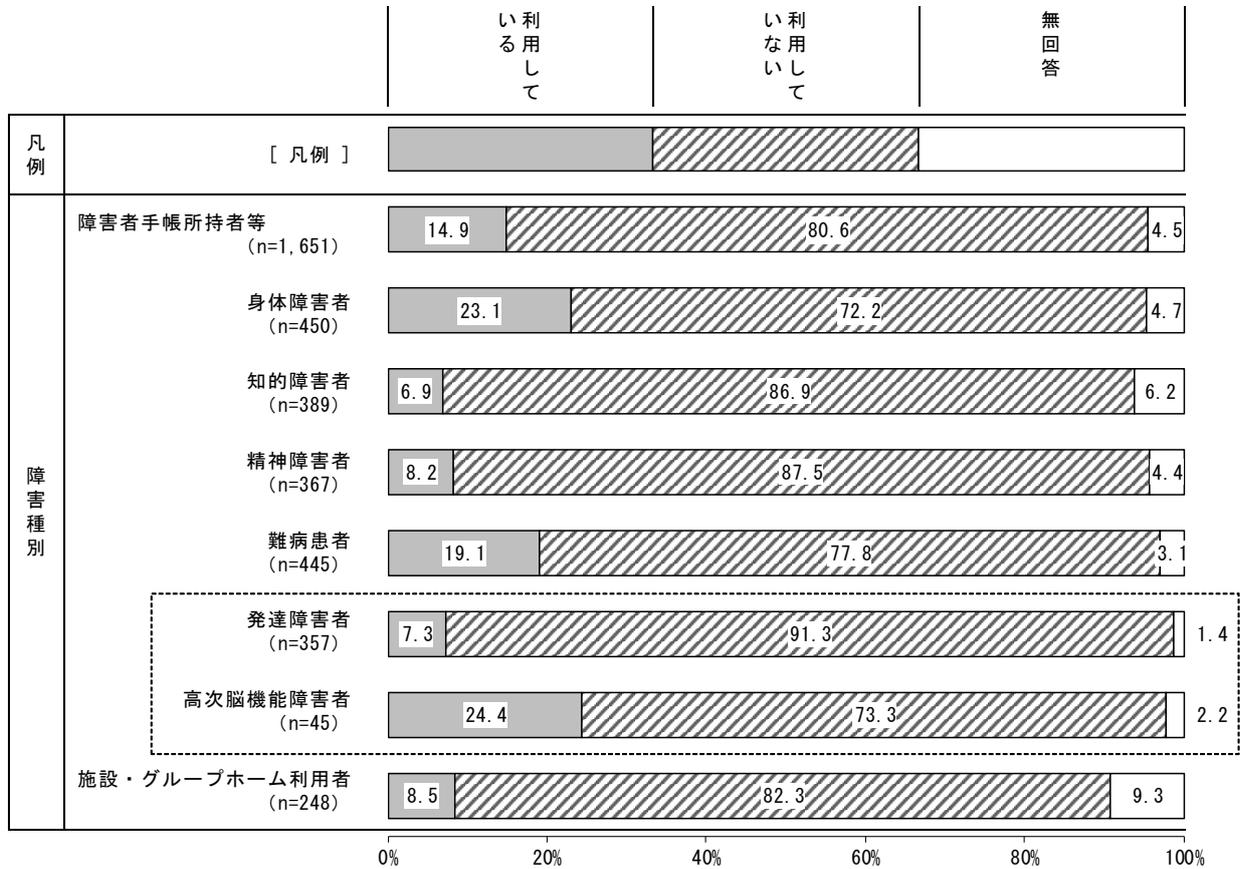


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(9) 介護保険で介護サービスを利用していますか。

○ 介護保険サービスの利用状況について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者ともに「利用していない」が最も多くなっています。

【介護保険サービスの利用状況】



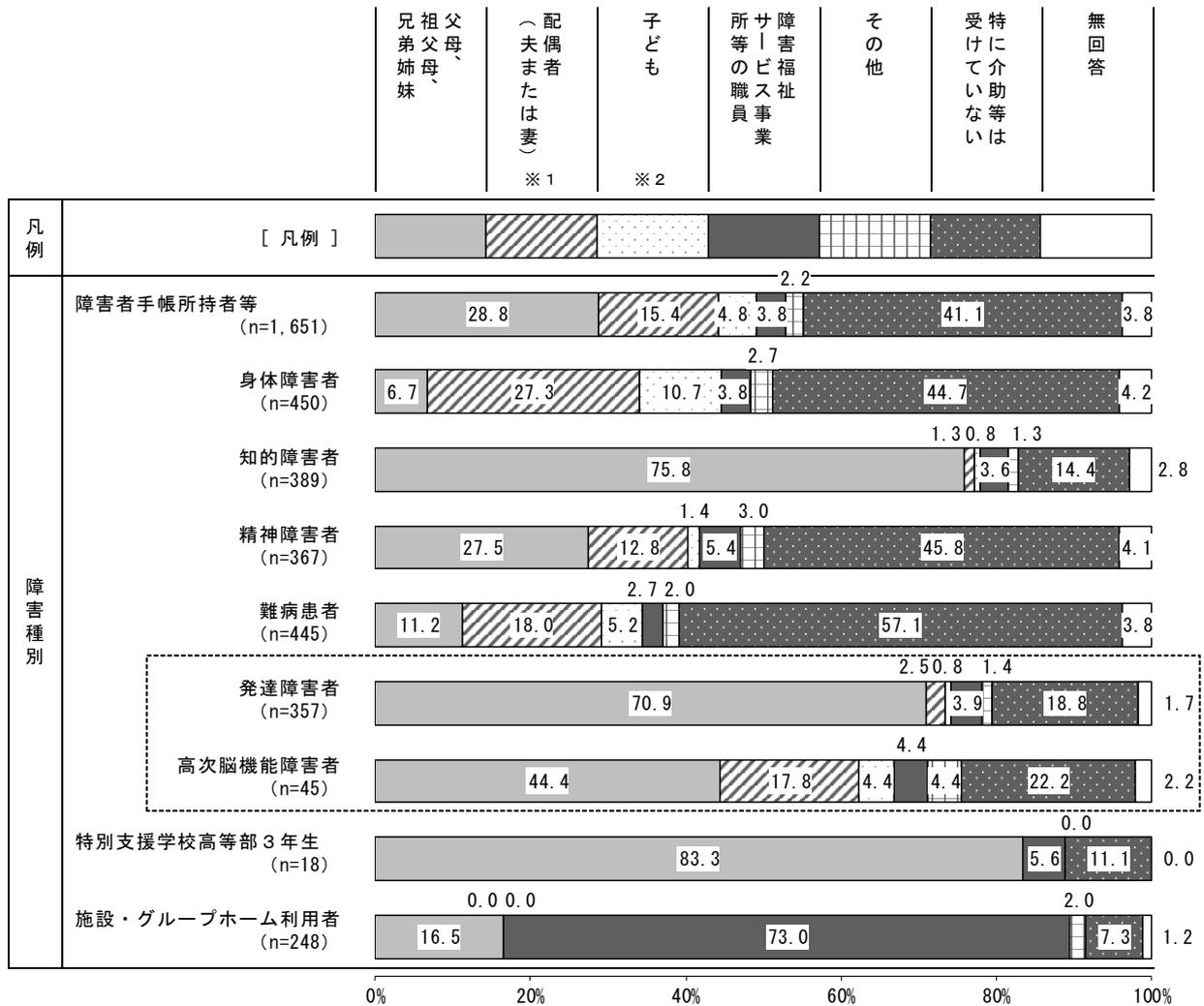
注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

3. 介助等の状況について

(1) 主にあなたの介助をしているのはどなたですか。

- 主な介助者について、障害者手帳所持者等は「特に介助等は受けていない」、特別支援学校高等部3年生は「父母、祖父母、兄弟姉妹」、施設・グループホーム利用者は「障害福祉サービス事業所等の職員」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者は「特に介助等は受けていない」、知的障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「父母、祖父母、兄弟姉妹」が最も多くなっています。

【主な介助者】



※1、※2 「配偶者（夫または妻）」「子ども」は、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者のみの選択肢

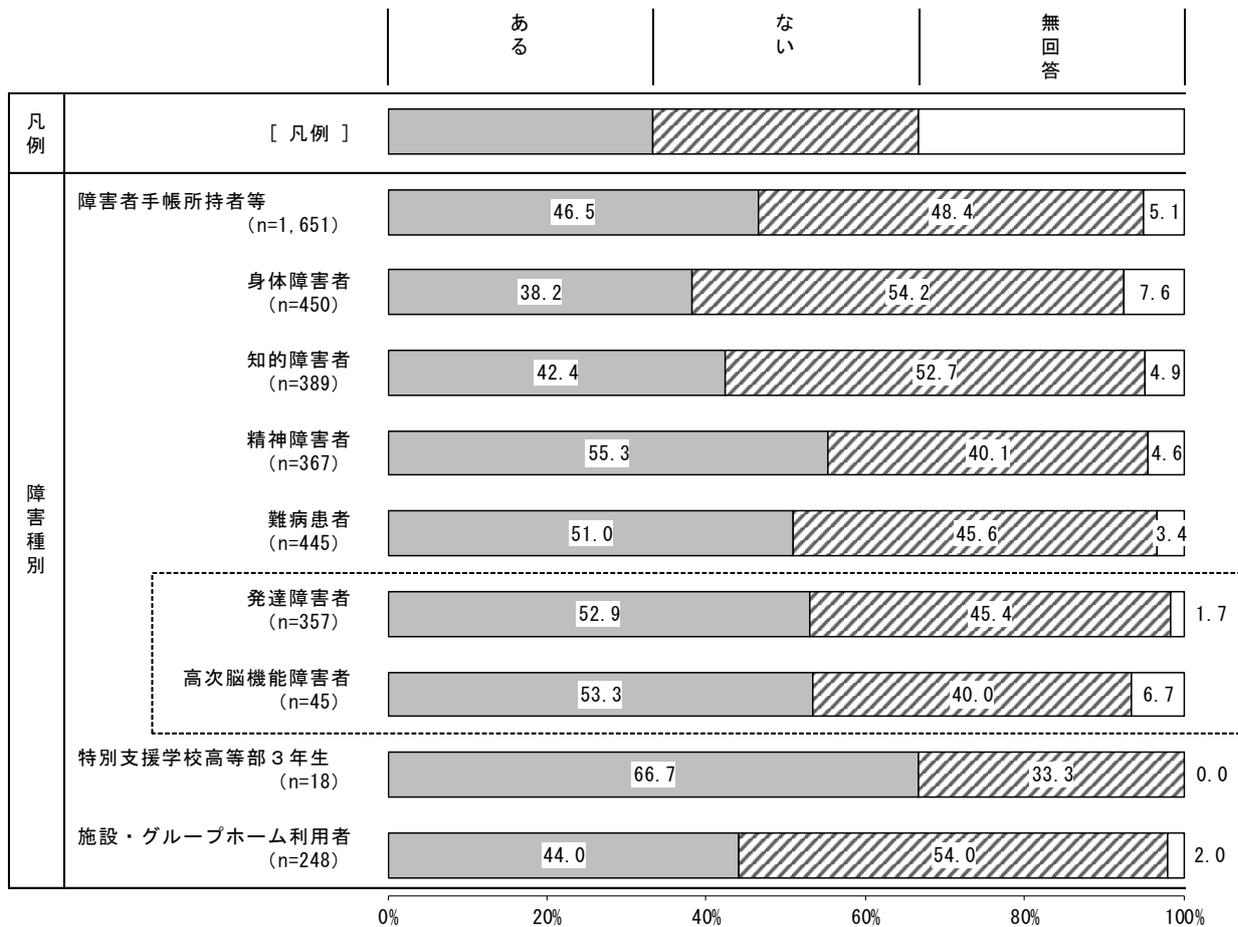
注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

4. 健康状態や医療について

(1) 健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。

- 健康管理や医療について困ったり不便に思うことの有無について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者は「ない」、特別支援学校高等部3年生は「ある」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、知的障害者は「ない」、精神障害者、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者は「ある」が最も多くなっています。

【健康管理や医療について困ったり不便に思うことの有無】

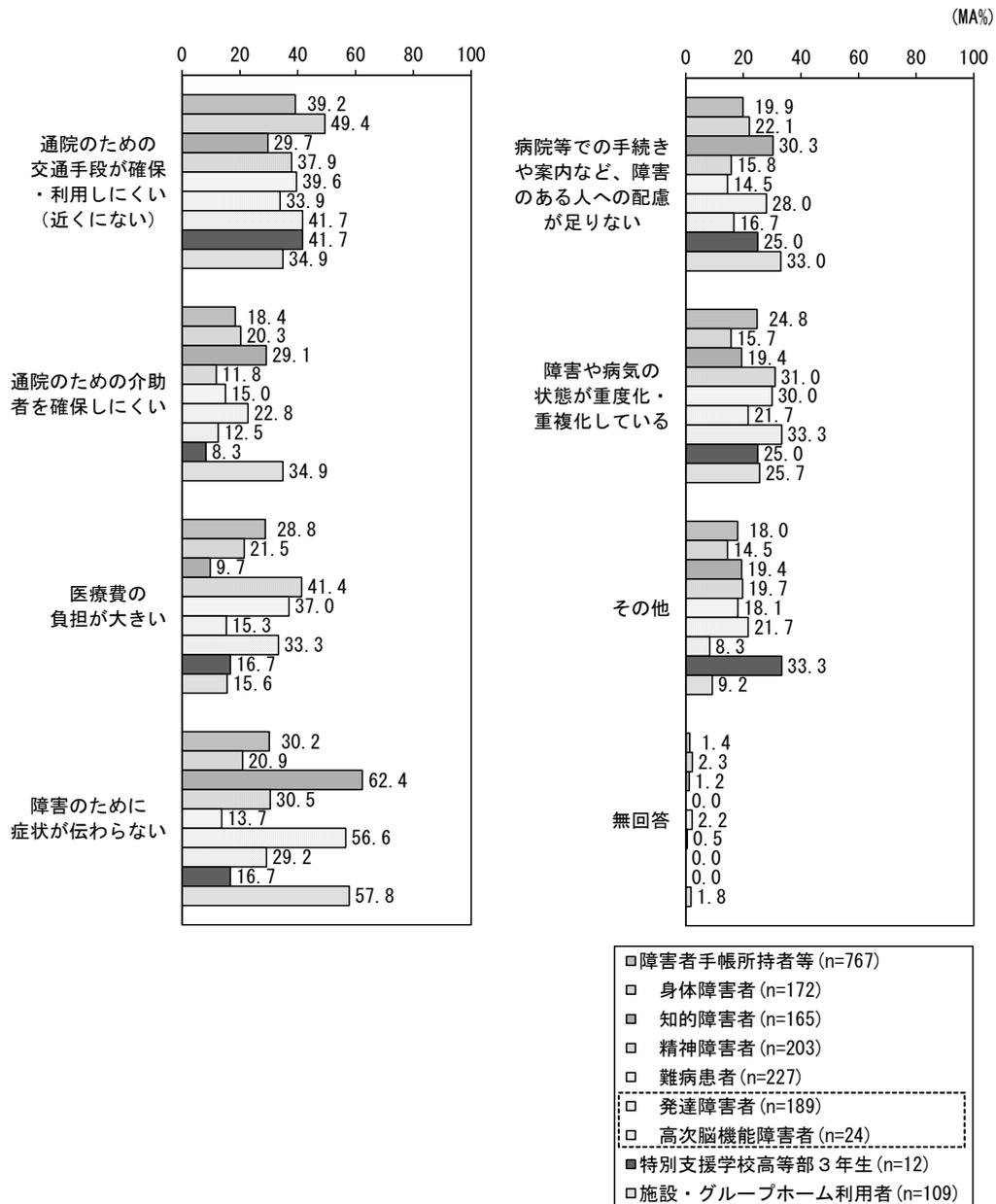


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(2) 困ったり不便に思うことは何ですか。(MA)

- 健康管理や医療につい困ったり不便に思うことについて、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生は「通院のための交通手段が確保・利用しにくい（近くにない）」、施設・グループホーム利用者は「障害のために症状が伝わらない」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、難病患者、高次脳機能障害者は「通院のための交通手段が確保・利用しにくい（近くにない）」、知的障害者、発達障害者は「障害のために症状が伝わらない」、精神障害者は「医療費の負担が大きい」が最も多くなっています。

【健康管理や医療につい困ったり不便に思うこと】

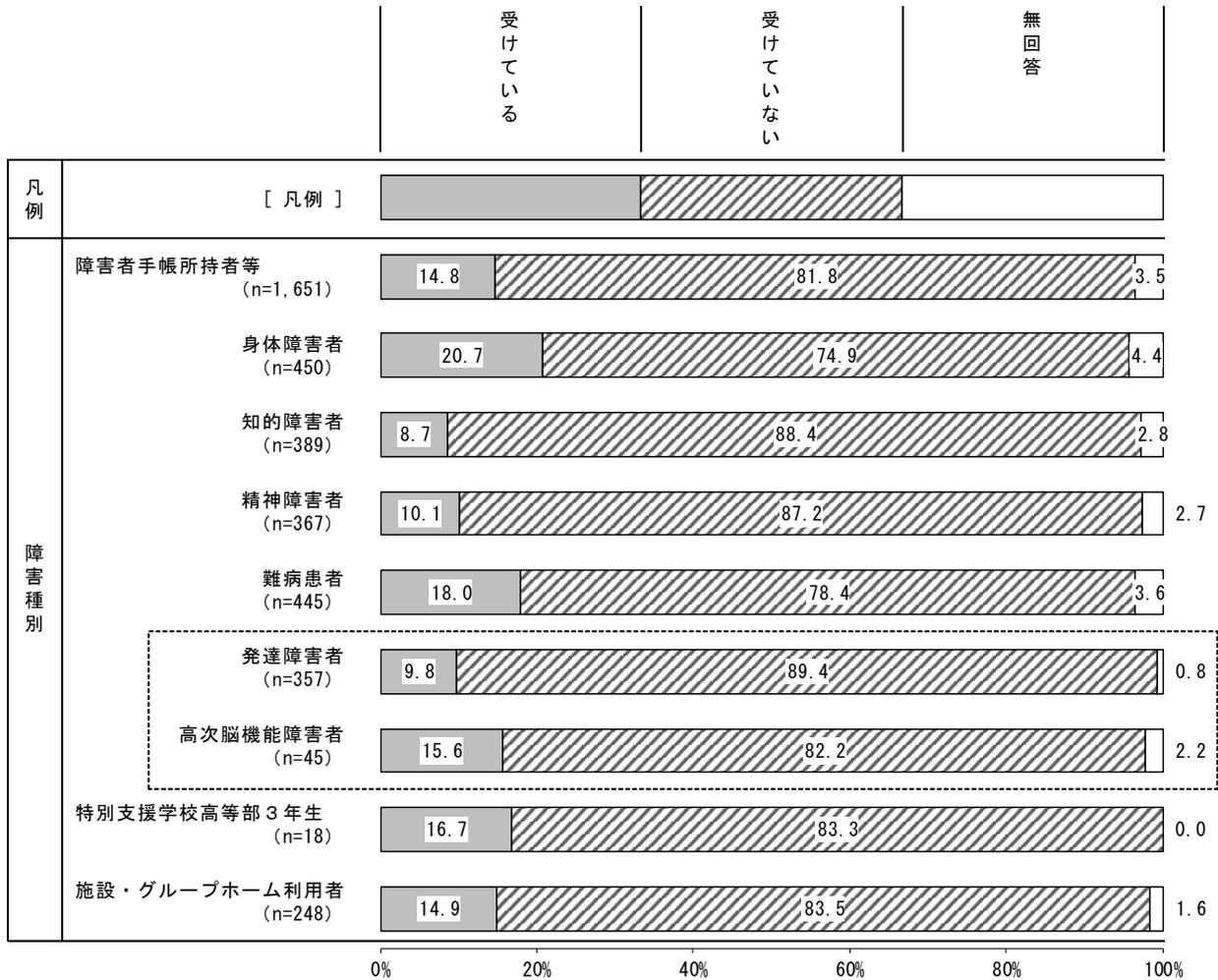


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(3) 現在、医療的ケアを受けていますか。

- 医療的ケアの有無について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「受けていない」が最も多くなっています。

【医療的ケアの有無】

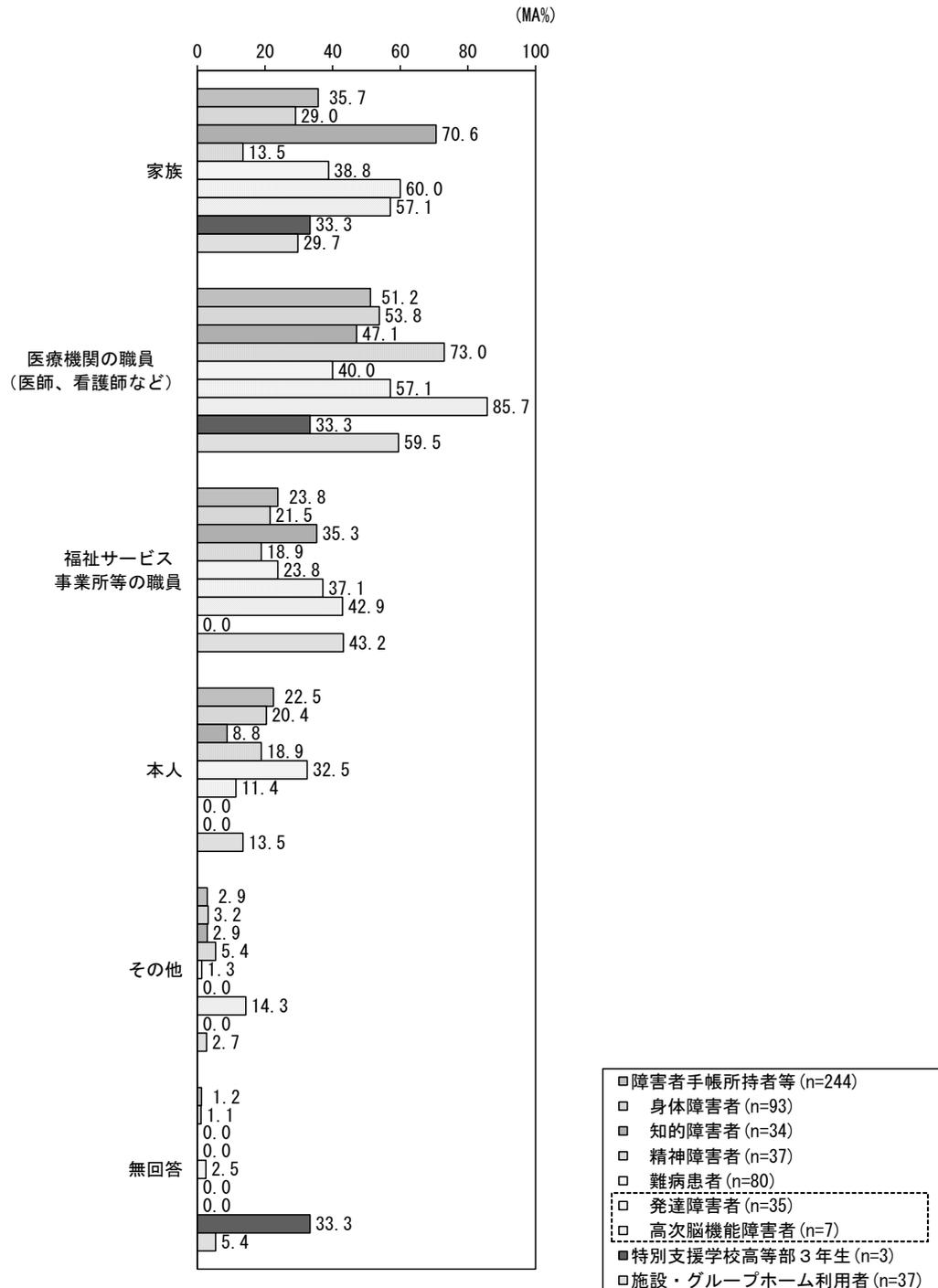


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(4) あなたの医療的ケアを行っている方はどなたですか。(MA)

- 医療的ケアを行っている人について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者は「医療機関の職員（医師、看護師など）」、特別支援学校高等部3年生は「家族」と「医療機関の職員（医師、看護師など）」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者、高次脳機能障害者は「医療機関の職員（医師、看護師など）」、知的障害者、発達障害者は「家族」が最も多くなっています。

【医療的ケアを行っている人】



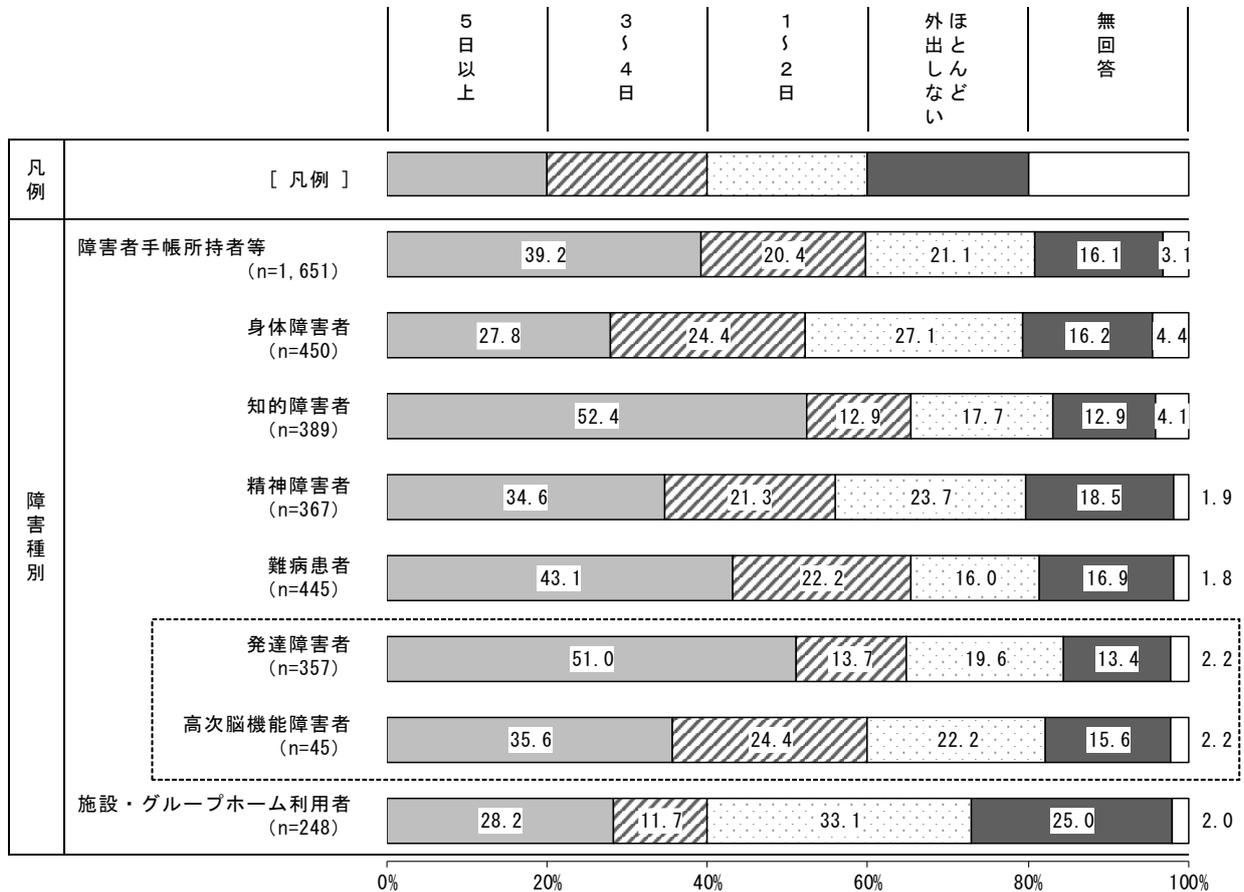
注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

5. 外出や余暇の過ごし方について

(1) 1週間にどのくらい外出しますか。

- 外出頻度について、障害者手帳所持者等は「5日以上」、施設・グループホーム利用者は「1～2日」が最も多くなっています。

【外出頻度】

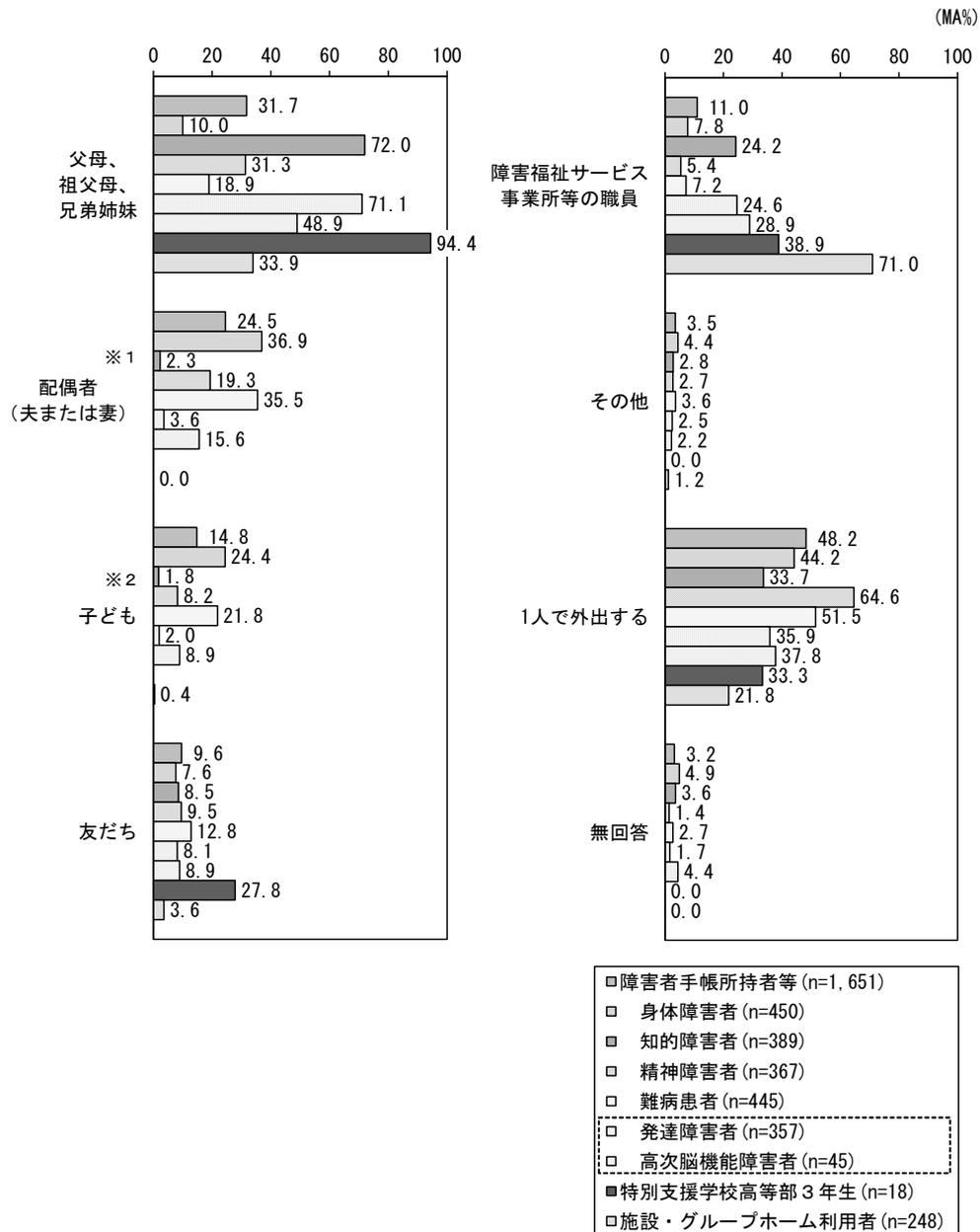


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(2) 普段はどなたと一緒に外出していますか。(MA)

- 一緒に外出する人について、障害者手帳所持者等は「1人で外出する」、特別支援学校高等部3年生は「父母、祖父母、兄弟姉妹」、施設・グループホーム利用者は「障害福祉サービス事業所等の職員」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者は「1人で外出する」、知的障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「父母、祖父母、兄弟姉妹」が最も多くなっています。

【一緒に外出する人】



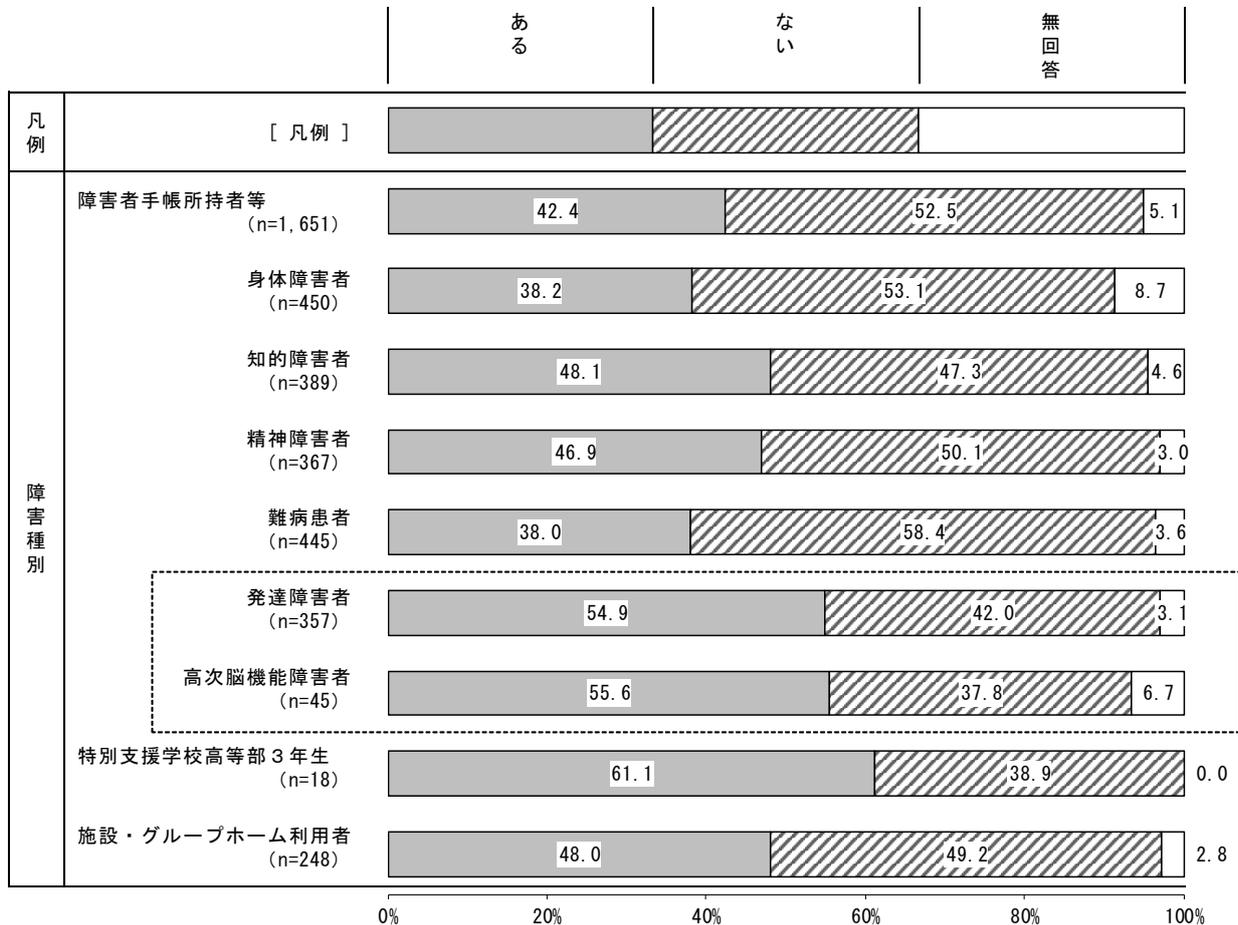
※1、※2 「配偶者 (夫または妻)」「子ども」は、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者のみの選択肢

注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(3) 外出の際に困っていることはありますか。

- 外出の際に困っていることの有無について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者は「ない」、特別支援学校高等部3年生は「ある」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者は「ない」、知的障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「ある」が最も多くなっています。

【外出の際に困っていることの有無】

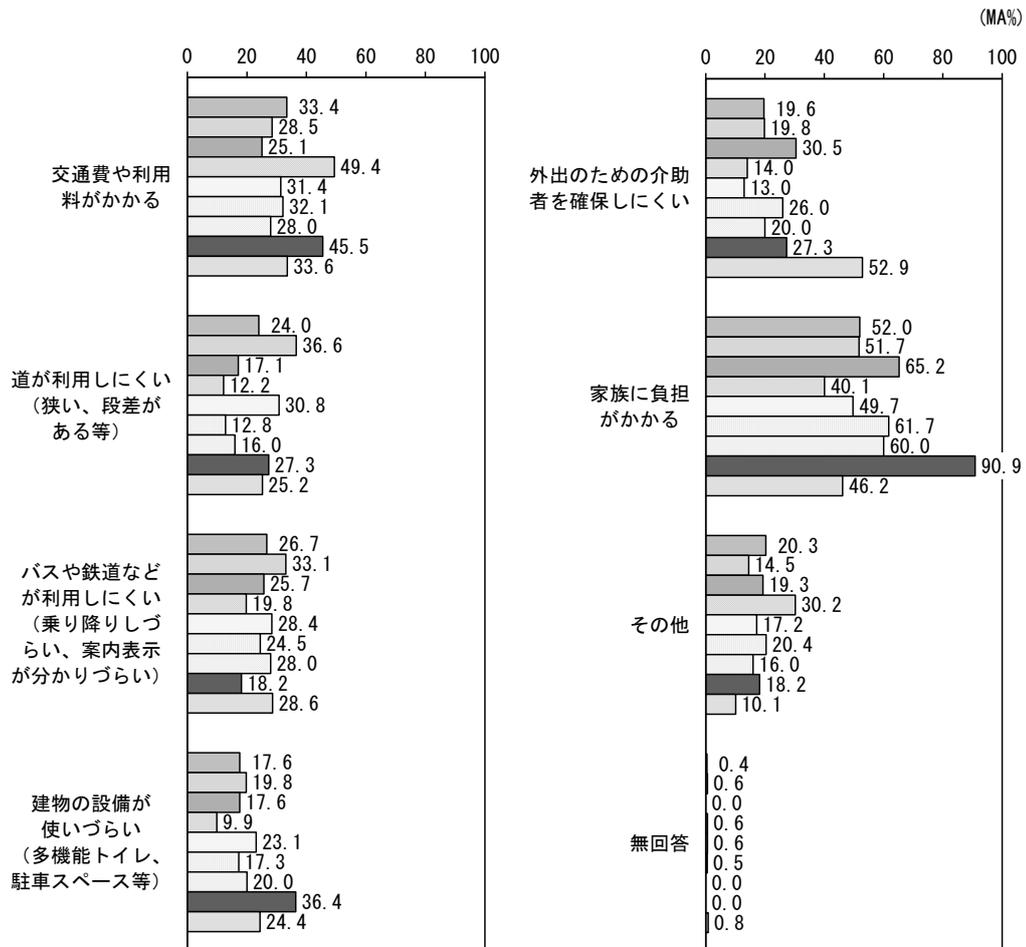


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(4) どのようなことに困っていますか。(MA)

- 外出の際に困っていることについて、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生は「家族に負担がかかる」、施設・グループホーム利用者は「外出のための介助者を確保しにくい」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、知的障害者、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者は「家族に負担がかかる」、精神障害者は「交通費や利用料がかかる」が最も多くなっています。

【外出の際に困っていること】



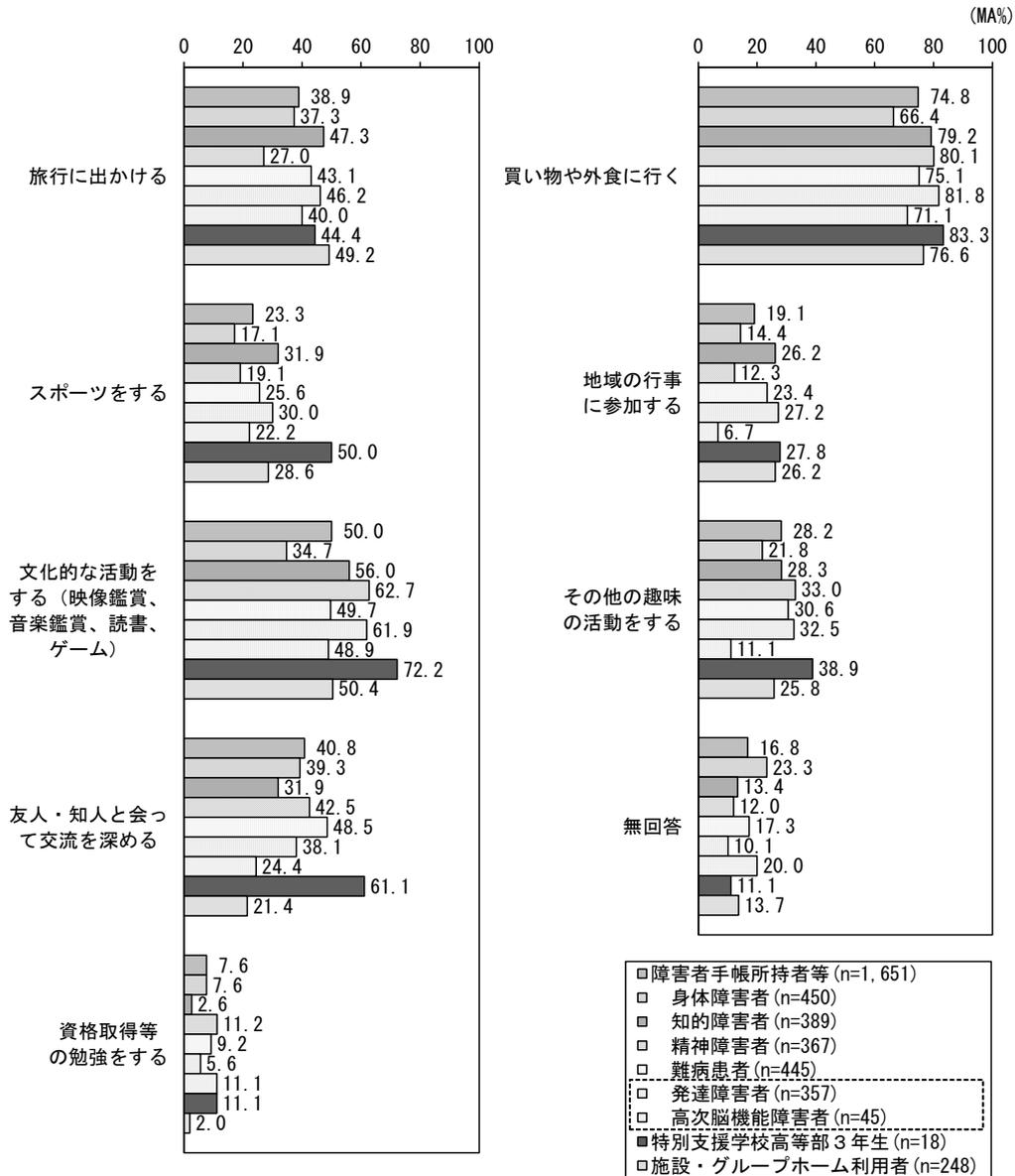
- 障害者手帳所持者等 (n=700)
- 身体障害者 (n=172)
- 知的障害者 (n=187)
- 精神障害者 (n=172)
- 難病患者 (n=169)
- 発達障害者 (n=196)
- 高次脳機能障害者 (n=25)
- 特別支援学校高等部3年生 (n=11)
- 施設・グループホーム利用者 (n=119)

注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(5) 1年間で次の活動をする機会がありましたか。(MA)

○ 経験した余暇活動について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「買い物や外出に行く」が最も多くなっています。

【経験した余暇活動】

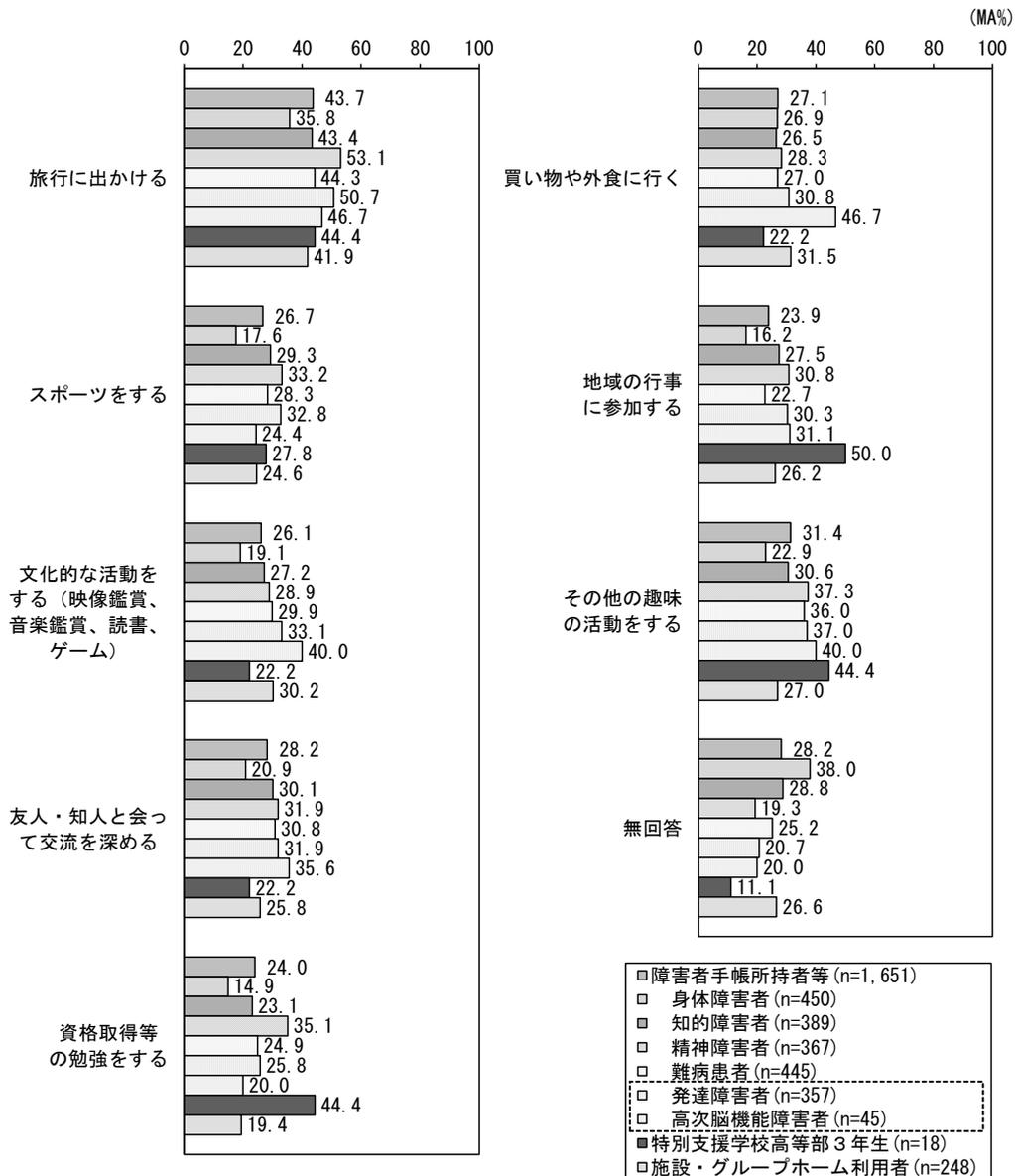


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(6) 今後してみたいですか。(MA)

- してみたい余暇活動について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者は「旅行に出かける」、特別支援学校高等部3年生は「地域の行事に参加する」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者、発達障害者は「旅行に出かける」、高次脳機能障害者は「旅行に出かける」と「買い物や外食に行く」が最も多くなっています。

【してみたい余暇活動】

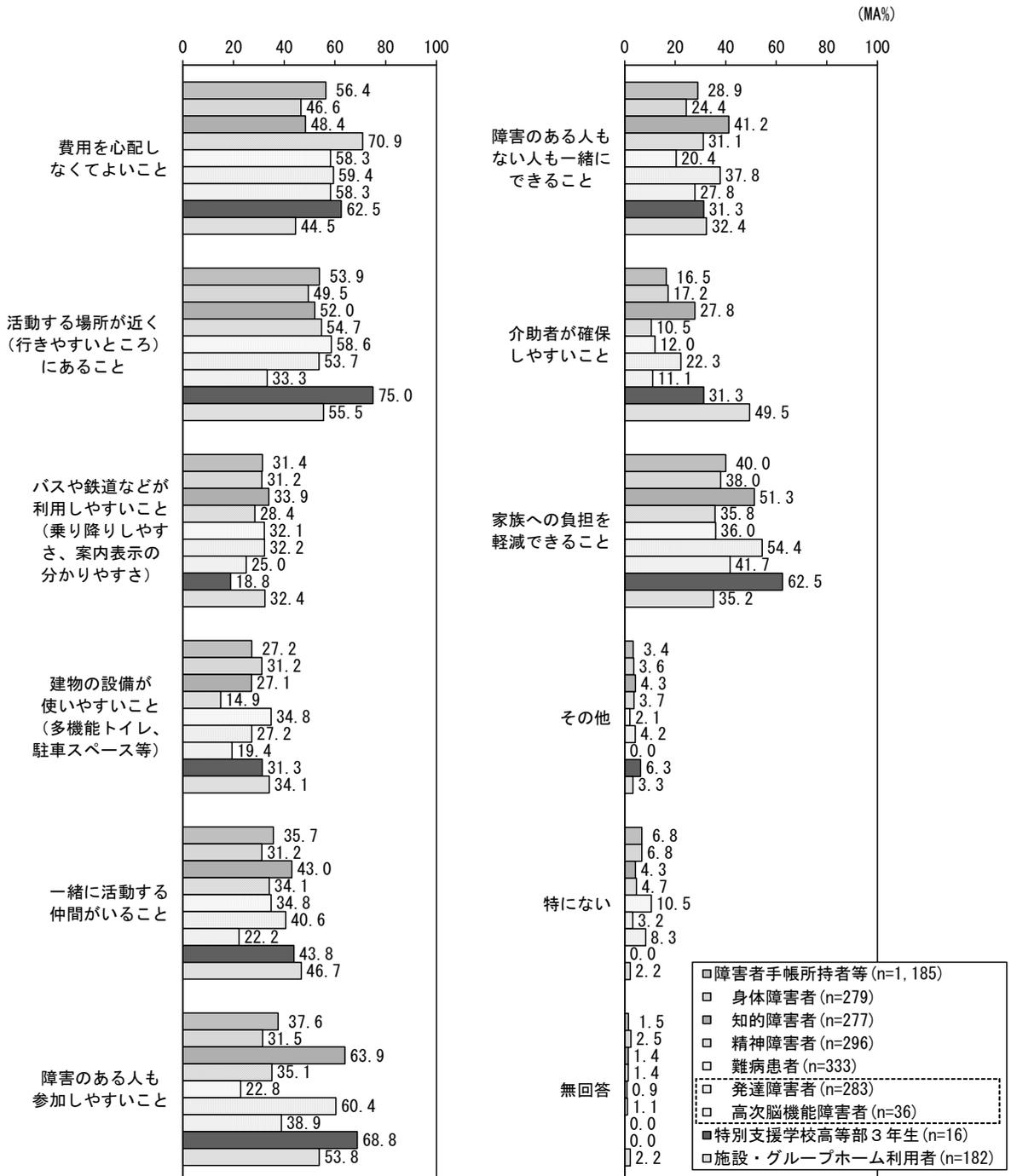


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(7) (6) の活動をするにはどんなことが必要だと思いますか。(MA)

- 余暇活動のために必要なことについて、障害者手帳所持者等は「費用を心配しなくてよいこと」、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者は「活動する場所が近く（行きやすいところ）にあること」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、難病患者は「活動する場所が近く（行きやすいところ）にあること」、知的障害者、発達障害者は「障害のある人も参加しやすいこと」、精神障害者、高次脳機能障害者は「費用を心配しなくてよいこと」が最も多くなっています。

【余暇活動のために必要なこと】



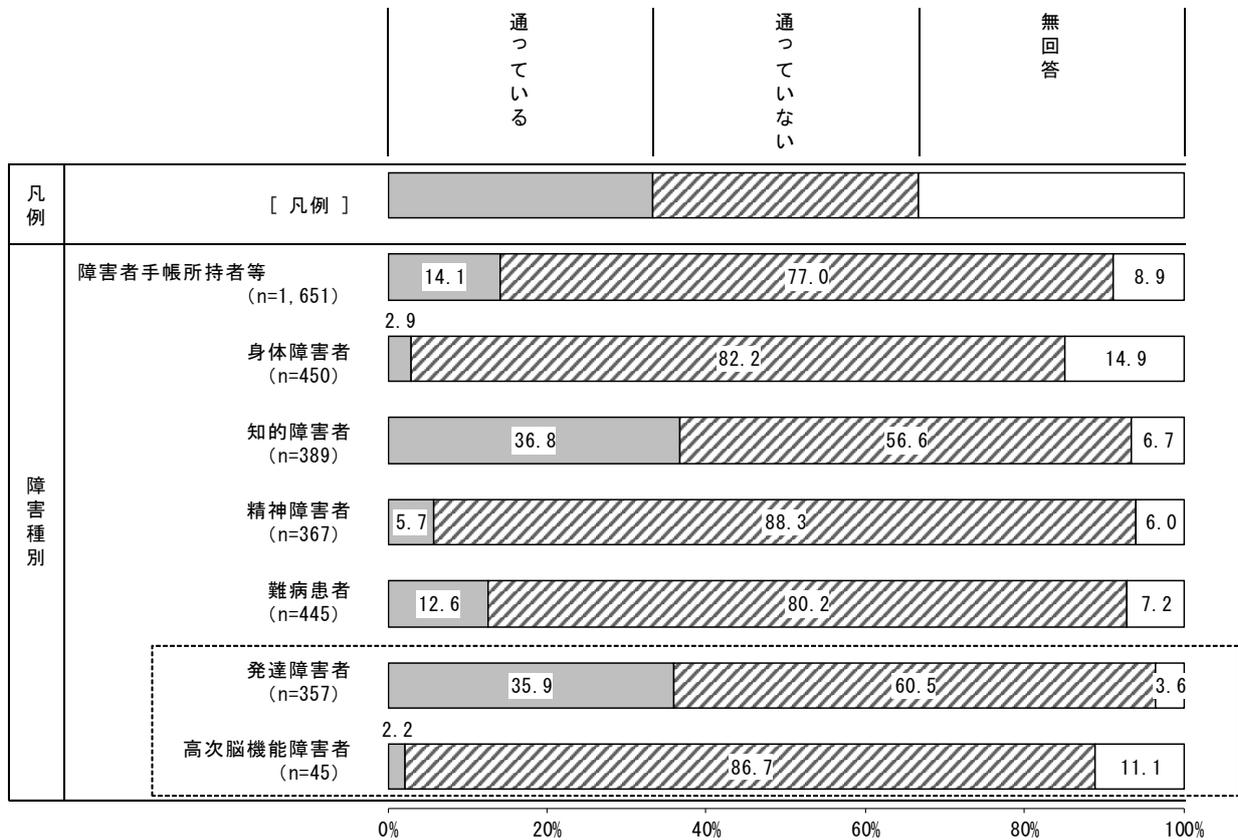
注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

6. 通学・通園の状況について

(1) 幼稚園や保育所、学校等に通っていますか。

- 障害者手帳所持者等の通園・通学状況について、「通っている」が 14.1%、「通っていない」が 77.0%となっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、いずれも「通っていない」が最も多くなっています。

【通園・通学状況】

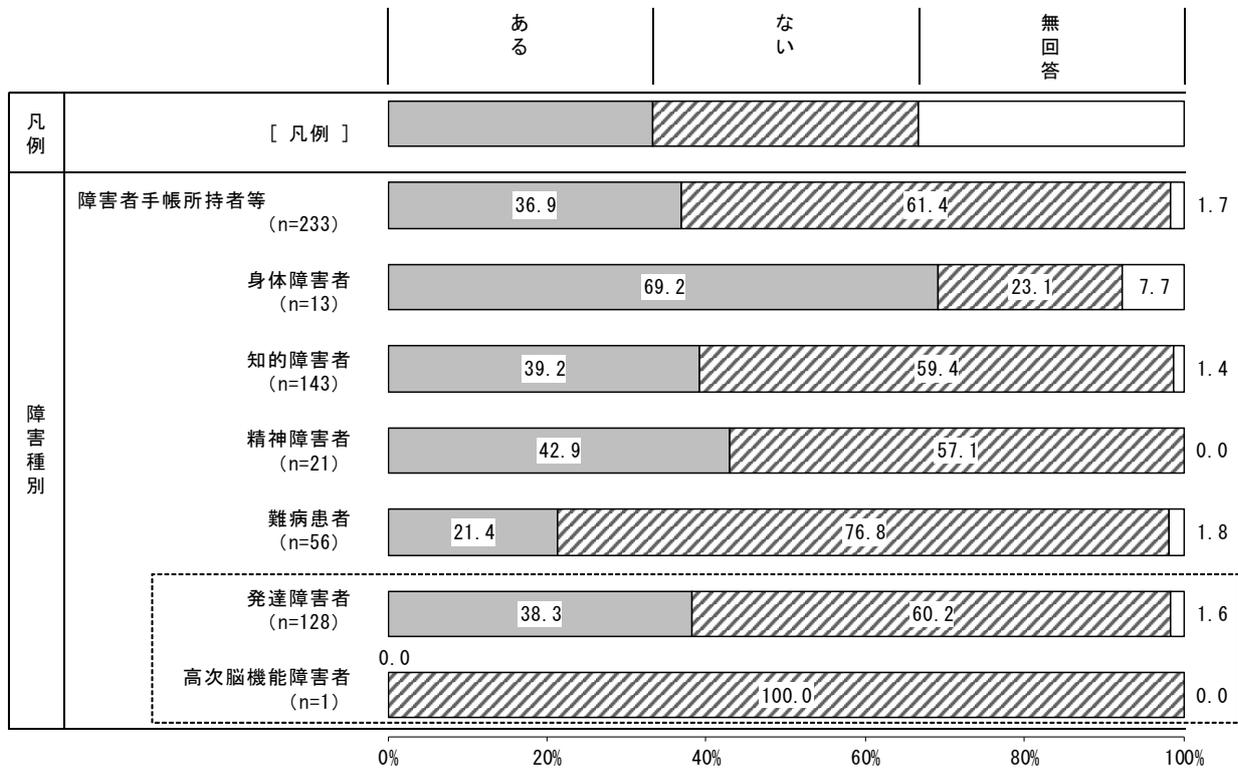


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(2) 幼稚園や保育所、学校等に通うにあたって困っていることはありますか。

- 障害者手帳所持者等の通園・通学にあたって困っていることの有無について、「ある」が36.9%、「ない」が61.4%となっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者は「ある」、知的障害者、精神障害者、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者は「ない」が最も多くなっています。

【通園・通学にあたって困っていることの有無】

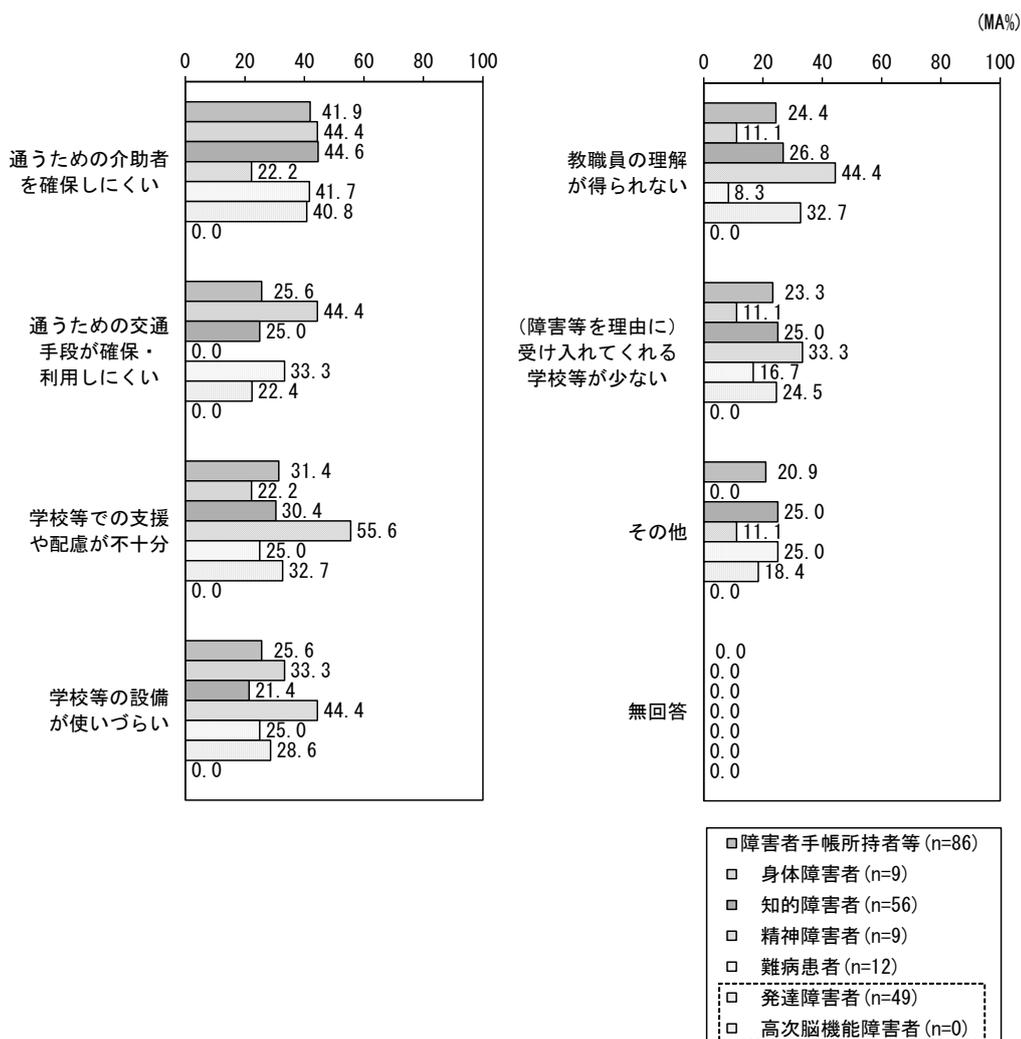


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(3) 困っていることは何ですか。(MA)

- 障害者手帳所持者等の通園・通学にあたって困っていることについて、「通うための介助者を確保しにくい」が41.9%で最も多く、次いで「学校等での支援や配慮が不十分」が31.4%、「通うための交通手段が確保・利用しにくい」「学校等の設備が使いづらい」が25.6%となっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者は「通うための介助者を確保しにくい」と「通うための交通手段が確保・利用しにくい」、知的障害者、難病患者、発達障害者は「通うための介助者を確保しにくい」、精神障害者は「学校等での支援や配慮が不十分」が最も多くなっています。

【通園・通学にあたって困っていること】



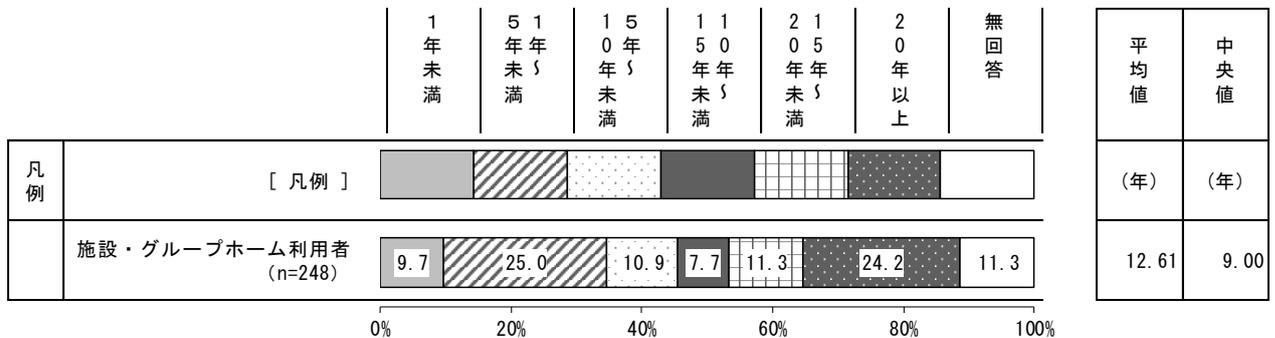
注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

7. 入所期間・理由について

(1) 現在の施設に入所している期間をご記入ください。(1年未満は0とご記入ください)

- 施設・グループホーム利用者の現在の施設への入所年数について、「1年～5年未満」が25.0%で最も多く、次いで「20年以上」が24.2%、「15年～20年未満」が11.3%となっています。

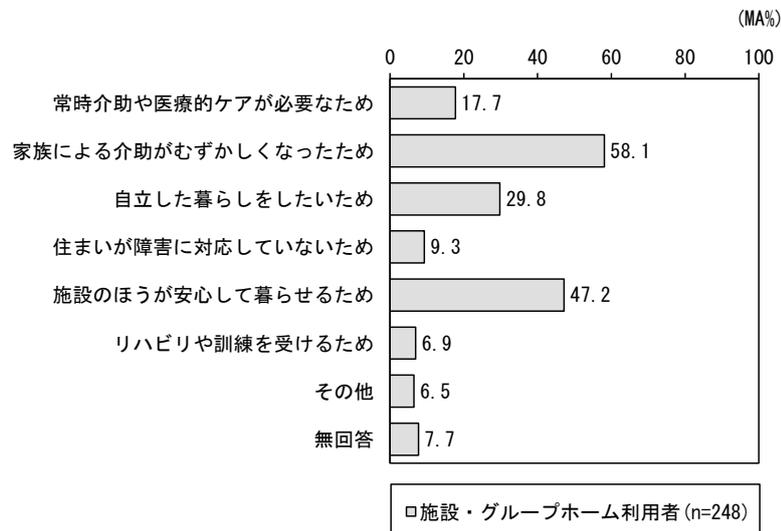
【現在の施設への入所年数】



(2) 現在の施設へ入所することを決めた理由は何ですか。(MA)

- 施設・グループホーム利用者の現在の施設へ入所することを決めた理由について、「家族による介助がむずかしくなったため」が58.1%で最も多く、次いで「施設のほうが安心して暮らせるため」が47.2%、「自立した暮らしをしたいため」が29.8%となっています。

【現在の施設へ入所することを決めた理由】

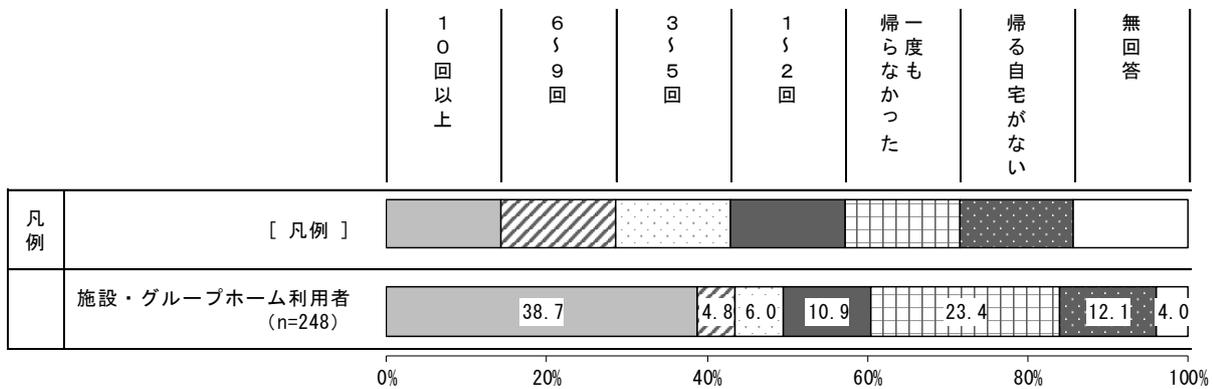


8. 施設での生活について

(1) この1年間でどのくらい自宅に帰りましたか。

- 施設・グループホーム利用者の帰宅回数について、「10回以上」が38.7%で最も多く、次いで「一度も帰らなかった」が23.4%、「帰る自宅がない」が12.1%となっています。

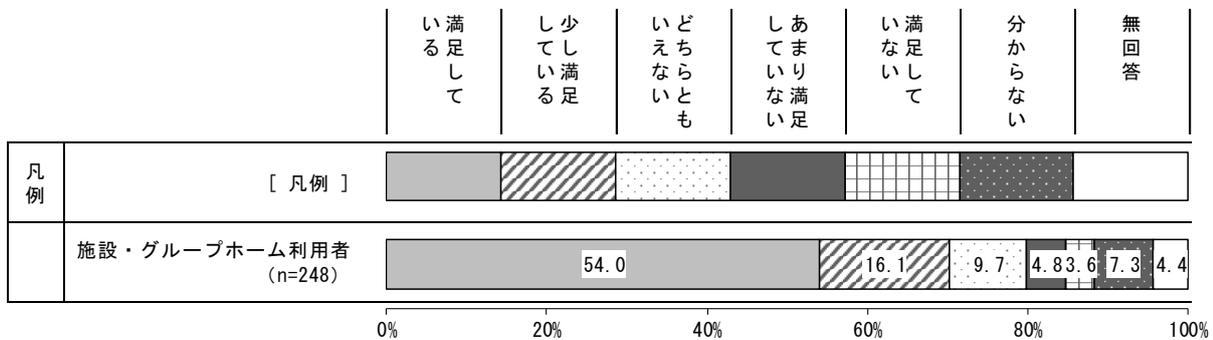
【施設・グループホーム利用者の帰宅回数】



(2) 現在入所している施設の生活に満足していますか。

- 施設・グループホーム利用者の生活満足度について、「満足している」が54.0%で最も多く、次いで「少し満足している」が16.1%、「どちらともいえない」が9.7%となっています。

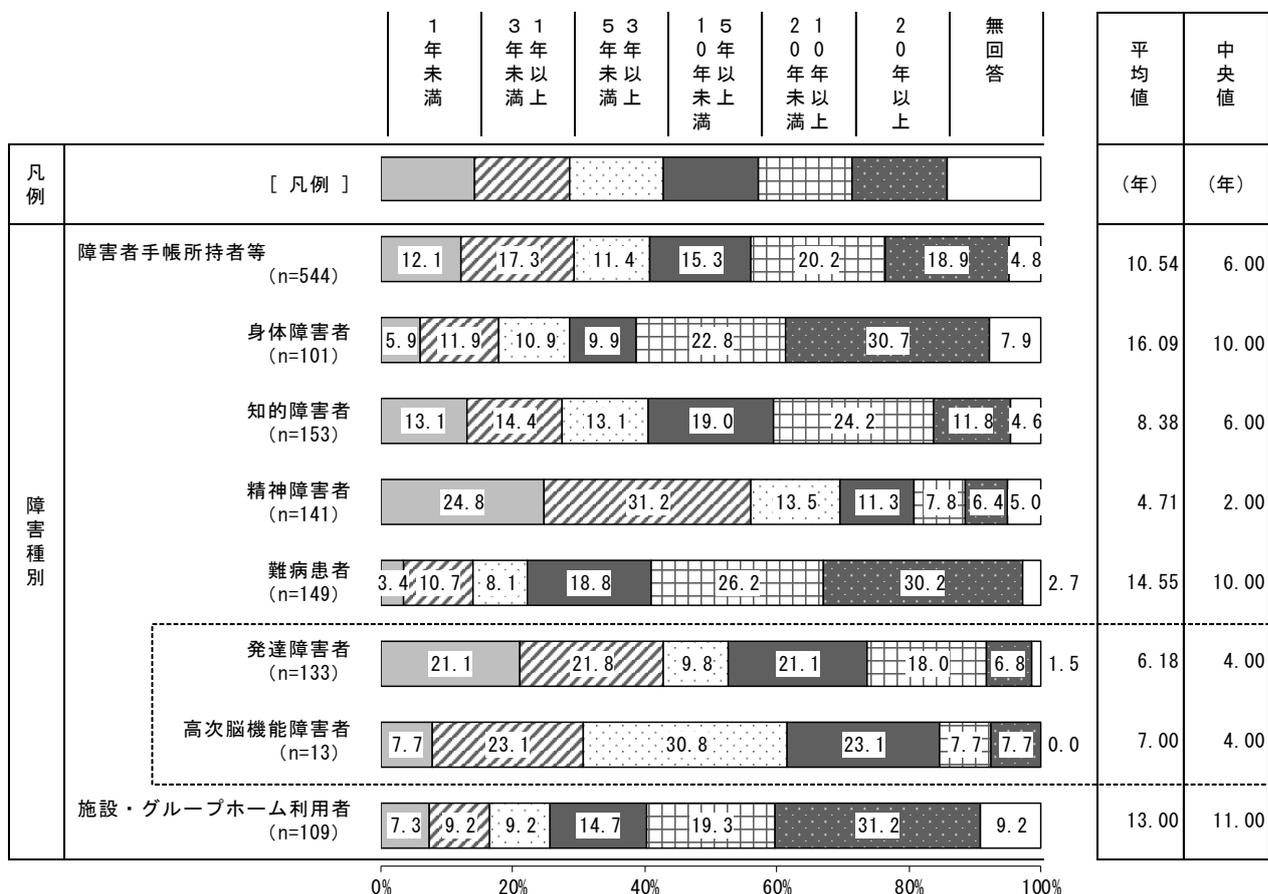
【施設・グループホーム利用者の生活満足度】



(2) 現在の職場で何年働いていますか。

- 現在の仕事の勤続年数について、障害者手帳所持者等は「10年以上20年未満」、施設・グループホーム利用者は「20年以上」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、難病患者は「20年以上」、知的障害者は「10年以上20年未満」、精神障害者、発達障害者は「1年以上3年未満」、高次脳機能障害者は「3年以上5年未満」が最も多くなっています。

【現在の仕事の勤続年数】

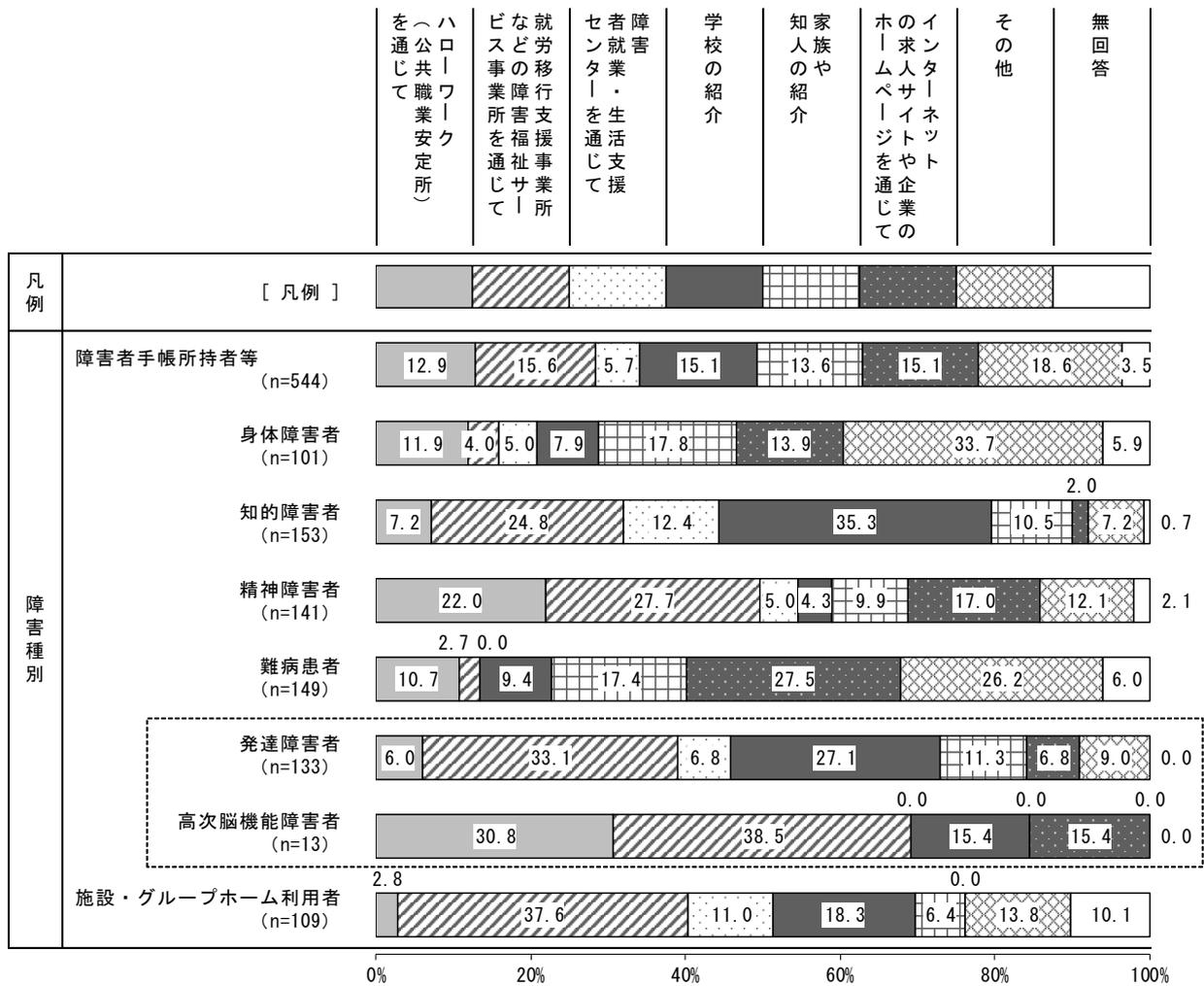


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(3) 現在の仕事はどのようにして見つけましたか。

- 現在の仕事を見つけた方法について、障害者手帳所持者等は「その他」、施設・グループホーム利用者は「就労移行支援事業所などの障害福祉サービス事業所を通じて」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者は「その他」、知的障害者は「学校の紹介」、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「就労移行支援事業所などの障害福祉サービス事業所を通じて」、難病患者は「インターネットの求人サイトや企業のホームページを通じて」が最も多くなっています。

【現在の仕事を見つけた方法】

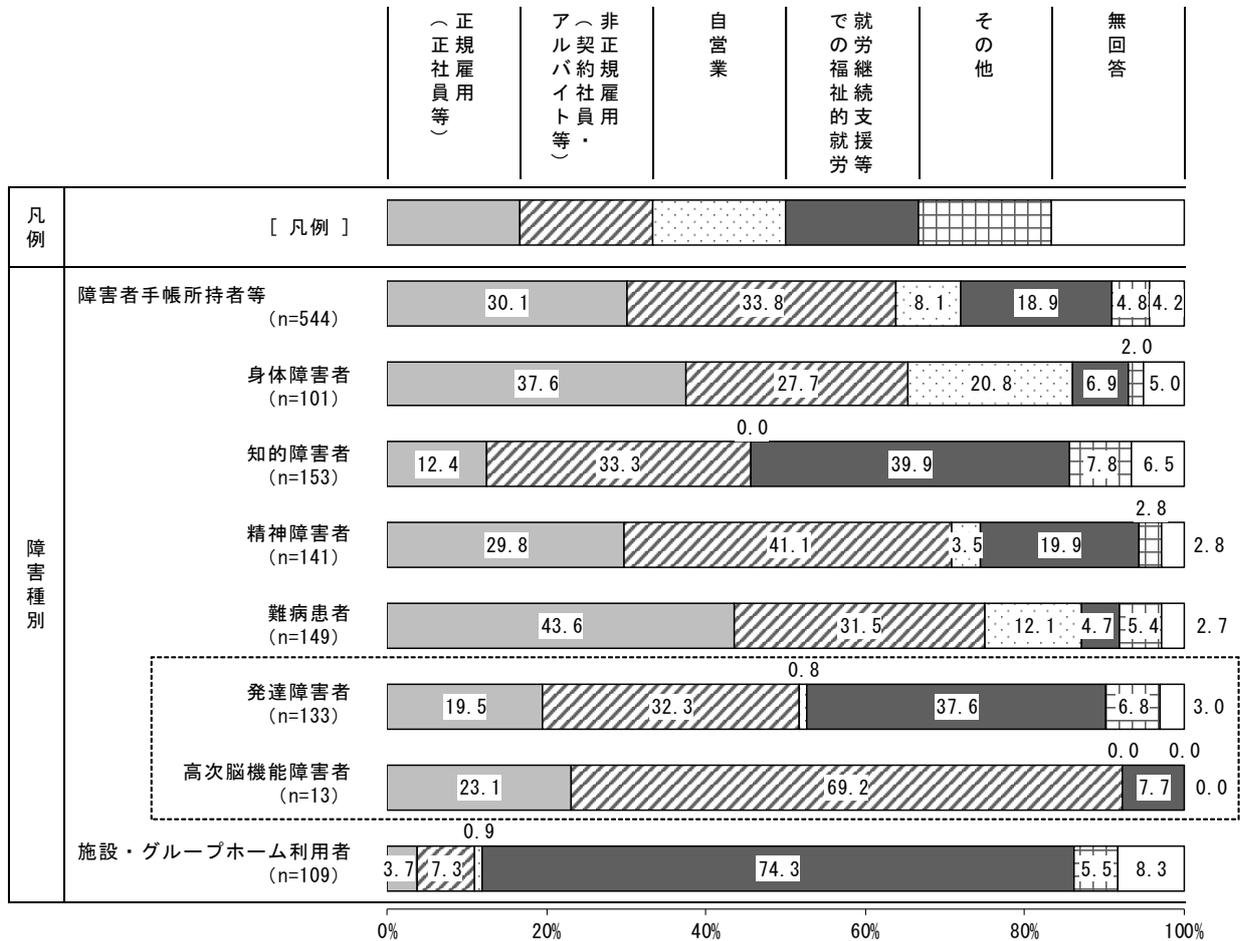


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(4) どのような勤務形態で働いていますか。

- 勤務形態について、障害者手帳所持者等は「非正規雇用（契約社員・アルバイト等）」、施設・グループホーム利用者は「就労継続支援等での福祉的就労」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、難病患者は「正規雇用（正社員等）」、知的障害者、発達障害者は「就労継続支援等での福祉的就労」、精神障害者、高次脳機能障害者は「非正規雇用（契約社員・アルバイト等）」が最も多くなっています。

【勤務形態】

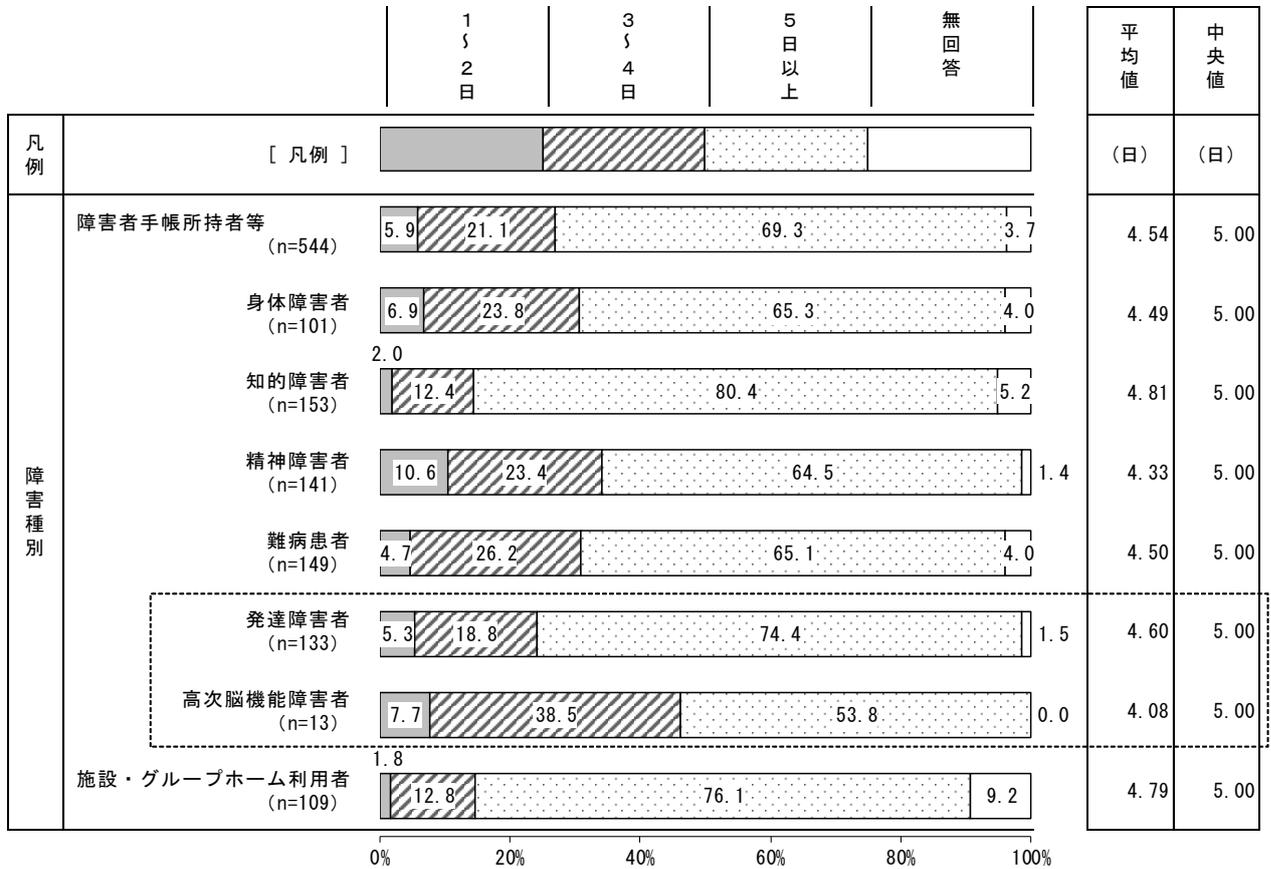


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(5) 1週あたりの勤務日数

○ 1週あたりの勤務日数について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者ともに「5日以上」が最も多くなっています。

【1週あたりの勤務日数】

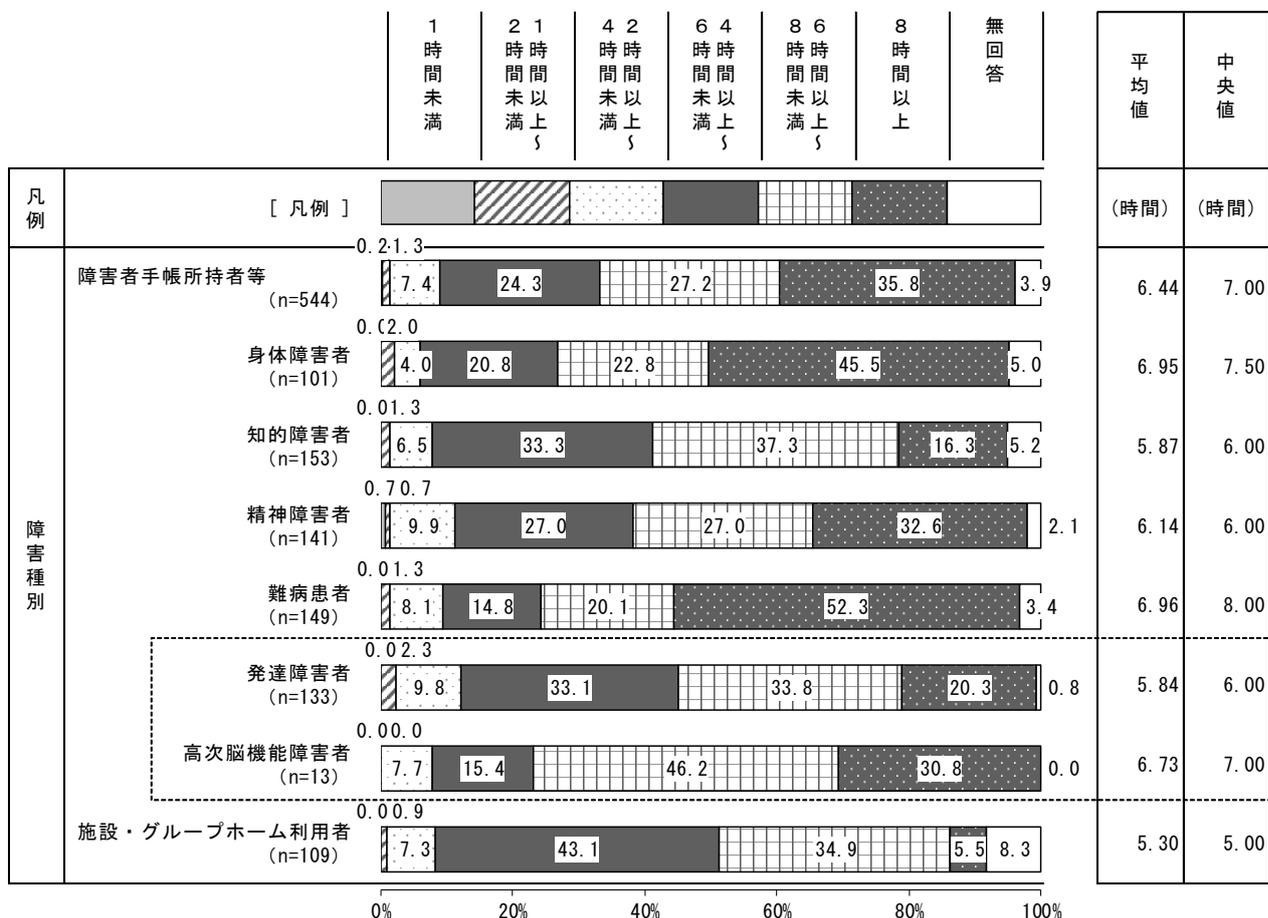


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(6) 1日あたりの勤務時間

- 1日あたりの勤務時間について、障害者手帳所持者等は「8時間以上」、施設・グループホーム利用者は「4時間以上～6時間未満」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者は「8時間以上」、知的障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「6時間以上～8時間未満」が最も多くなっています。

【1日あたりの勤務時間】

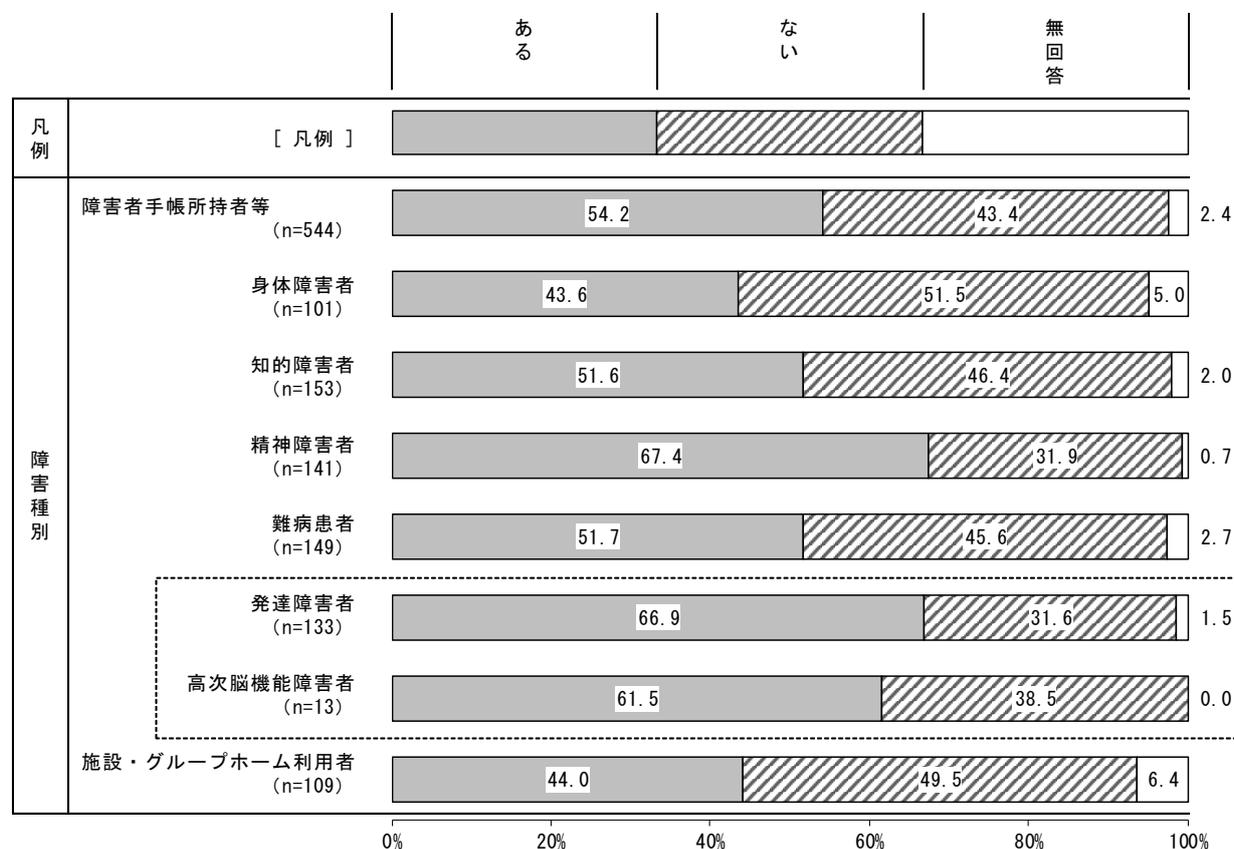


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(7) 仕事をする上で困っていることはありますか。

- 仕事をする上で困っていることの有無について、障害者手帳所持者等は「ある」、施設・グループホーム利用者は「ない」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者は「ない」、知的障害者、精神障害者、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者は「ある」が最も多くなっています。

【仕事をする上で困っていることの有無】

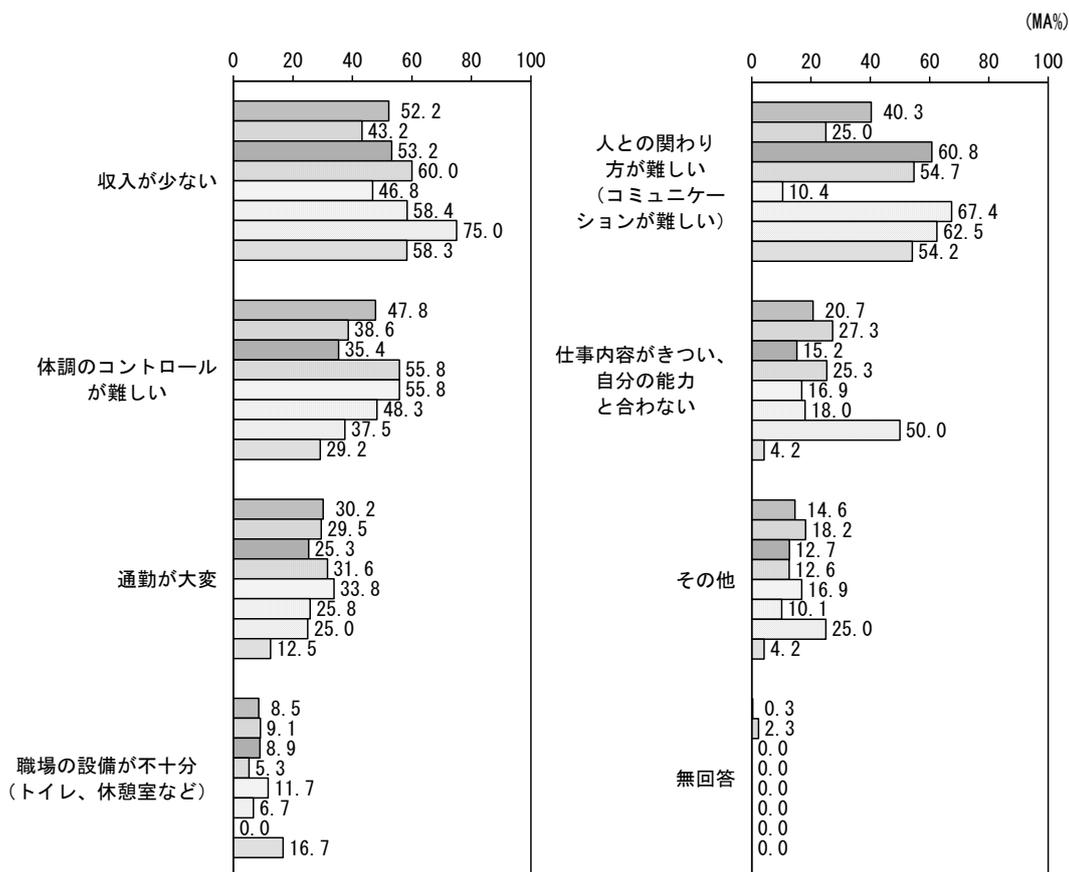


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(8) 仕事をする上で主に困っていることは何ですか。(MA)

- 仕事をする上で困っていることについて、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者ともに「収入が少ない」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、高次脳機能障害者は「収入が少ない」、知的障害者、発達障害者は「人との関わり方が難しい（コミュニケーションが難しい）」、難病患者は「体調のコントロールが難しい」が最も多くなっています。

【仕事をする上で困っていること】



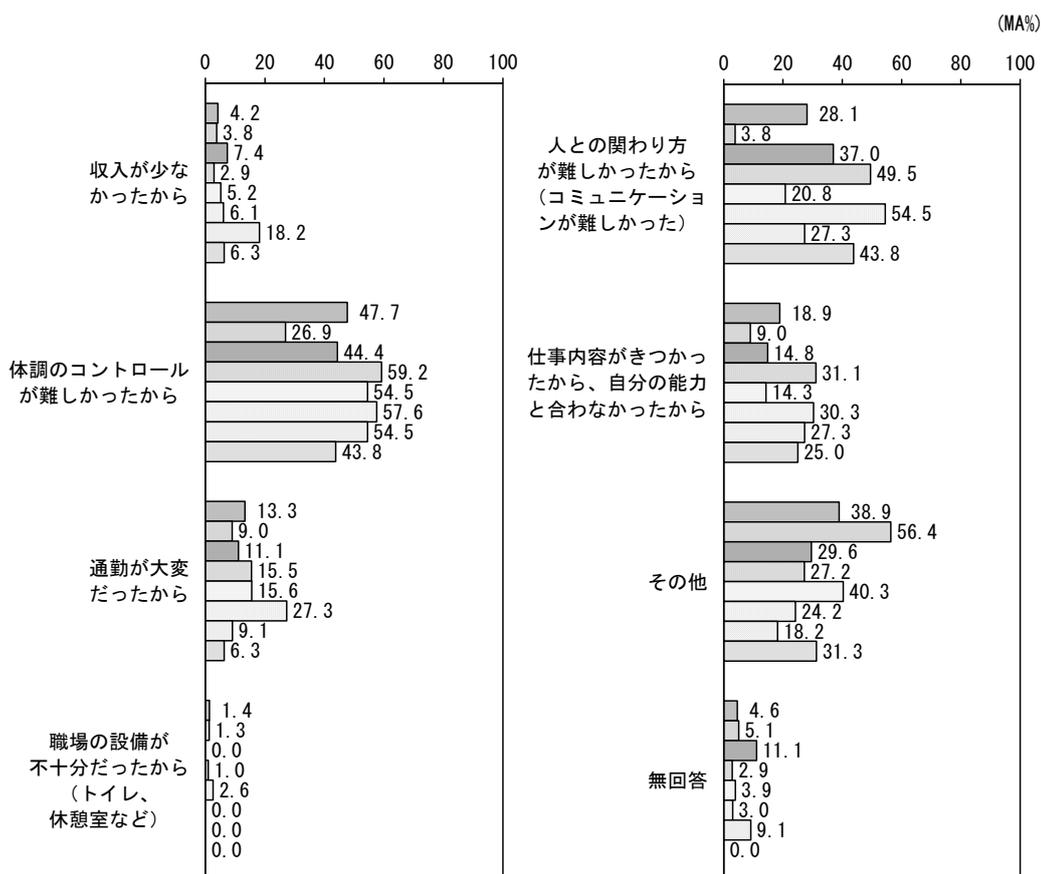
- 障害者手帳所持者等 (n=295)
- 身体障害者 (n=44)
- 知的障害者 (n=79)
- 精神障害者 (n=95)
- 難病患者 (n=77)
- 発達障害者 (n=89)
- 高次脳機能障害者 (n=8)
- 施設・グループホーム利用者 (n=48)

注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(9) 仕事を辞めた理由は何ですか。(MA)

- 仕事を辞めた理由について、障害者手帳所持者等は「体調のコントロールが難しかったから」、施設・グループホーム利用者は「体調のコントロールが難しかったから」と「人との関わり方が難しかったから（コミュニケーションが難しかった）」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者は「その他」、知的障害者、精神障害者、難病患者、発達障害者、高次脳機能障害者は「体調のコントロールが難しかったから」が最も多くなっています。

【仕事を辞めた理由】



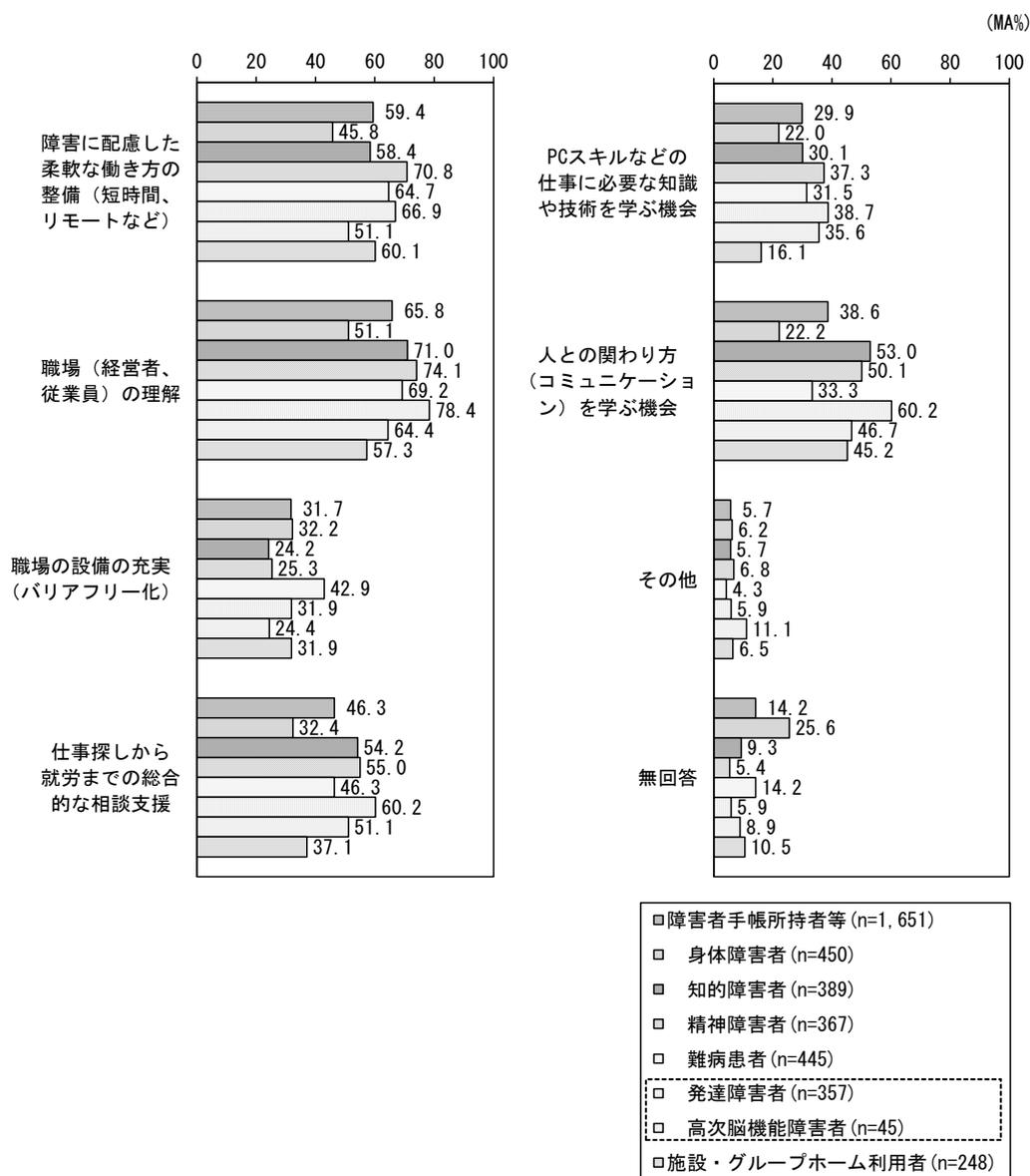
- 障害者手帳所持者等 (n=285)
- 身体障害者 (n=78)
- 知的障害者 (n=27)
- 精神障害者 (n=103)
- 難病患者 (n=77)
- 発達障害者 (n=33)
- 高次脳機能障害者 (n=11)
- 施設・グループホーム利用者 (n=16)

注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(10) 障害のある人の就労を促進するためには何が必要だと思いますか。(MA)

- 障害のある人の就労を促進するために必要なことについて、障害者手帳所持者等は「職場（経営者、従業員）の理解」、施設・グループホーム利用者は「障害に配慮した柔軟な働き方の整備（短時間、リモートなど）」が最も多くなっています。

【障害のある人の就労を促進するために必要なこと】



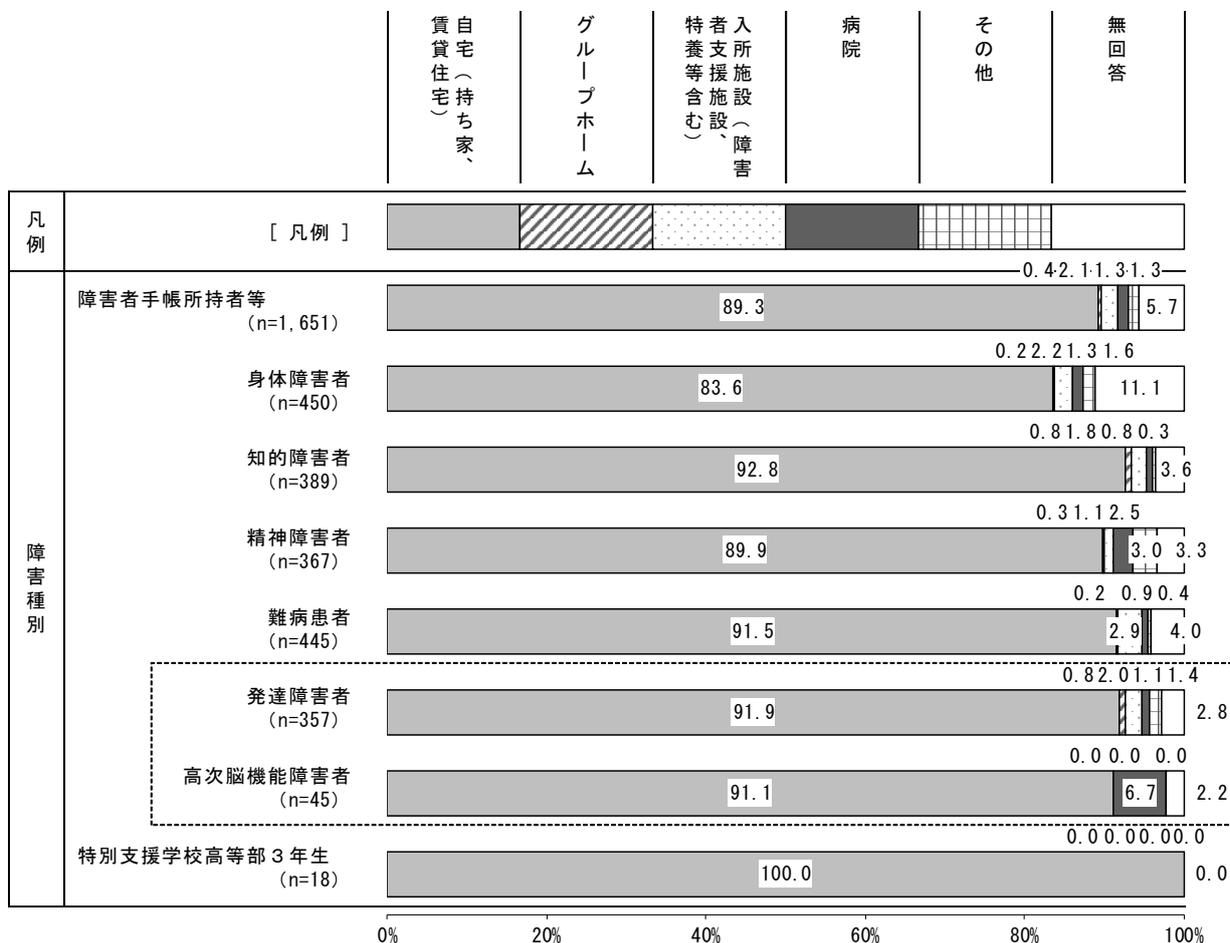
注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

10. 現在の暮らしと今後の希望について

(1) 現在どこで暮らしていますか。

- 現在暮らしている場所について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生ともに「自宅（持ち家、賃貸住宅）」が最も多くなっています。

【現在暮らしている場所】

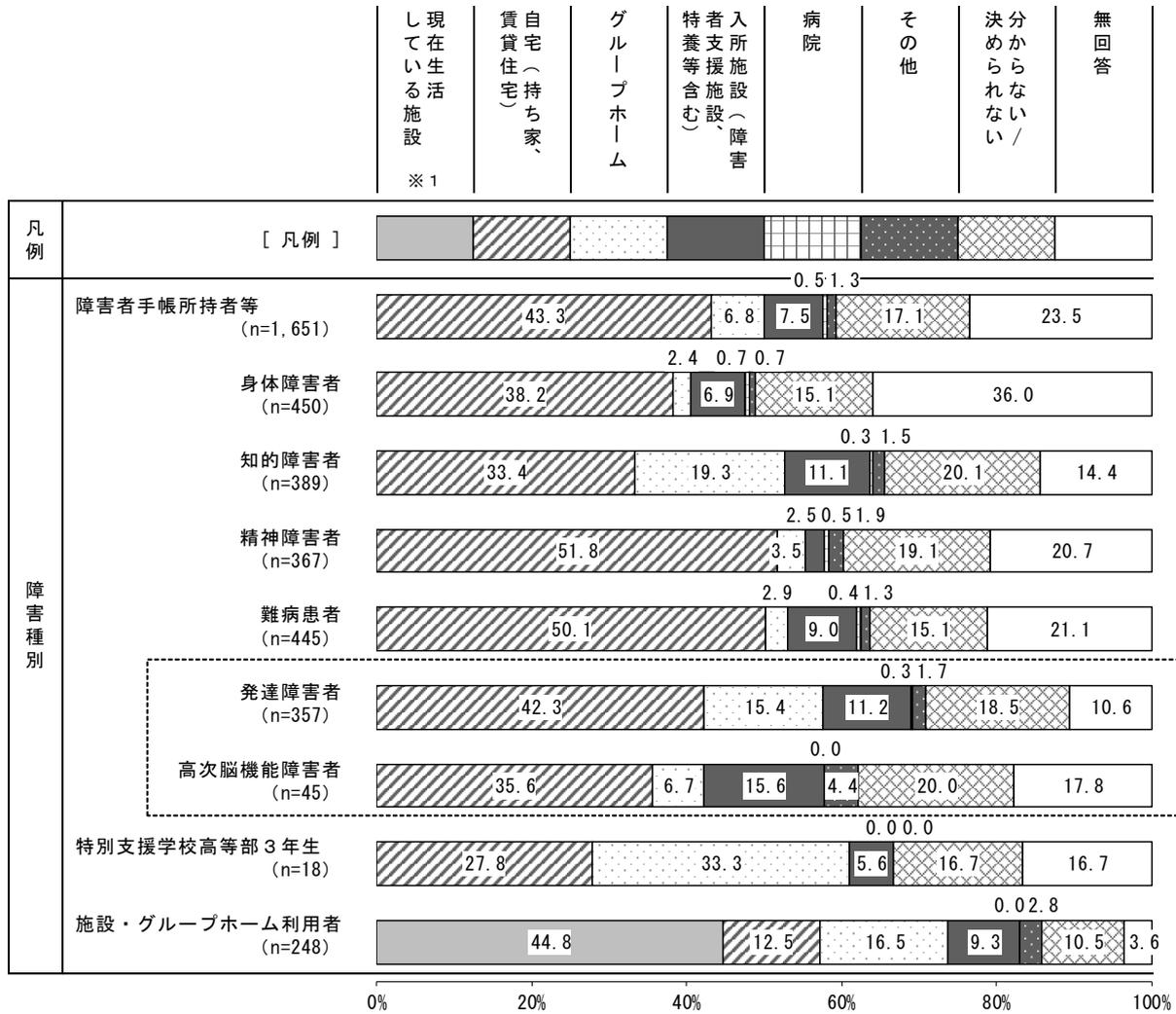


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(2) 将来どこで暮らしたいですか。

○ 将来暮らしたい場所について、障害者手帳所持者等は「自宅（持ち家、賃貸住宅）」、特別支援学校高等部3年生は「グループホーム」、施設・グループホーム利用者は「現在生活している施設」が最も多くなっています。

【将来暮らしたい場所】



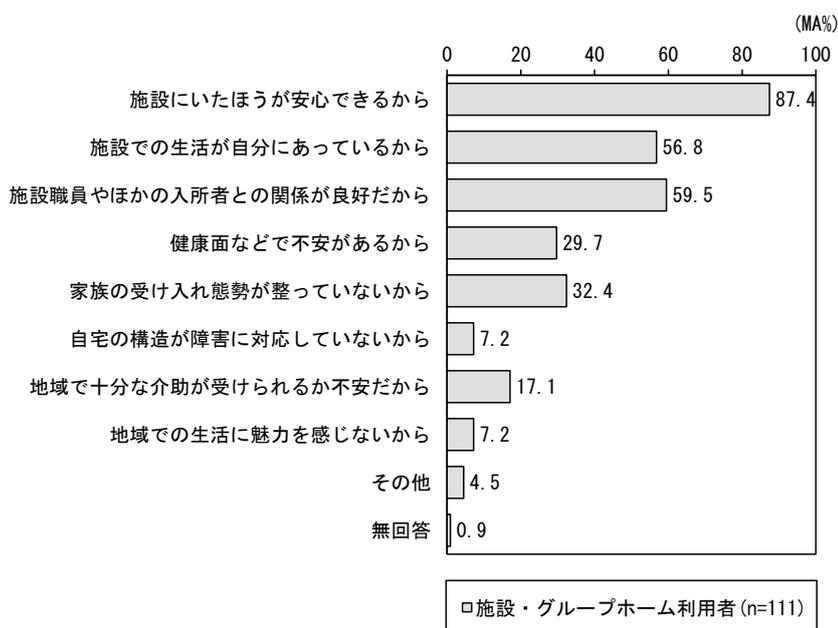
※1 「現在生活している施設」は、施設・グループホーム利用者からのみの選択肢

注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(3) 施設での生活を続けたい理由は何ですか。(MA)

- 施設・グループホーム利用者の施設で生活を続けたい理由について、「施設にいたほうが安心できるから」が 87.4%で最も多く、次いで「施設職員やほかの入所者との関係が良好だから」が 59.5%、「施設での生活が自分にあっているから」が 56.8%となっています。

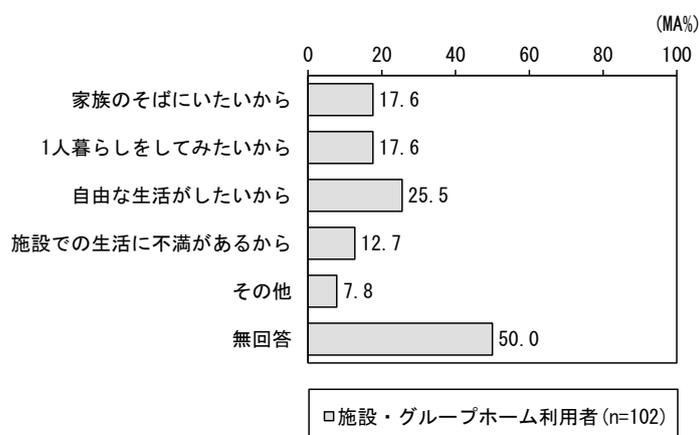
【施設で生活を続けたい理由】



(4) 施設を出たい理由は何ですか。(MA)

- 施設・グループホーム利用者の施設を出たい理由について、「自由な生活がしたいから」が 25.5%で最も多く、次いで「家族のそばにいたいから」「1人暮らしをしてみたいから」が 17.6%、「施設での生活に不満があるから」が 12.7%となっています。

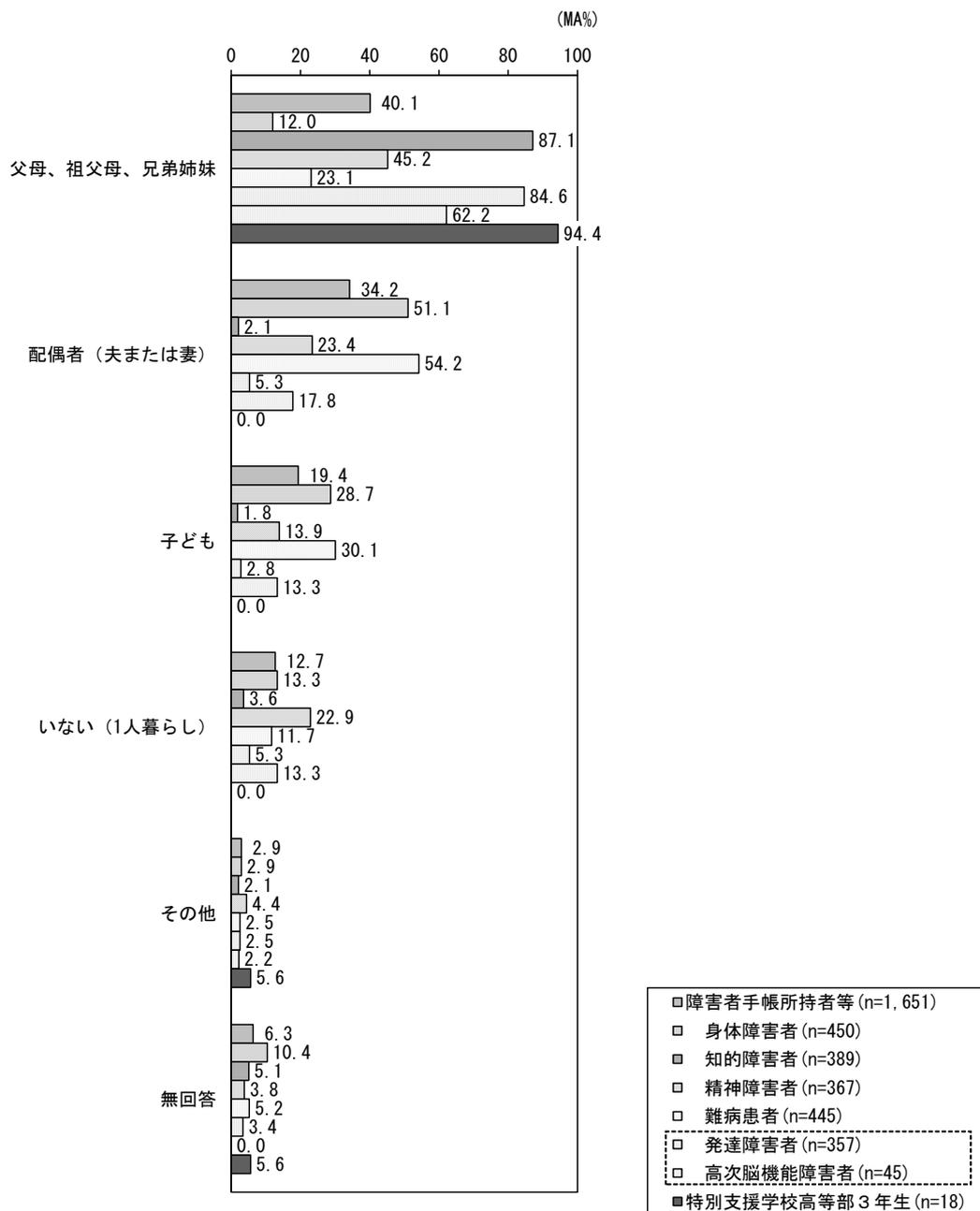
【施設を出たい理由】



(5) 現在誰と暮らしていますか。(MA)

- 現在一緒に暮らしている人について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生ともに「父母、祖父母、兄弟姉妹」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、難病患者は「配偶者（夫または妻）」、知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「父母、祖父母、兄弟姉妹」が最も多くなっています。

【現在一緒に暮らしている人】

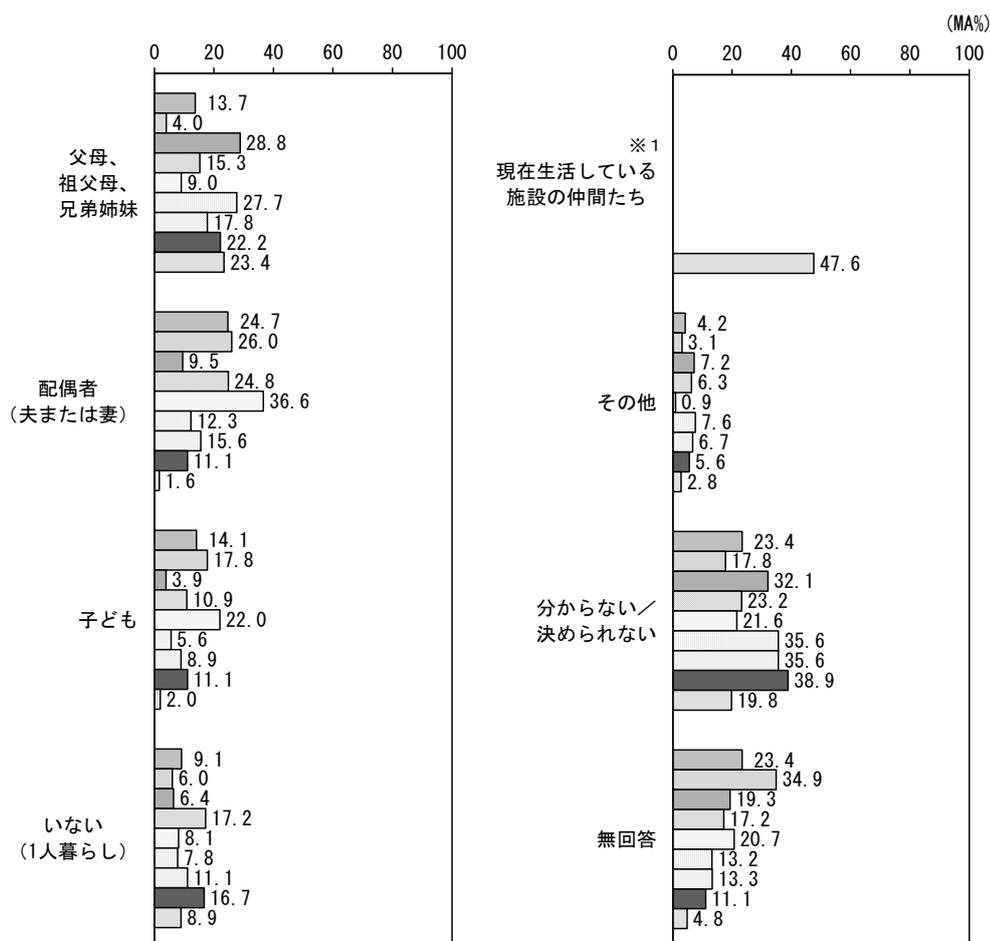


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(6) 将来誰と一緒に暮らしたいですか。(MA)

- 将来一緒に暮らしたい人について、障害者手帳所持者等は「配偶者（夫または妻）」、特別支援学校高等部3年生は「分からない／決められない」、施設・グループホーム利用者は「現在生活している施設の仲間たち」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者は「配偶者（夫または妻）」、知的障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「分からない／決められない」が最も多くなっています。

【将来一緒に暮らしたい人】



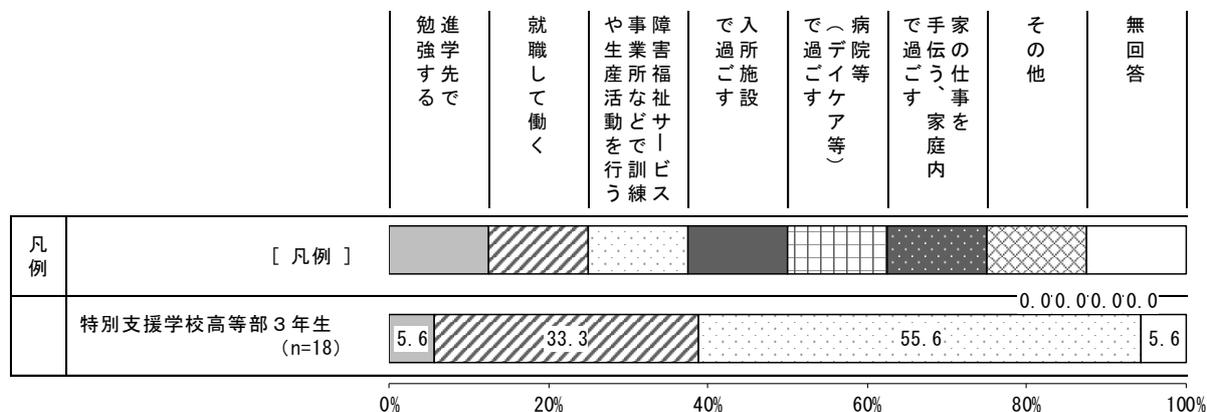
- 障害者手帳所持者等 (n=1,651)
- 身体障害者 (n=450)
- 知的障害者 (n=389)
- 精神障害者 (n=367)
- 難病患者 (n=445)
- 発達障害者 (n=357)
- 高次脳機能障害者 (n=45)
- 特別支援学校高等部3年生 (n=18)
- 施設・グループホーム利用者 (n=248)

※1 「現在生活している施設の仲間たち」は、施設・グループホーム利用者からのみ選択肢
 注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(9) 卒業したら、どのように日中を過ごす予定ですか。また、希望としてはどのように過ごしたいですか。

- 特別支援学校高等部3年生の支援学校卒業後の日中の過ごし方について「障害福祉サービス事業所などで訓練や生産活動を行う」が55.6%で最も多く、次いで「就職して働く」が33.3%、「進学先で勉強する」が5.6%となっています。

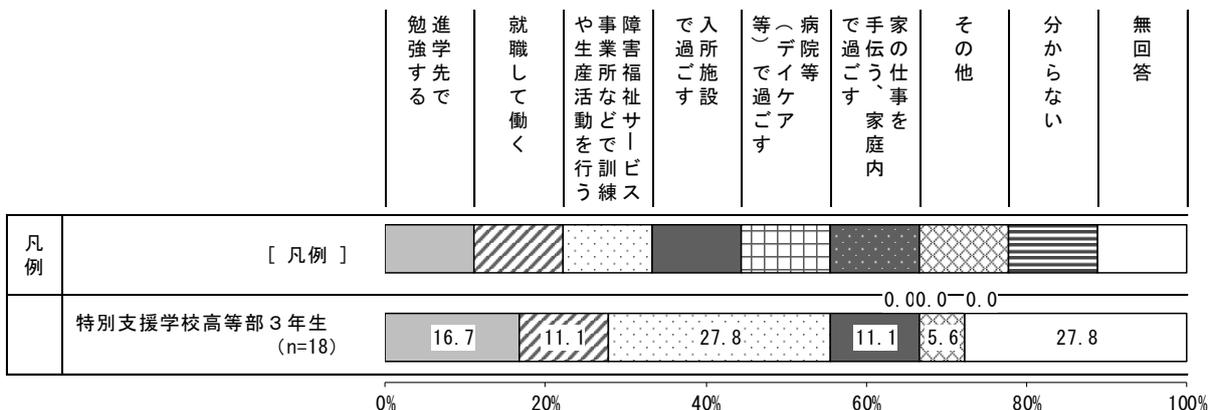
【支援学校卒業後の日中の過ごし方】



(10) 希望としてはどのように過ごしたいですか。

- 特別支援学校高等部3年生の希望する支援学校卒業後の日中の過ごし方について、「障害福祉サービス事業所などで訓練や生産活動を行う」が27.8%で最も多く、次いで「進学先で勉強する」が16.7%、「就職して働く」「入所施設で過ごす」が11.1%となっています。

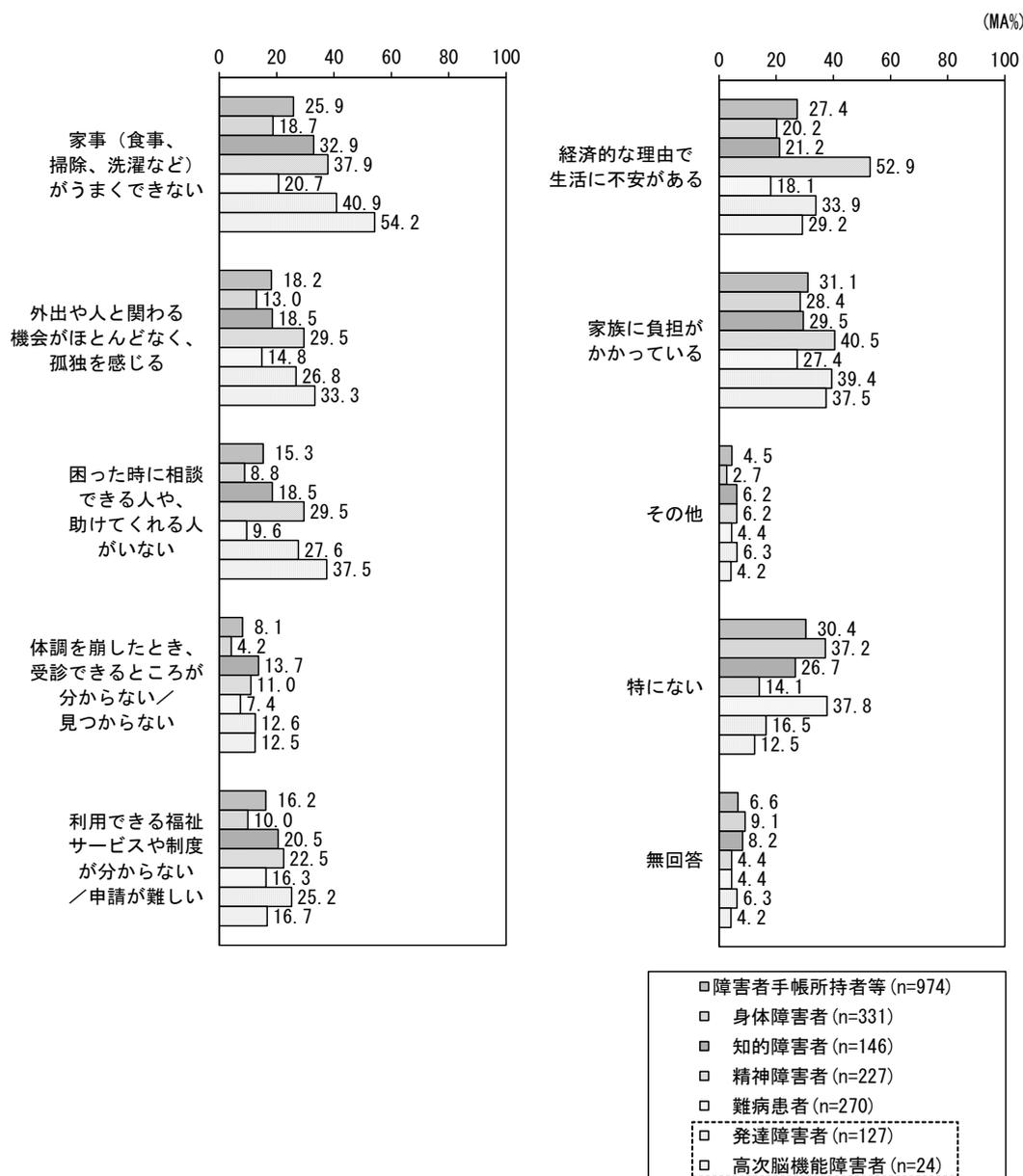
【希望する支援学校卒業後の日中の過ごし方】



(11) 日中、自宅で過ごしていてどんなことで困っていますか。(MA)

- 日中自宅で過ごしていて困っていることについて、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「家族に負担がかかっている」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、難病患者は「特にない」、知的障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「家事（食事、掃除、洗濯など）がうまくできない」、精神障害者は「経済的な理由で生活に不安がある」が最も多くなっています。

【日中自宅で過ごしていて困っていること】

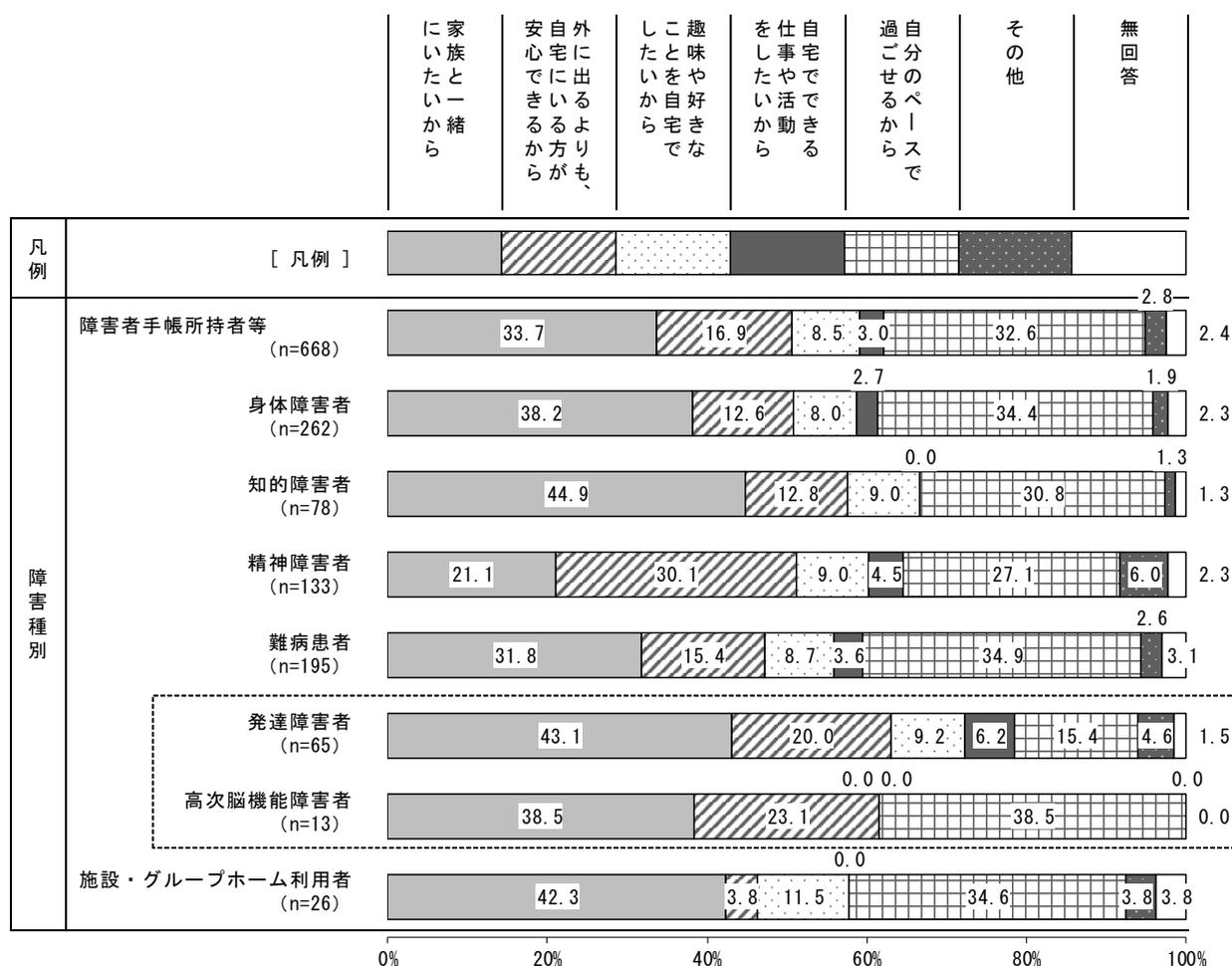


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(12) 近い将来、日中を主に自宅で過ごしたいと思う理由は何ですか。

- 日中を主に自宅で過ごしたいと思う理由について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者ともに「家族と一緒にいたいから」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、知的障害者、発達障害者は「家族と一緒にいたいから」、精神障害者は「外に出るよりも、自宅にいる方が安心できるから」、難病患者は「自分のペースで過ごせるから」、高次脳機能障害者は「家族と一緒にいたいから」と「自分のペースで過ごせるから」が最も多くなっています。

【日中を主に自宅で過ごしたいと思う理由】

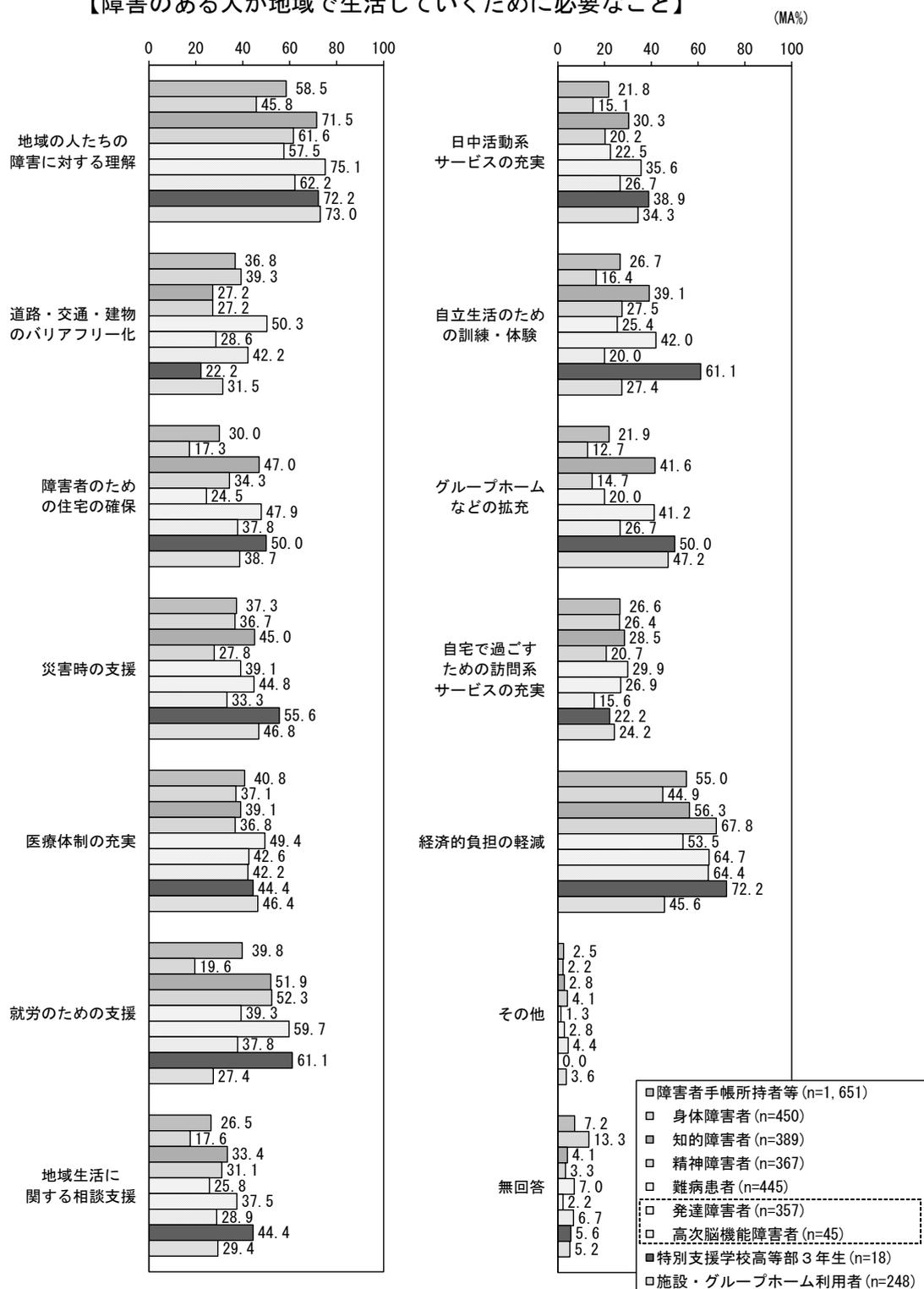


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(13) 障害のある人が地域で生活していくためには何が必要だと思いますか。(MA)

- 障害のある人が地域で生活していくために必要なことについて、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者は「地域の人たちの障害に対する理解」、特別支援学校高等部3年生は「地域の人たちの障害に対する理解」と「経済的負担の軽減」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、知的障害者、難病患者、発達障害者は「地域の人たちの障害に対する理解」、精神障害者、高次脳機能障害者は「経済的負担の軽減」が最も多くなっています。

【障害のある人が地域で生活していくために必要なこと】



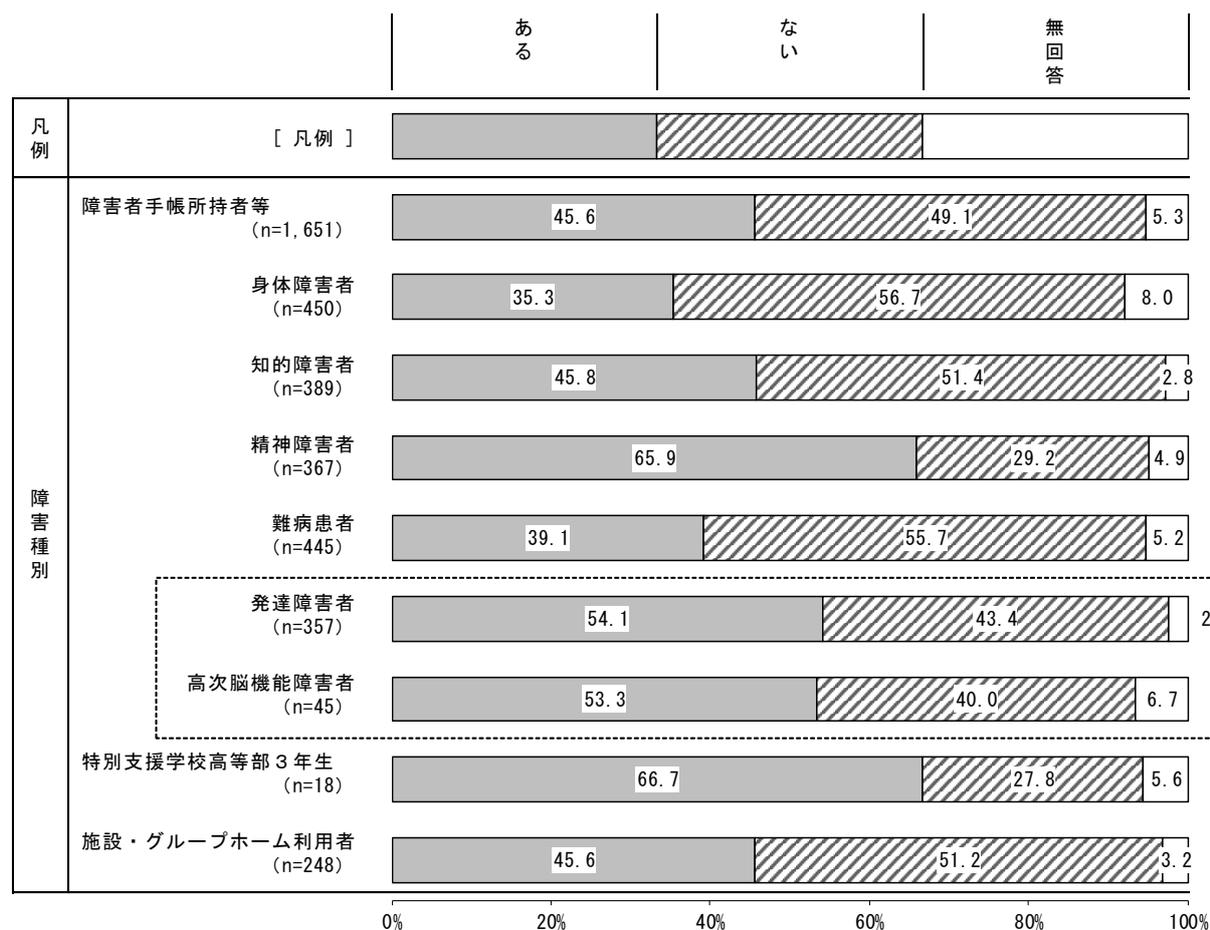
注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

11. 相談や情報入手について

(1) 現在の生活で困っていることや悩んでいることはありますか。

- 現在の生活で困っていることや悩んでいることの有無について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者は「ない」、特別支援学校高等部3年生は「ある」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、知的障害者、難病患者は「ない」、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「ある」が最も多くなっています。

【現在の生活で困っていることや悩んでいることの有無】

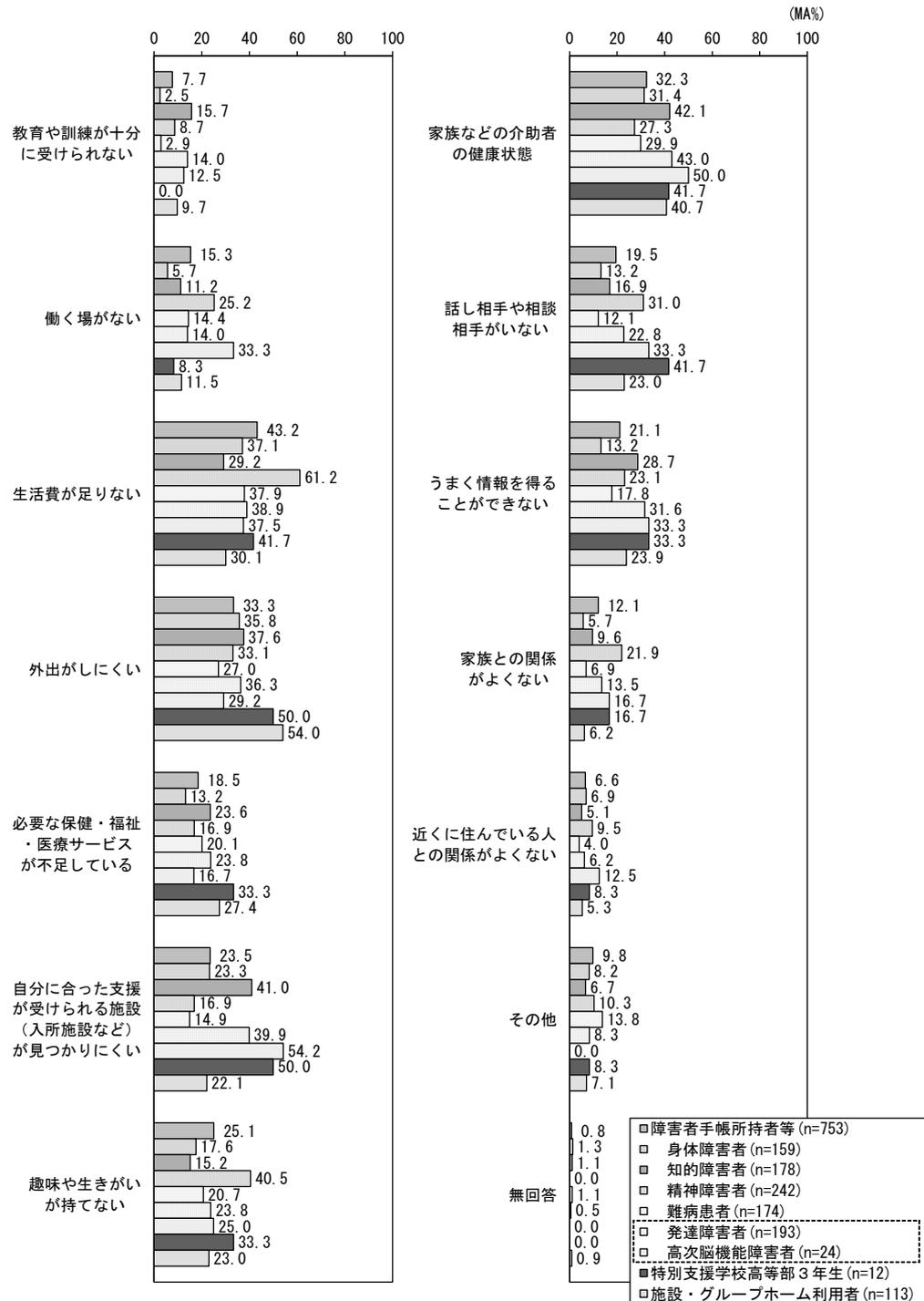


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(2) 困っていることや悩んでいることは何ですか。(MA)

- 現在の生活で困っていることや悩んでいることについて、障害者手帳所持者等は「生活費が足りない」、特別支援学校高等部3年生は「外出がしにくい」と「自分に合った支援が受けられる施設（入所施設など）が見つかりにくい」、施設・グループホーム利用者は「外出がしにくい」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者は「生活費が足りない」、知的障害者、発達障害者は「家族などの介助者の健康状態」、高次脳機能障害者は「自分に合った支援が受けられる施設（入所施設など）が見つかりにくい」が最も多くなっています。

【現在の生活で困っていることや悩んでいること】

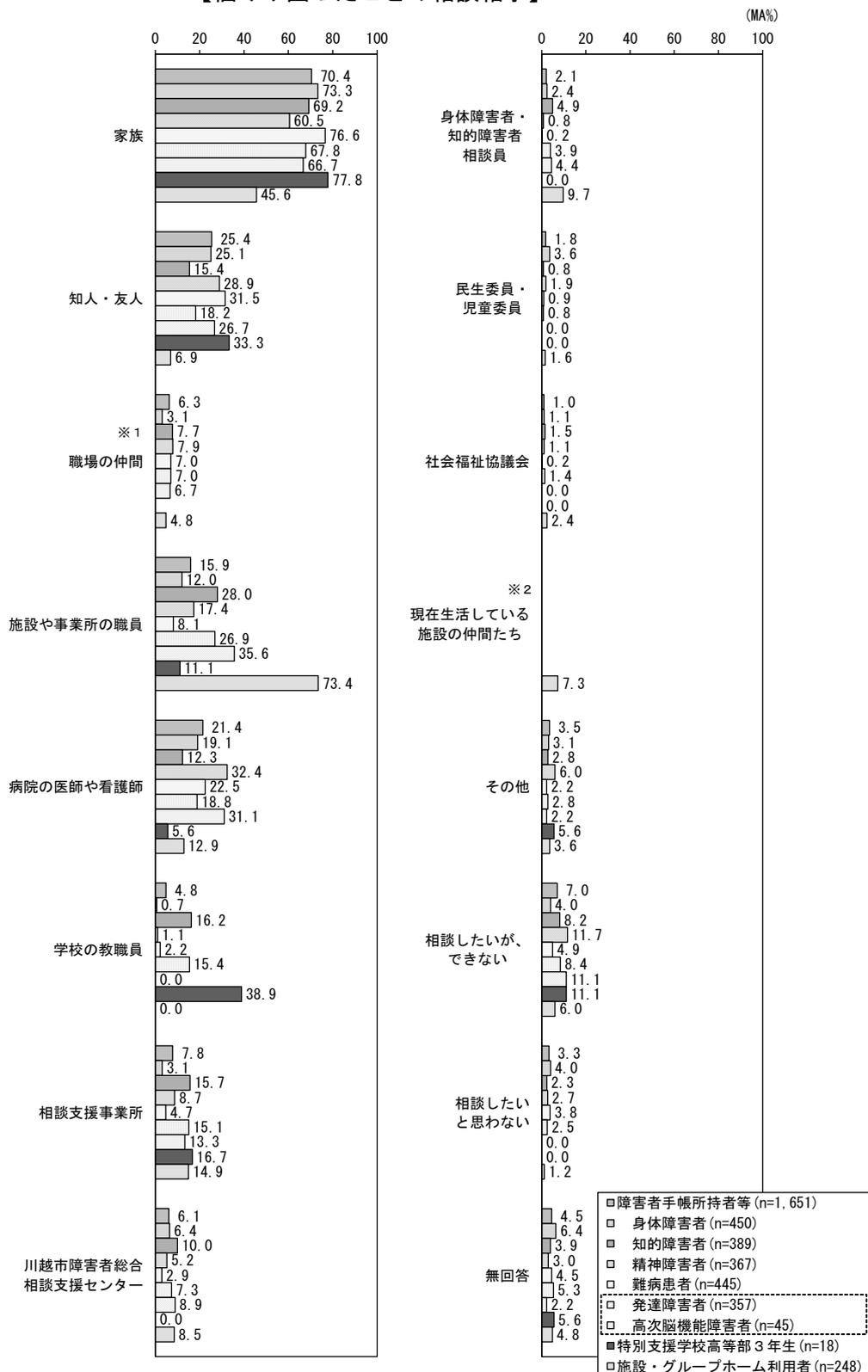


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(3) 普段、悩みや困ったことなどをどこ（誰）に相談しますか。(MA)

○ 悩みや困ったことの相談相手について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生は「家族」、施設・グループホーム利用者は「施設や事業所の職員」が最も多くなっています。

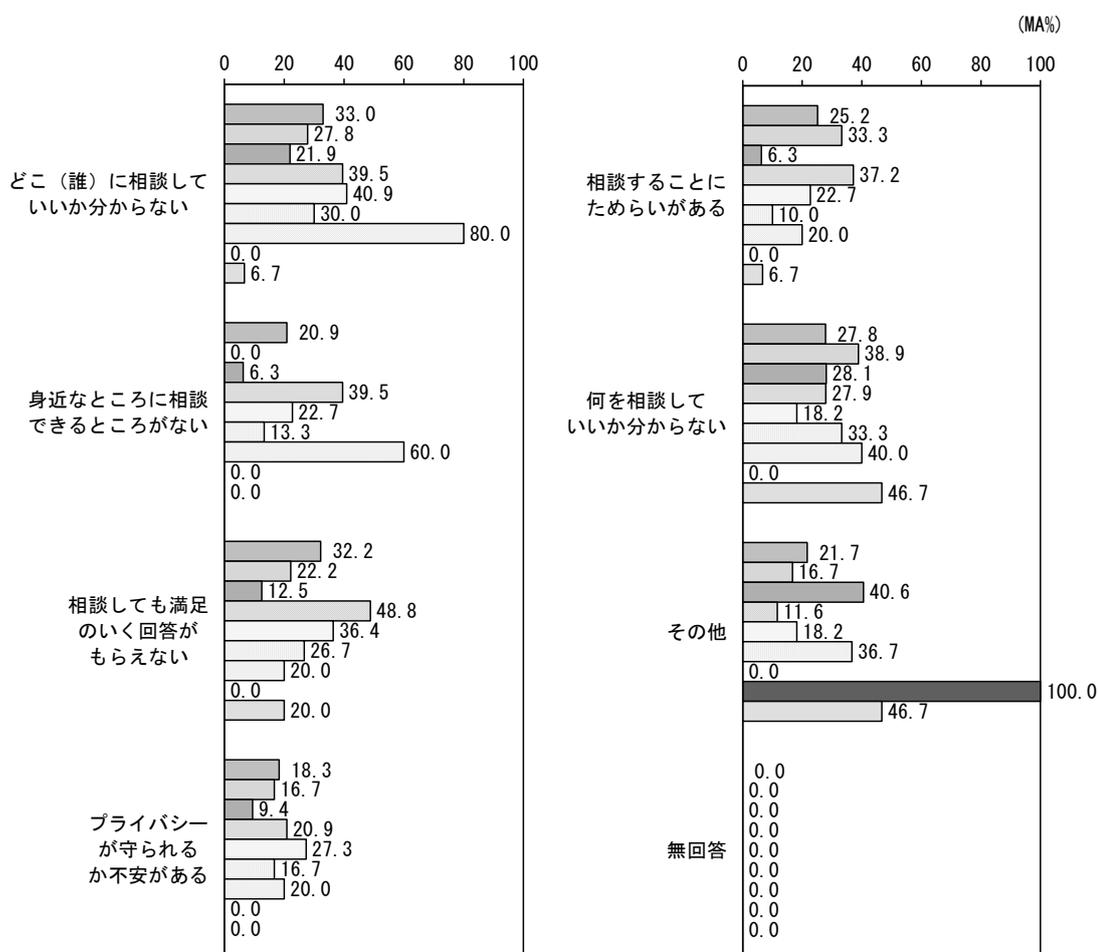
【悩みや困ったことの相談相手】



(4) 相談できない理由は何ですか。(MA)

- 悩みや困ったことを相談できない理由について、障害者手帳所持者等は「どこ（誰）に相談していいか分からない」、特別支援学校高等部3年生は「その他」、施設・グループホーム利用者は「何を相談していいか分からない」と「その他」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者は「何を相談していいか分からない」、知的障害者は「その他」、発達障害者は「その他」、精神障害者は「相談しても満足いく回答がもらえない」、難病患者、高次脳機能障害者は「どこ（誰）に相談していいか分からない」が最も多くなっています。

【悩みや困ったことを相談できない理由】



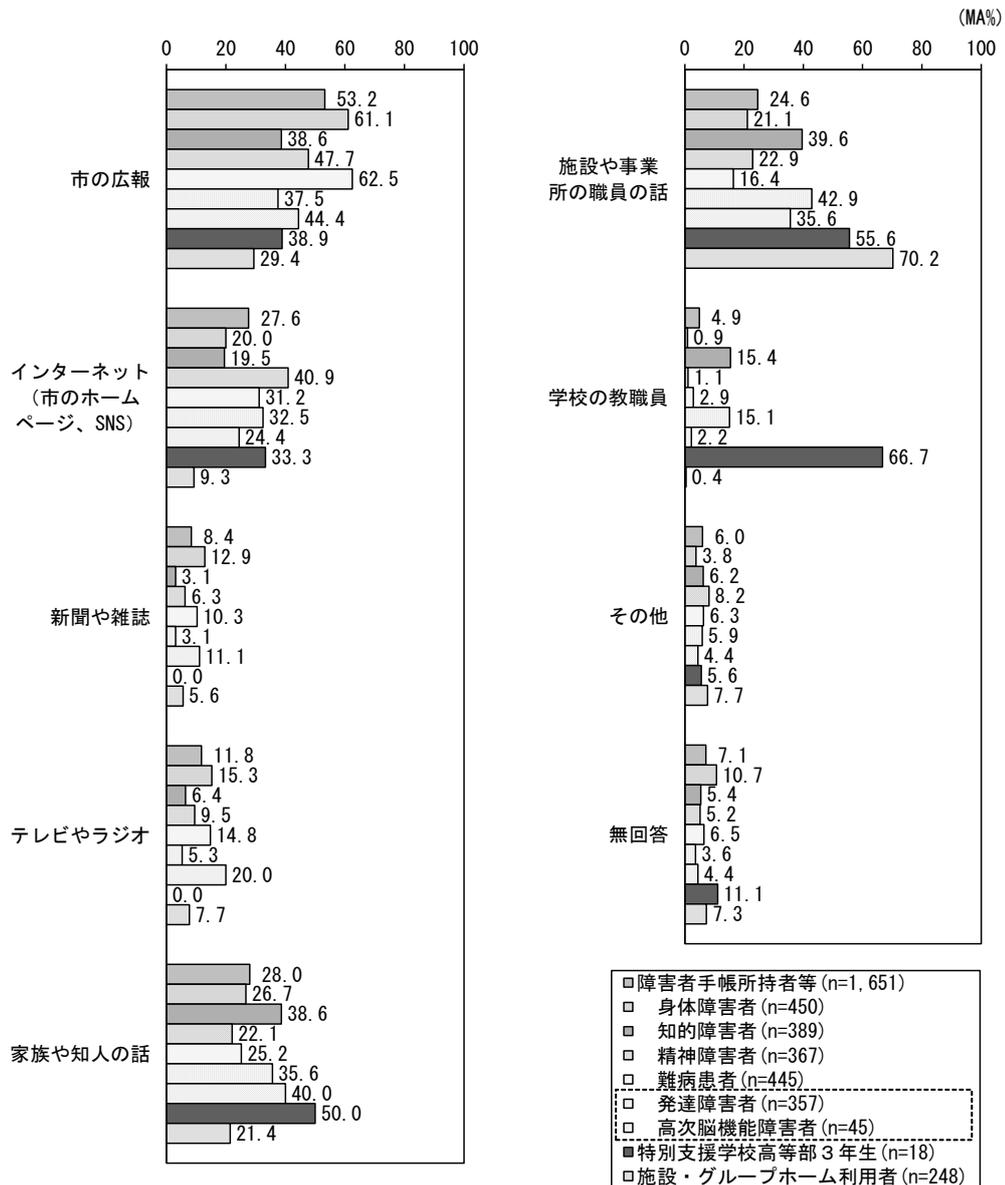
- 障害者手帳所持者等 (n=115)
- 身体障害者 (n=18)
- 知的障害者 (n=32)
- 精神障害者 (n=43)
- 難病患者 (n=22)
- 発達障害者 (n=30)
- 高次脳機能障害者 (n=5)
- 特別支援学校高等部3年生 (n=2)
- 施設・グループホーム利用者 (n=15)

注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(5) 福祉サービス内容について、どのようなもので知ることが多いですか。(MA)

- 福祉サービスについての情報入手方法について、障害者手帳所持者等は「市の広報」、特別支援学校高等部3年生は「学校の教職員」、施設・グループホーム利用者は「施設や事業所の職員の話」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者、高次脳機能障害者は「市の広報」、知的障害者、発達障害者は「施設や事業所の職員の話」が最も多くなっています。

【福祉サービスについての情報入手方法】



注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

12. 福祉サービスについて

(1) 次の障害福祉サービスを利用していますか。今後3年以内にどのくらい利用したいですか。

【障害者手帳所持者等】

- 利用状況について、「あり」が最も多い項目は、「19 計画相談支援」が15.6%で最も多く、次いで、「23 放課後等デイサービス」が7.0%、「6 生活介護」が5.8%となっています。
- 今後の利用予定について、「増やす・今後利用する予定」が最も多い項目は、「8 短期入所（ショートステイ）」が9.8%で最も多く、次いで、「19 計画相談支援」が8.2%、「15 就労移行支援」「17 就労継続支援B型」「18 就労定着支援」が6.5%となっています。

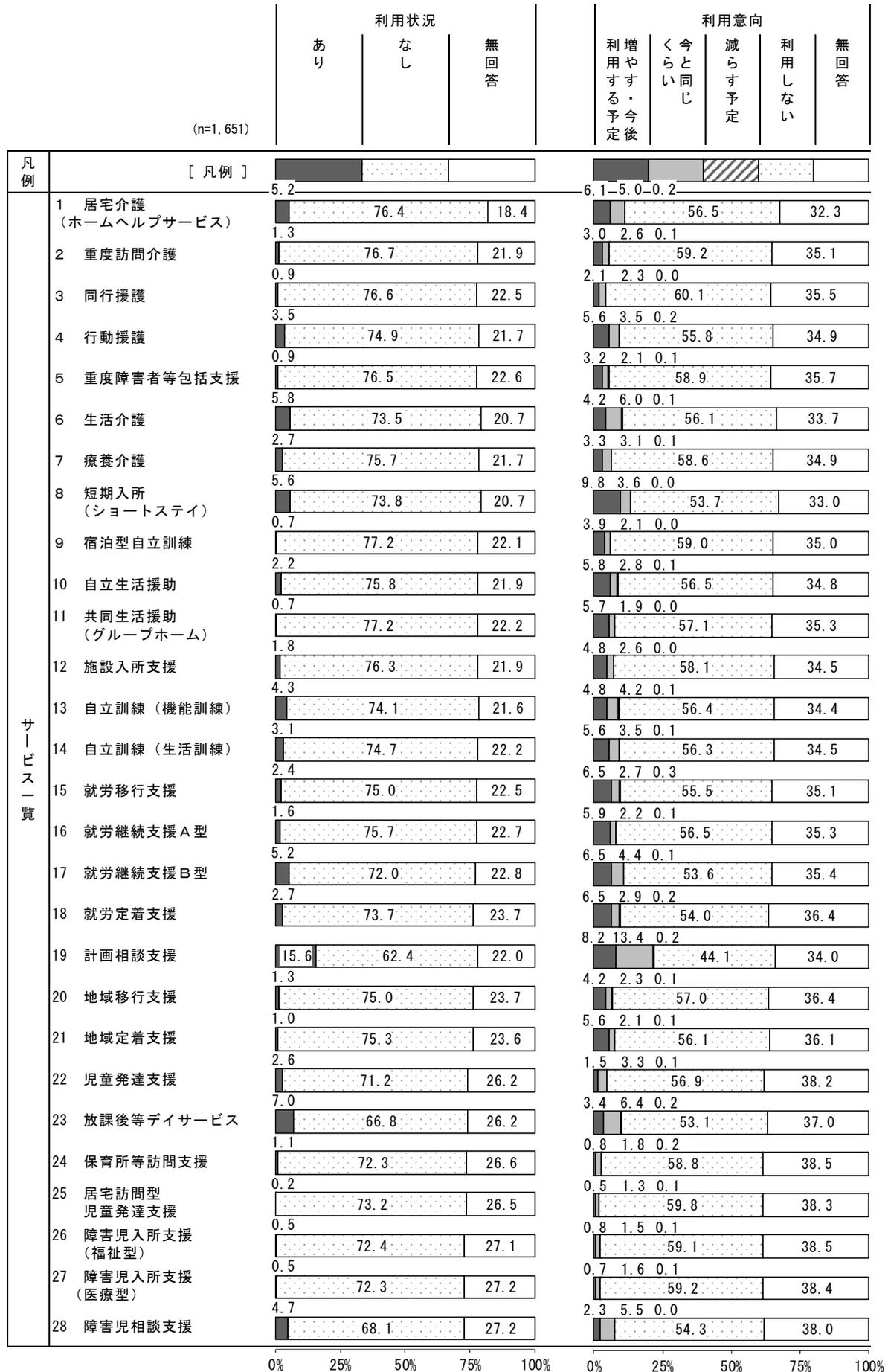
【特別支援学校高等部3年生】

- 利用状況について、「あり」が最も多い項目は、「19 計画相談支援」「23 放課後等デイサービス」が38.9%で最も多く、次いで、「28 障害児相談支援」が22.2%となっています。
- 今後の利用予定について、「増やす・今後利用する予定」が最も多い項目は、「8 短期入所（ショートステイ）」が38.9%で最も多く、次いで、「11 共同生活援助（グループホーム）」「17 就労継続支援B型」が33.3%となっています。

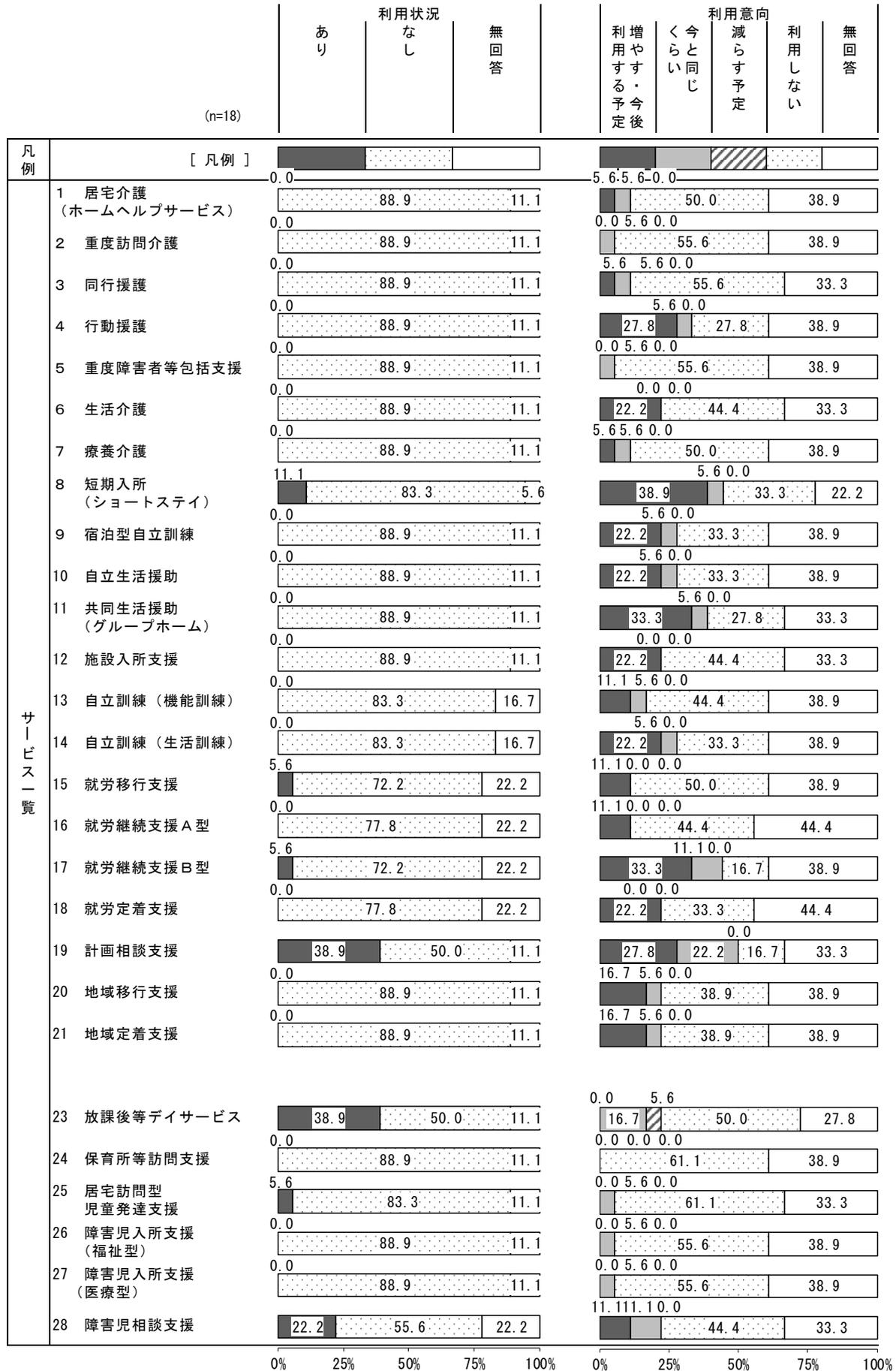
【施設・グループホーム利用者】

- 利用状況について、「あり」が最も多い項目は、「19 計画相談支援」が69.4%で最も多く、次いで、「12 施設入所支援」が44.4%、「6 生活介護」が41.5%となっています。
- 今後の利用予定について、「増やす・今後利用する予定」が最も多い項目は、「19 計画相談支援」が8.1%で最も多く、次いで、「4 行動援護」が7.7%、「14 自立訓練（生活訓練）」が5.6%となっています。

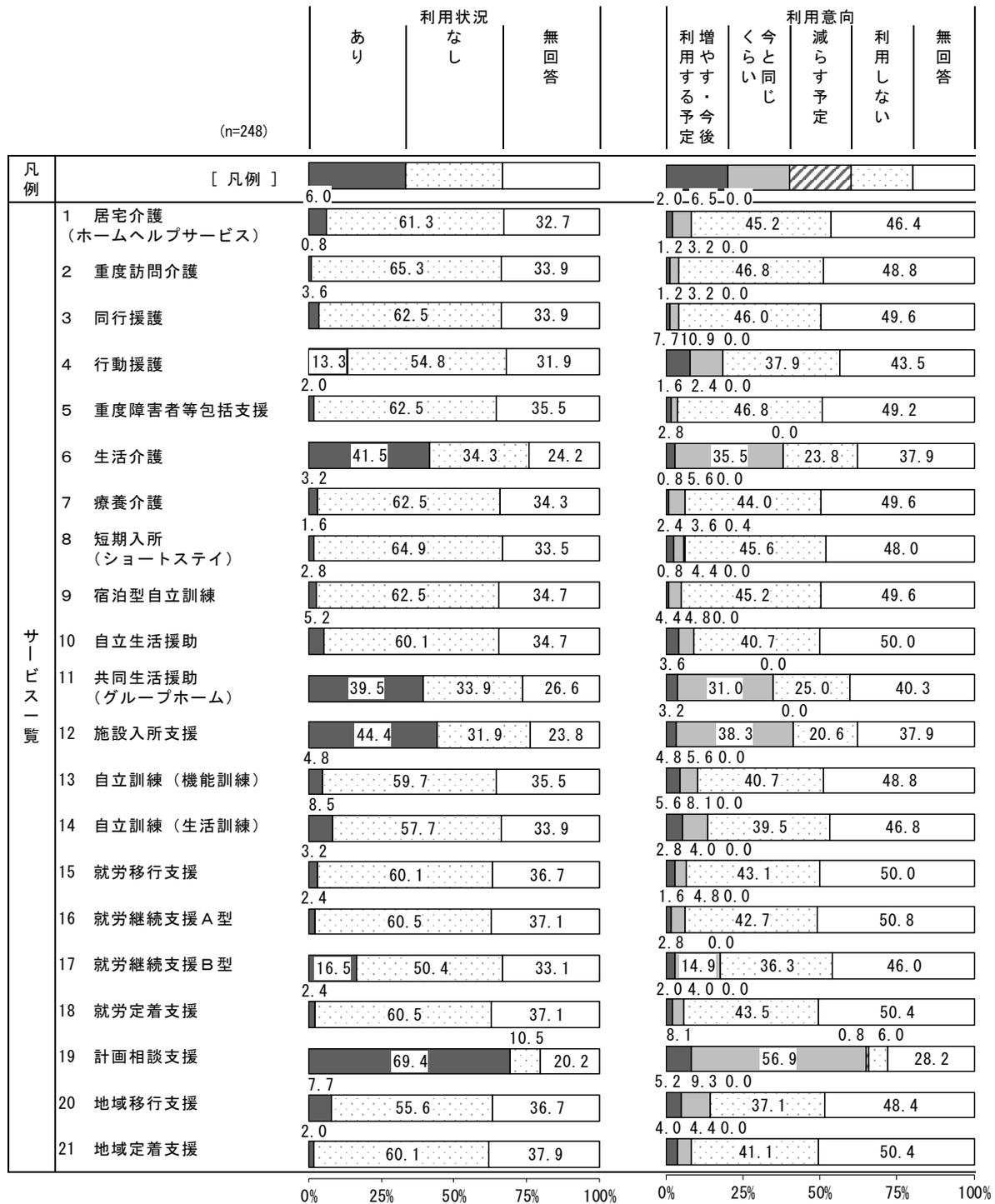
【福祉サービスの利用状況と利用意向（障害者手帳所持者等）】



【福祉サービスの利用状況と利用意向（特別支援学校高等部3年生）】



【福祉サービスの利用状況と利用意向（施設・グループホーム利用者）】

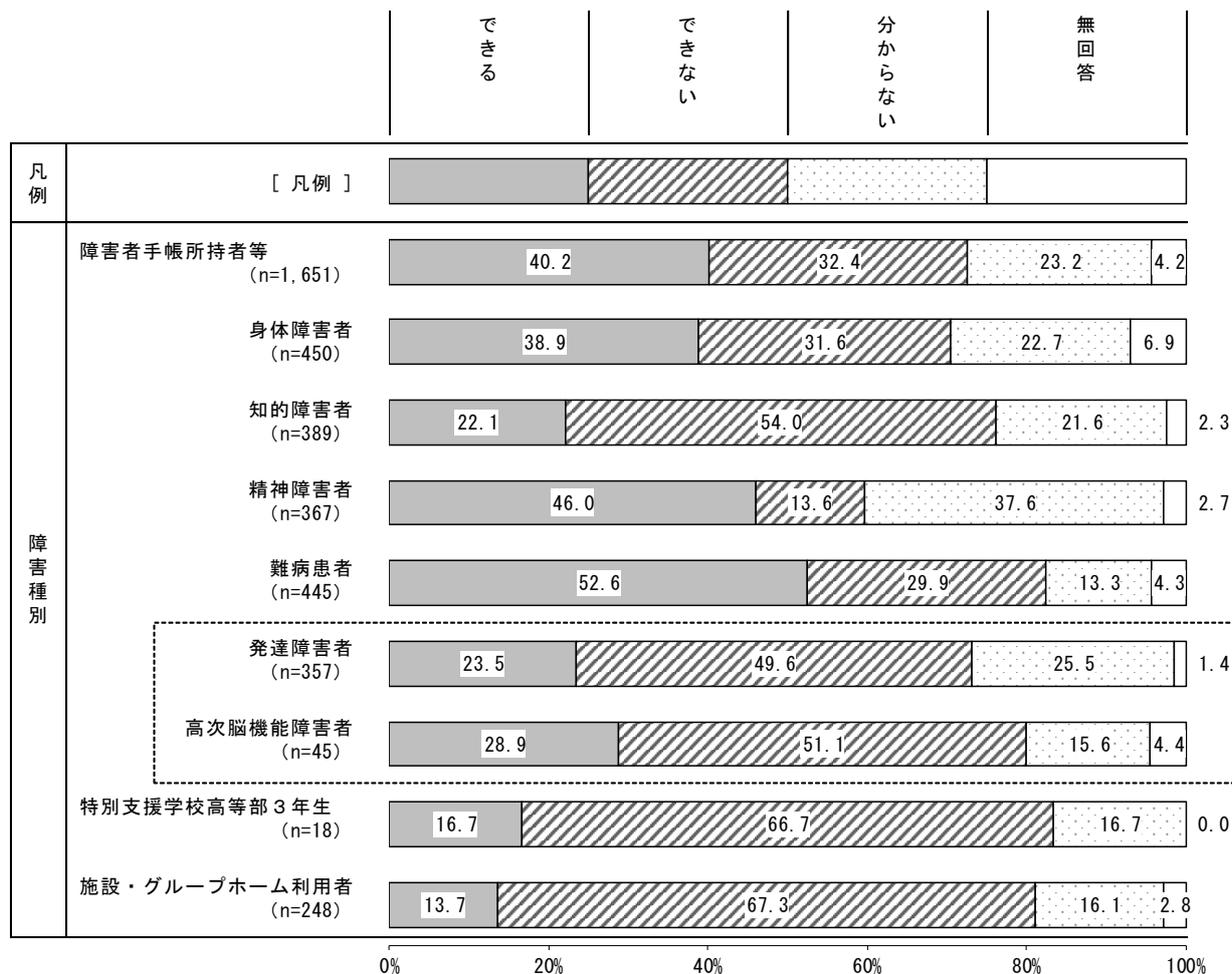


13. 災害時の支援等について

(1) 災害時に一人（自力）で避難することはできますか。

- 災害時の避難の可否について、障害者手帳所持者等は「できる」、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者は「できない」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者は「できる」、知的障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「できない」が最も多くなっています。

【災害時の避難の可否】

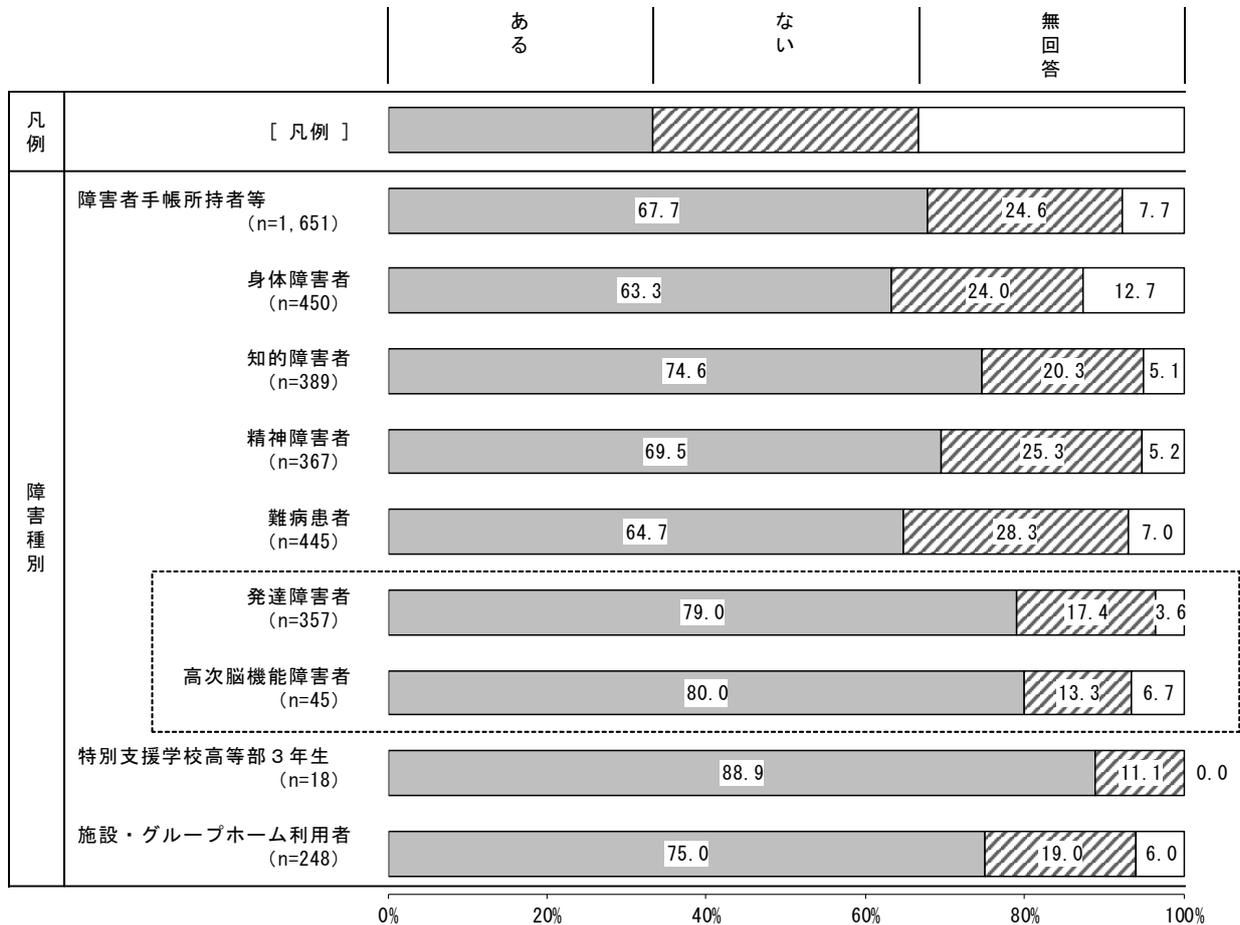


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(2) 災害発生時に困ることや不安なことはありますか。

- 災害発生時に困ることや不安なことの有無について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「ある」が最も多くなっています。

【災害発生時に困ることや不安なことの有無】

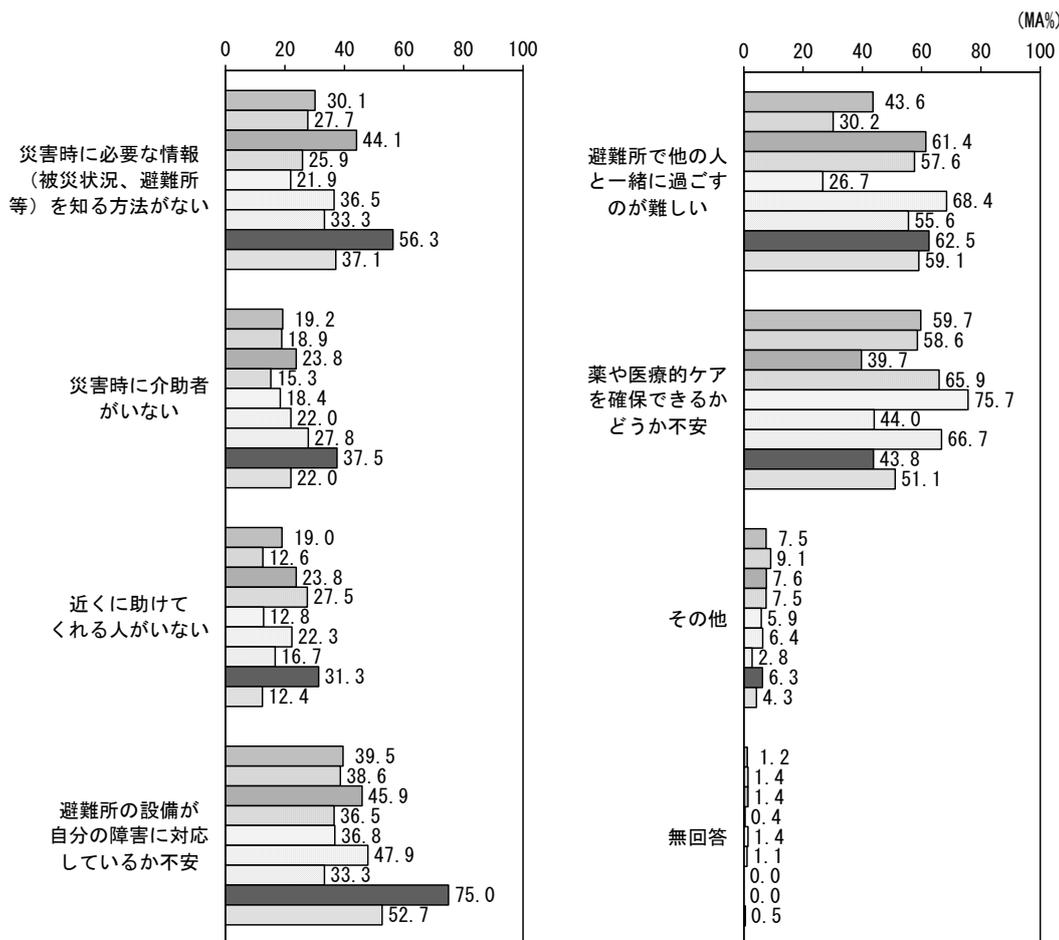


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(3) 困ることや不安なことは何ですか。(MA)

- 災害発生時に困ることや不安なことについて、障害者手帳所持者等は「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」、特別支援学校高等部3年生は「避難所の設備が自分の障害に対応しているか不安」、施設・グループホーム利用者は「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者、高次脳機能障害者は「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」、知的障害者、発達障害者は「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が最も多くなっています。

【災害発生時に困ることや不安なこと】



- 障害者手帳所持者等 (n=1,118)
- 身体障害者 (n=285)
- 知的障害者 (n=290)
- 精神障害者 (n=255)
- 難病患者 (n=288)
- 発達障害者 (n=282)
- 高次脳機能障害者 (n=36)
- 特別支援学校高等部3年生 (n=16)
- 施設・グループホーム利用者 (n=186)

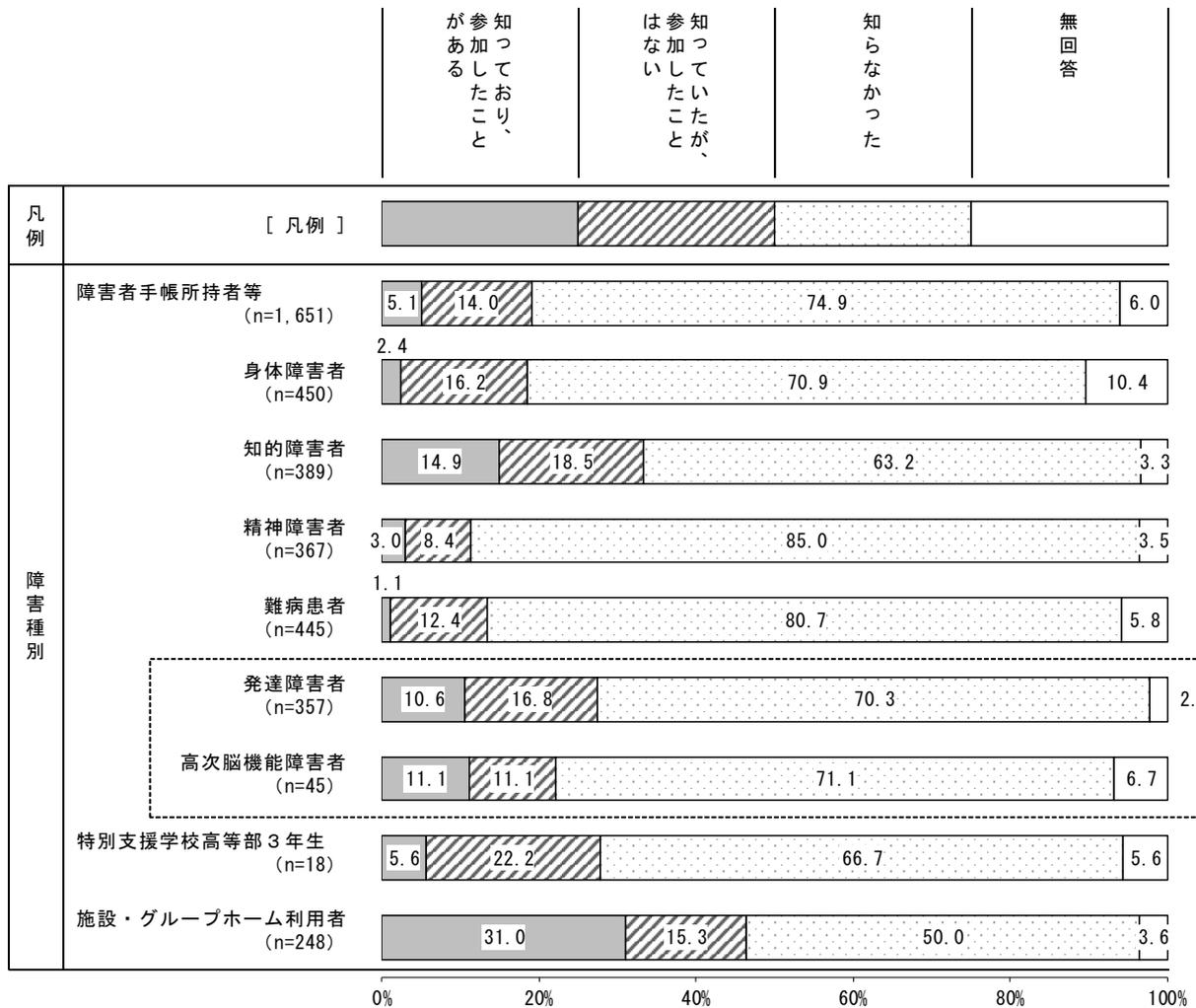
注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

14. 障害者への理解や権利擁護について

(1) 「障害者週間の集い」を知っていましたか。

- 「障害者週間の集い」の認知状況について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「知らなかった」が最も多くなっています。

【「障害者週間の集い」の認知状況】

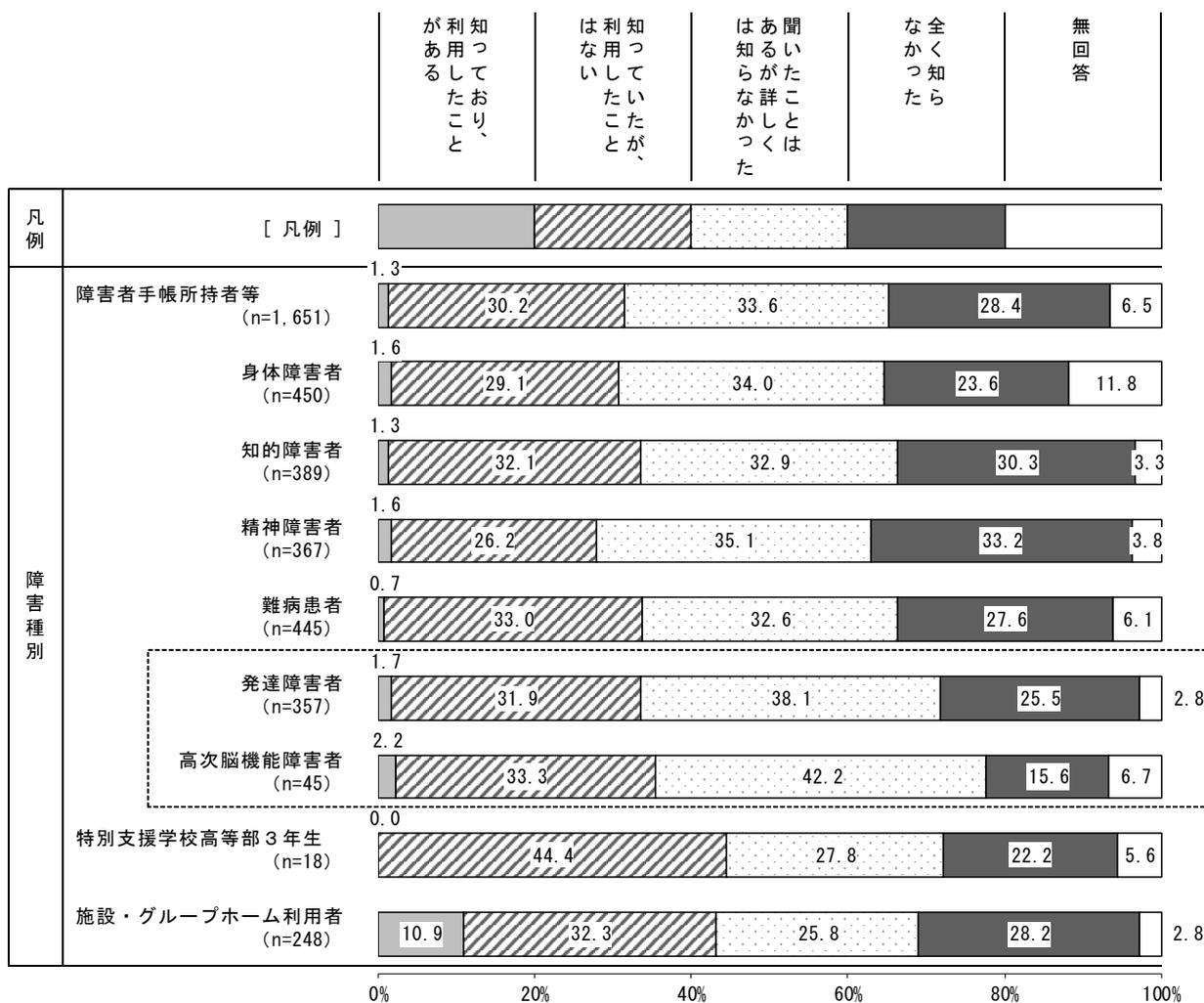


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(2) 「成年後見制度」について知っていましたか。

- 「成年後見制度」の認知状況について、障害者手帳所持者等は「聞いたことはあるが詳しくは知らなかった」、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者は「知っていたが、利用したことはない」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「聞いたことはあるが詳しくは知らなかった」、難病患者は「知っていたが、利用したことはない」が最も多くなっています。

【「成年後見制度」の認知状況】

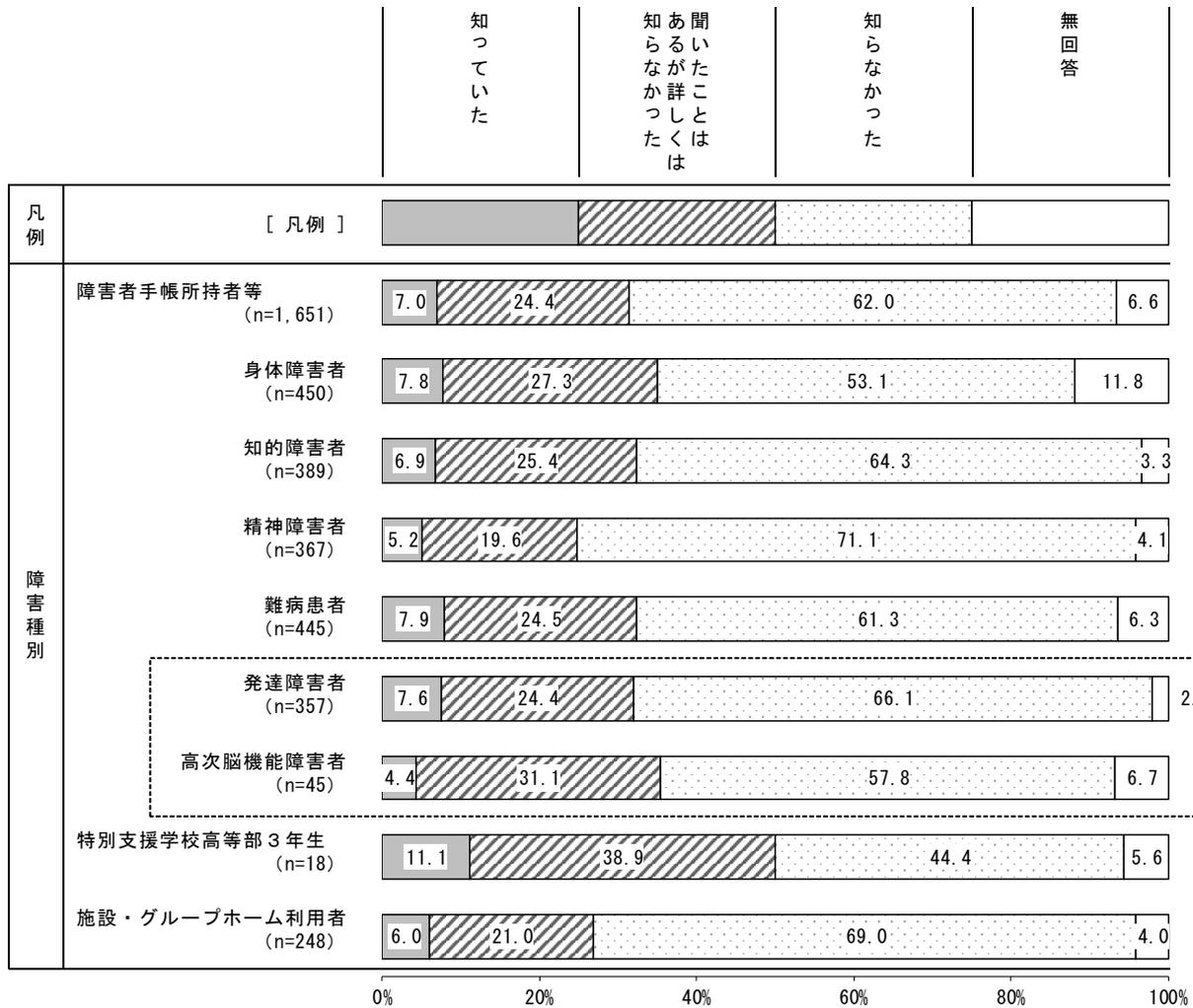


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(3) 「地域共生社会」を知っていましたか。

- 「地域共生社会」の認知状況について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「知らなかった」が最も多くなっています。

【「地域共生社会」の認知状況】

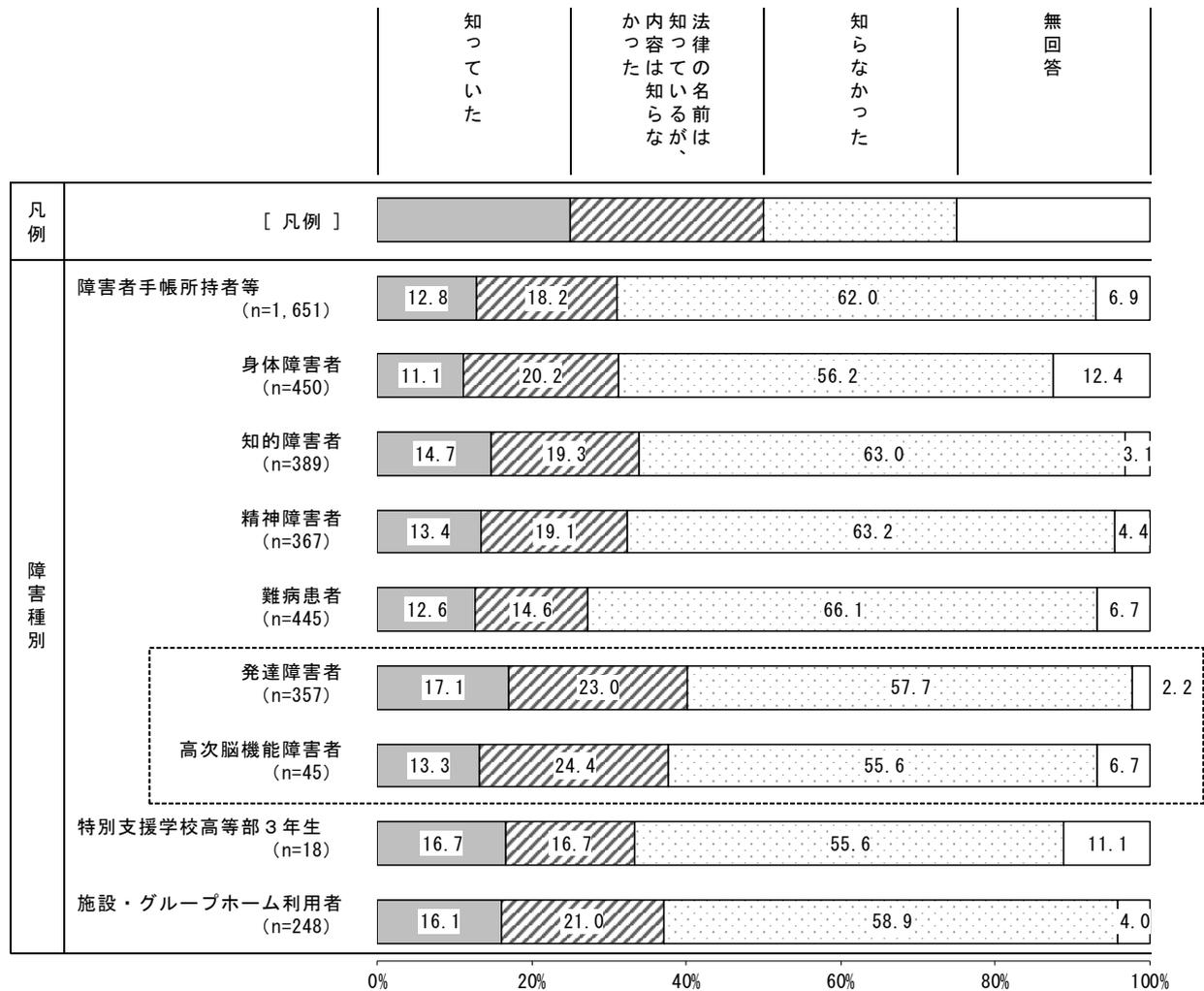


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(4) 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」を知っていましたか。

- 「障害者差別解消法」の認知状況について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「知らなかった」が最も多くなっています。

【「障害者差別解消法」の認知状況】

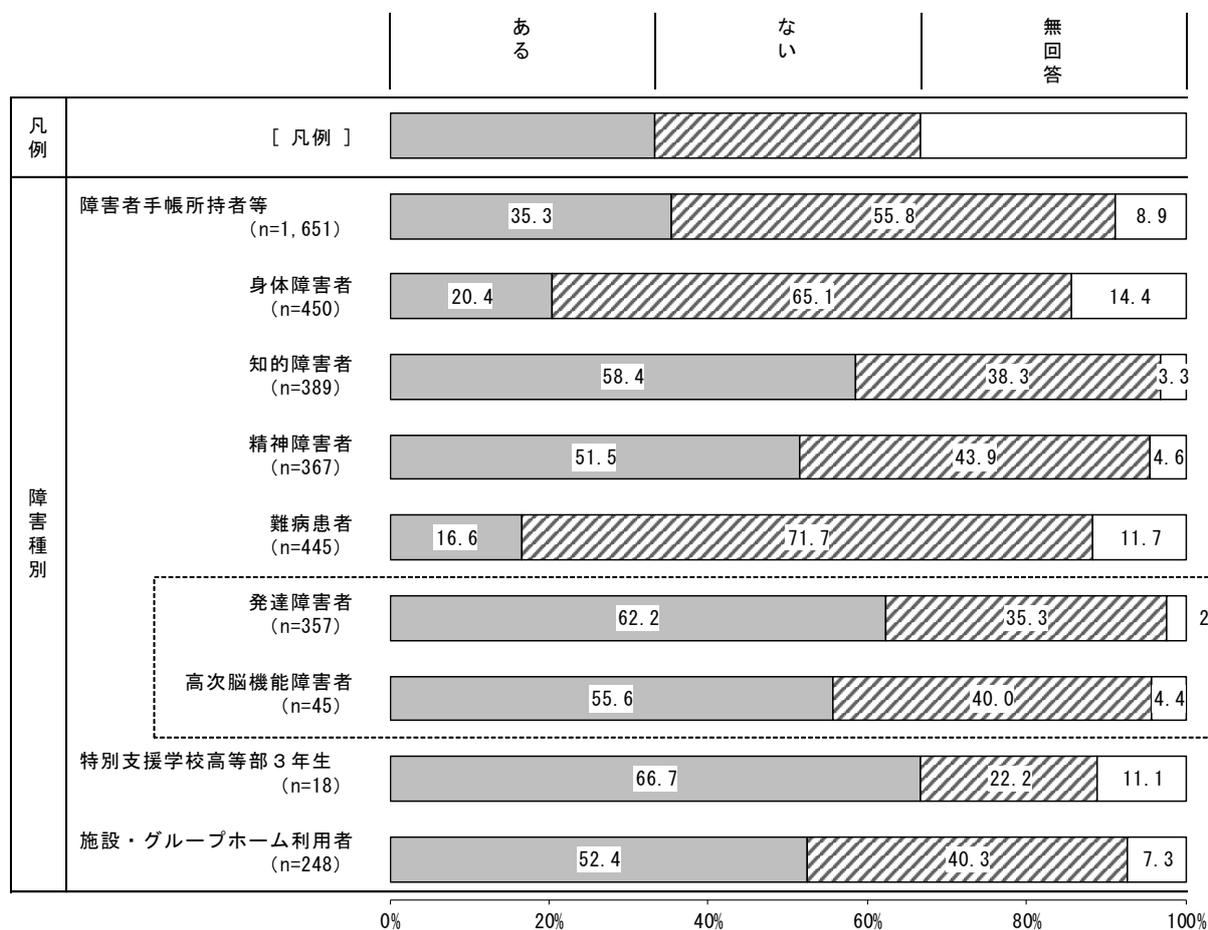


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(5) 障害があることで差別を受けたり嫌な思いをしたりすることはありますか。

- 障害があることで差別を受けたり嫌な思いをしたりすることの有無について、障害者手帳所持者等は「ない」、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者は「ある」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、難病患者は「ない」、知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「ある」が最も多くなっています。

【障害があることで差別を受けたり嫌な思いをしたりすることの有無】

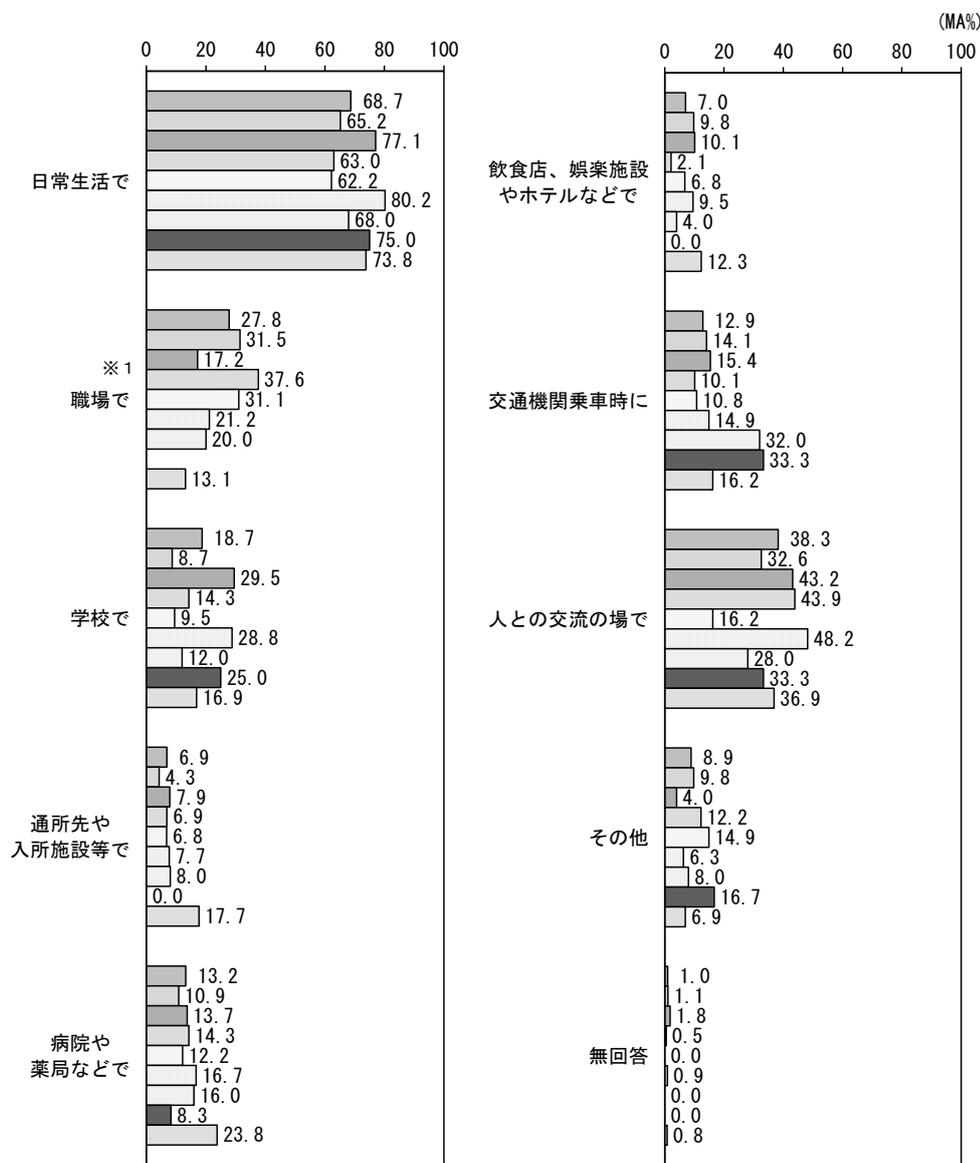


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(6) それはどのような場面ですか。(MA)

- 障害があることで差別を受けたり嫌な思いをした場面について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「日常生活で」が最も多くなっています。

【障害があることで差別を受けたり嫌な思いをした場面】



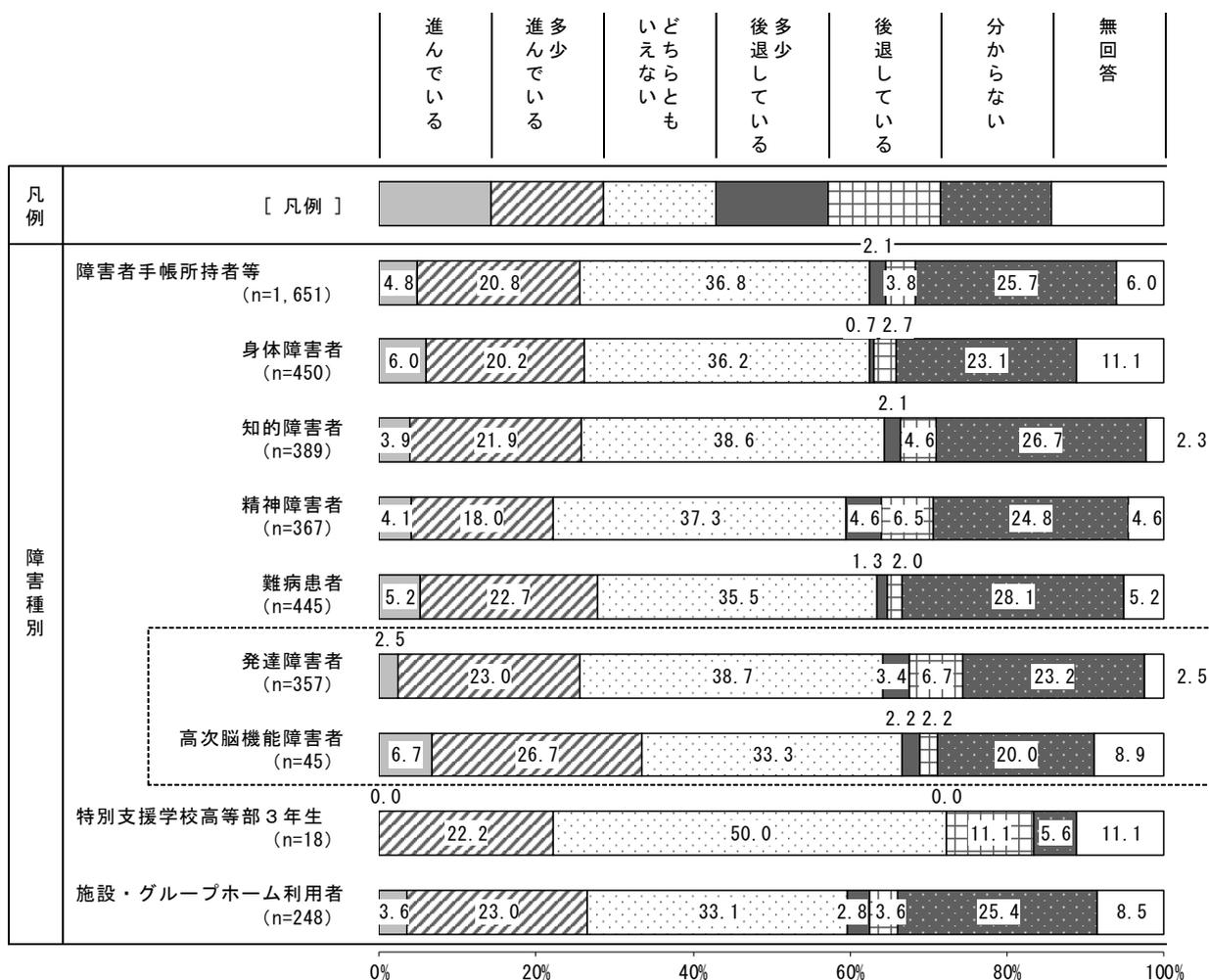
- 障害者手帳所持者等 (n=582)
- 身体障害者 (n=92)
- 知的障害者 (n=227)
- 精神障害者 (n=189)
- 難病患者 (n=74)
- 発達障害者 (n=222)
- 高次脳機能障害者 (n=25)
- 特別支援学校高等部3年生 (n=12)
- 施設・グループホーム利用者 (n=130)

※1 「職場で」は、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者からのみの選択肢
 注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(7) 障害に対する市民の理解について、進んでいると感じますか。

- 障害に対する市民の理解が進んでいると感じるかについて、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「どちらともいえない」が最も多くなっています。

【障害に対する市民の理解が進んでいると感じるか】



注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

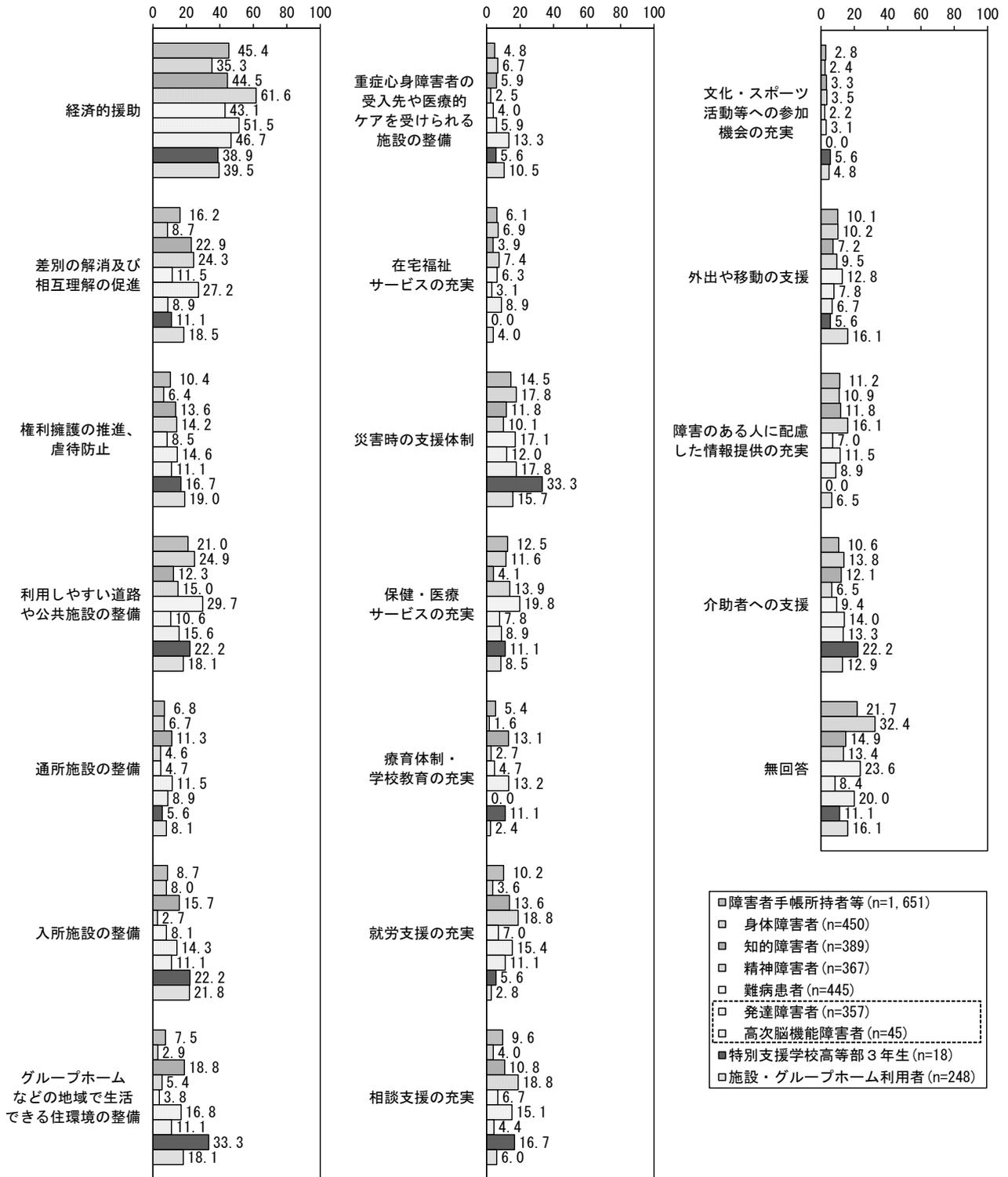
15. 市の取り組み等について

(1) 次の市の取り組みで、改善してほしいことを教えてください。(3LA)

○ 改善してほしい市の取り組みについて、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「経済的援助」が最も多くなっています。

【改善してほしい市の取り組み】

(MA%)



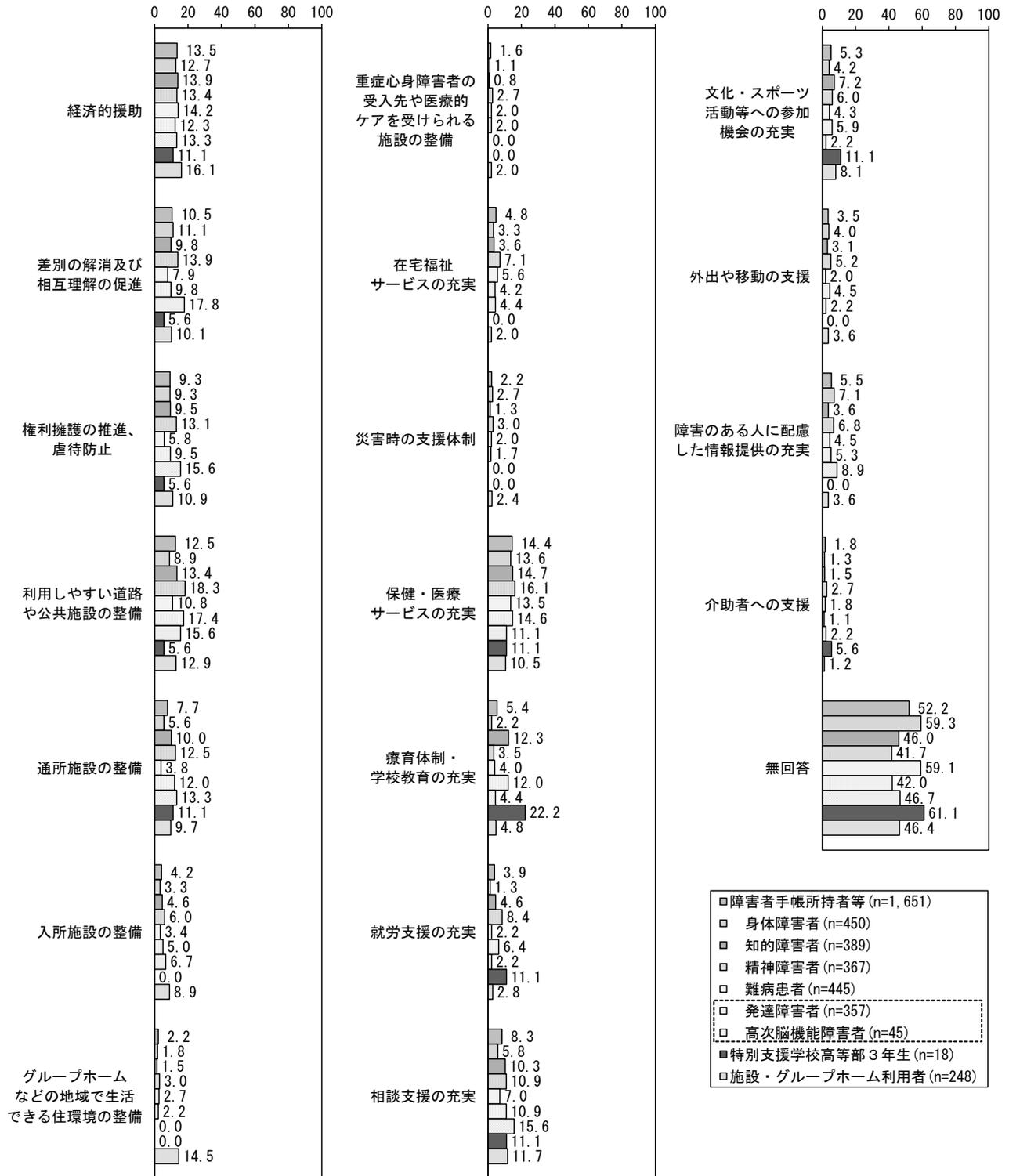
注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(2) 次の市の取り組みで、満足していることを教えてください。(3LA)

- 満足している市の取り組みについて、障害者手帳所持者等は「保健・医療サービスの充実」、特別支援学校高等部3年生は「療育体制・学校教育の充実」、施設・グループホーム利用者は「経済的援助」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者は「保健・医療サービスの充実」、精神障害者、発達障害者は「利用しやすい道路や公共施設の整備」、難病患者は「経済的援助」、高次脳機能障害者は「差別の解消及び相互理解の促進」が最も多くなっています。

【満足している市の取り組み】

(MA%)



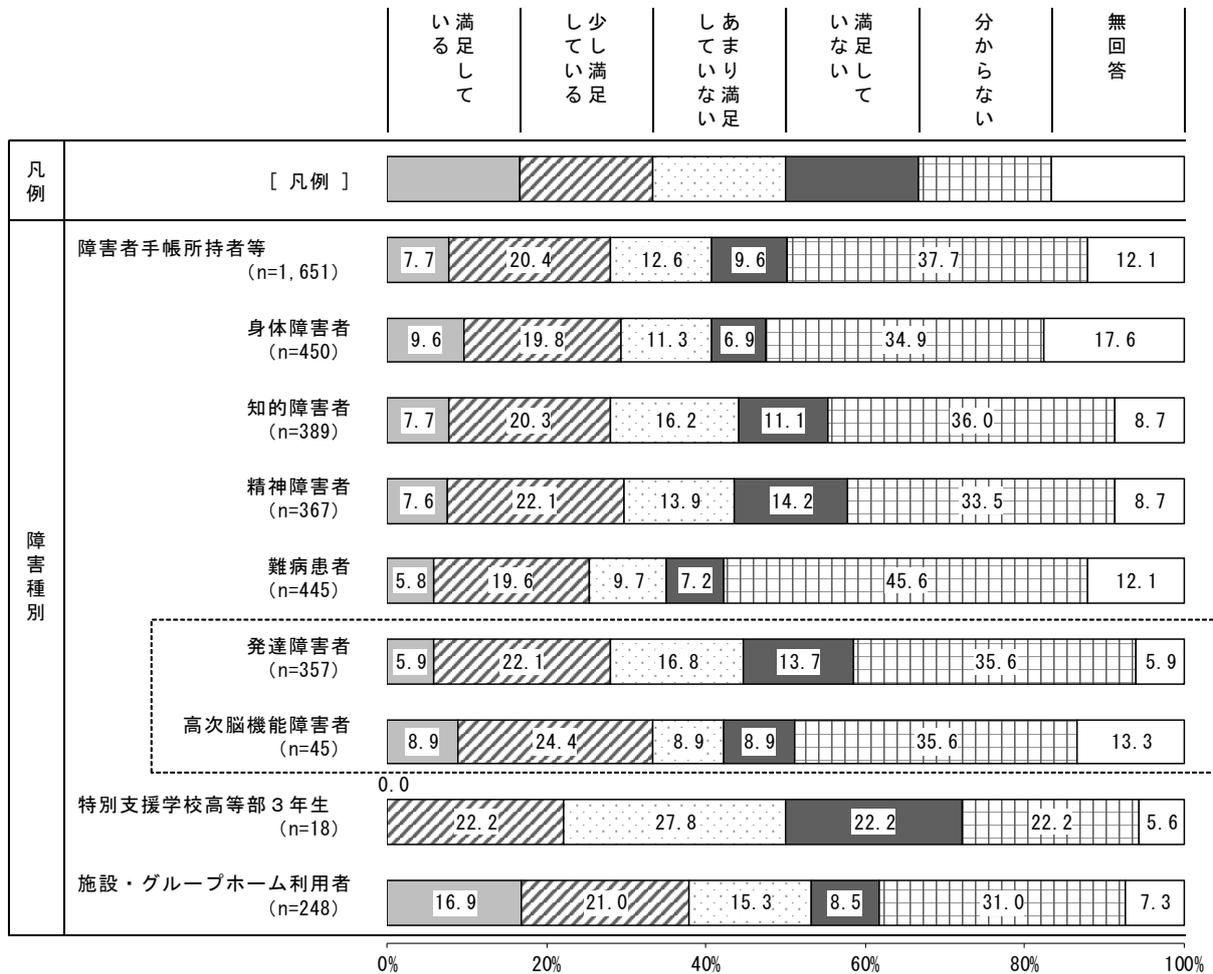
注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

16. 市の障害者施策の満足度について

(1) 川越市の障害者施策について、満足していますか。

- 川越市の障害者施策に対する満足度について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者は「分からない」、特別支援学校高等部3年生は「あまり満足していない」が最も多くなっています。

【川越市の障害者施策に対する満足度】



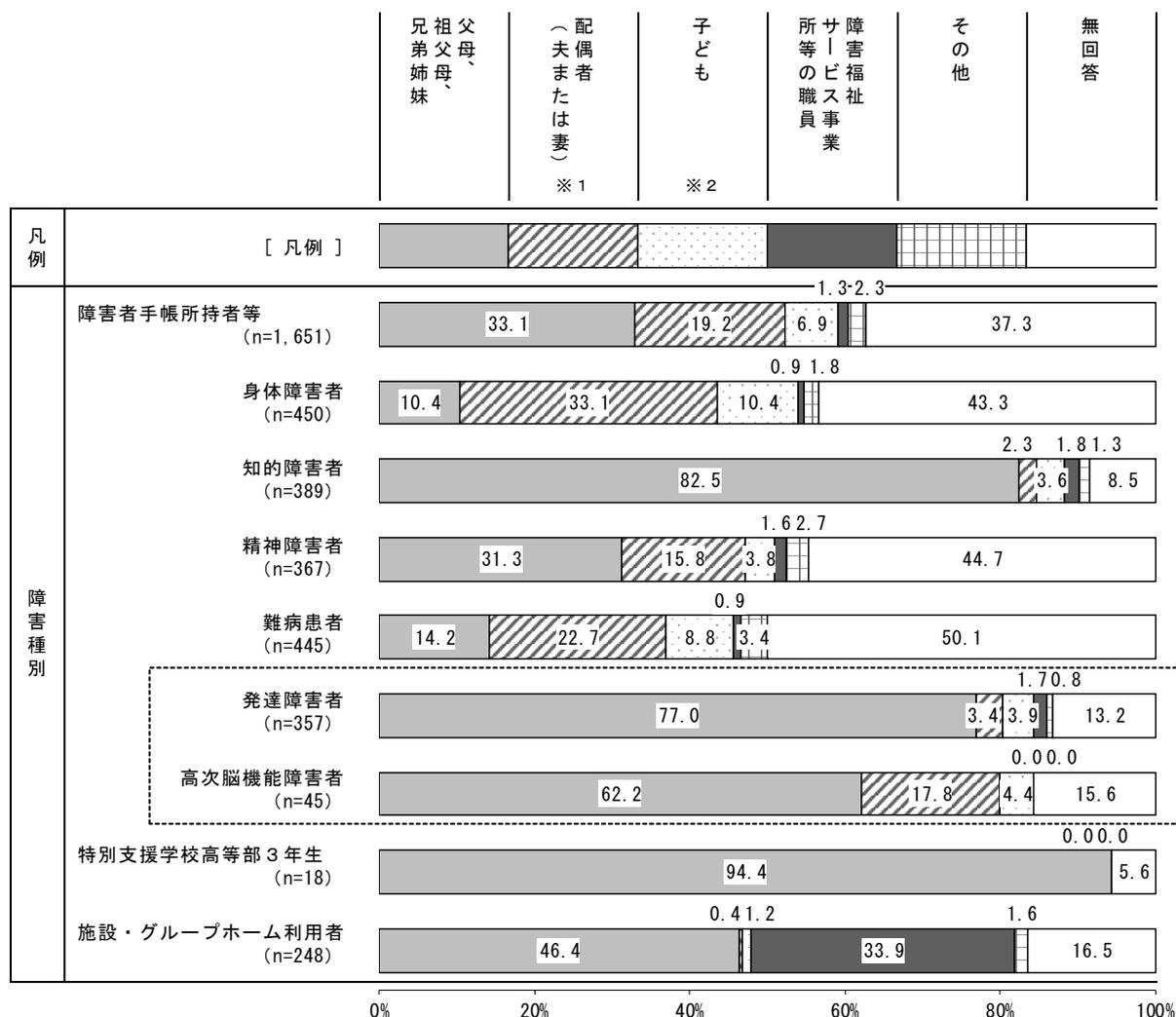
注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

17. 介助者向けアンケート

(1) ご本人との関係は次のうちどれですか。

- 介助者と本人の関係について、障害者手帳所持者等、特別支援学校高等部3年生、施設・グループホーム利用者いずれも「父母、祖父母、兄弟姉妹」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、難病患者は「配偶者（夫または妻）」、知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「父母、祖父母、兄弟姉妹」が最も多くなっています。

【介助者と本人の関係】



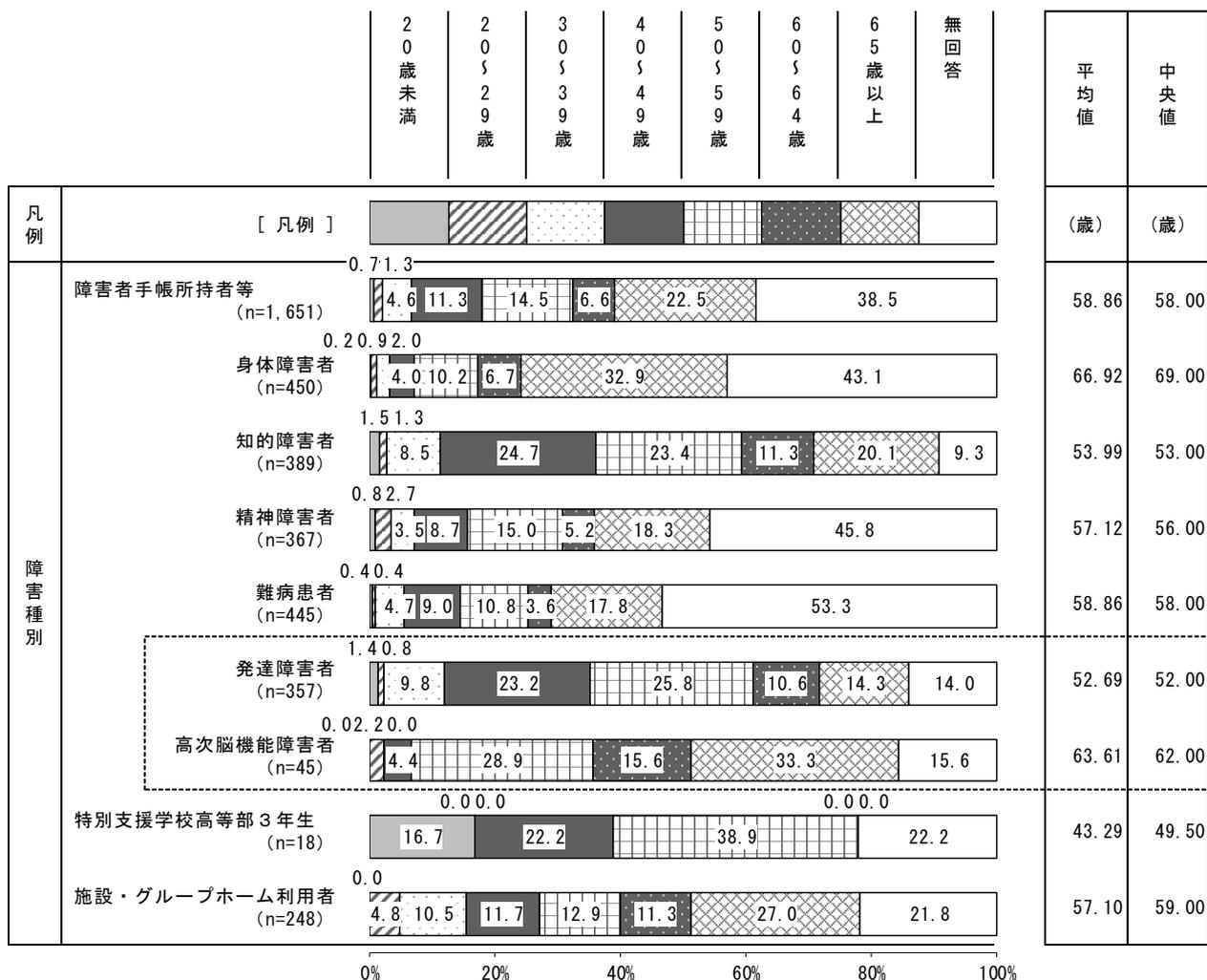
※1、※2 「配偶者（夫または妻）」「子ども」は障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者のみの選択肢

注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(2) 年齢を以下にご記入ください。(令和7年9月1日現在)

- 介助者の年齢について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者は「65歳以上」、特別支援学校高等部3年生は「50～59歳」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、精神障害者、難病患者、高次脳機能障害者は「65歳以上」、知的障害者は「40～49歳」、発達障害者は「50～59歳」が最も多くなっています。

【介助者の年齢】

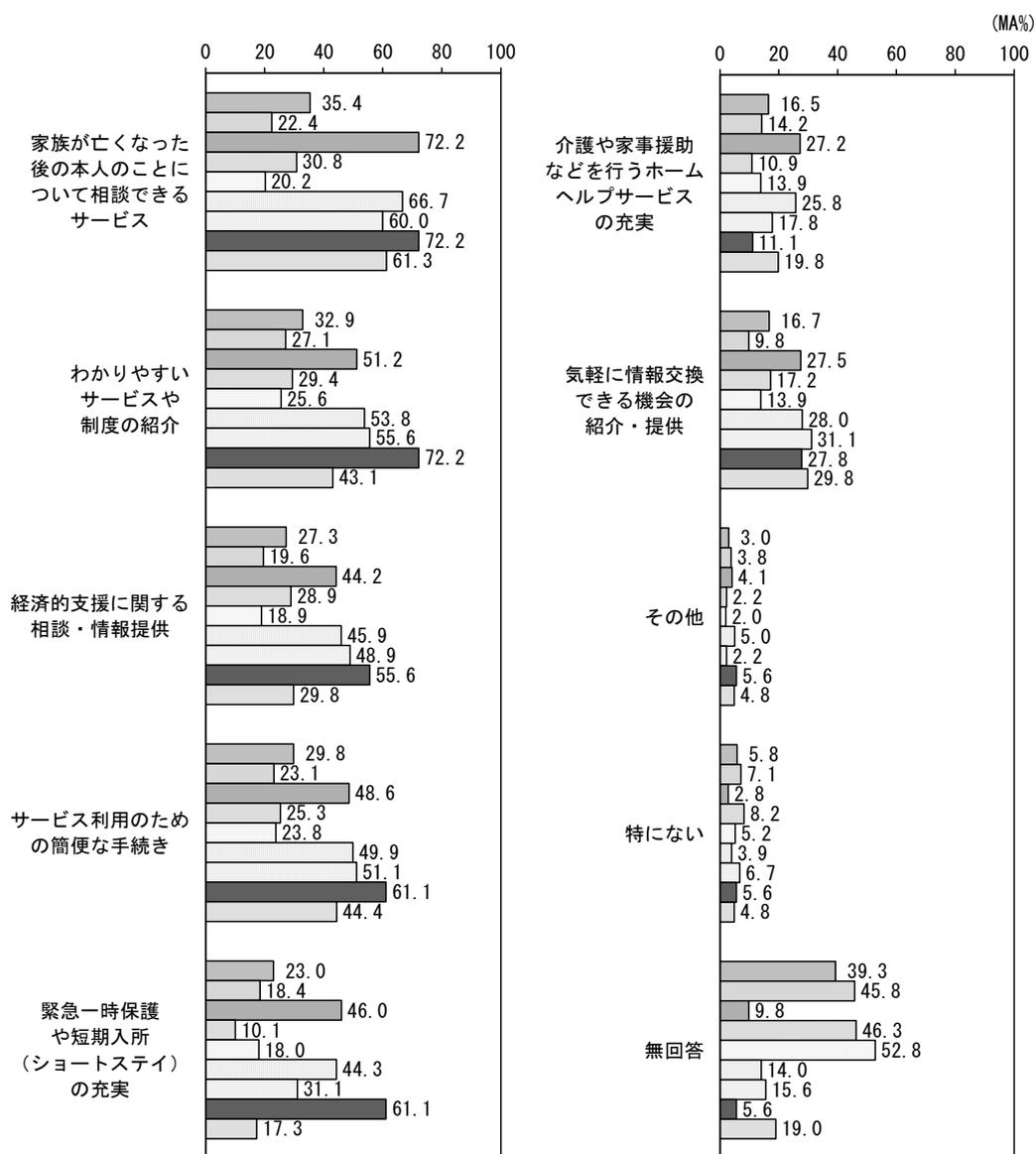


注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

(3) 介助者に必要と思われる支援はありますか。(MA)

- 介助者に必要な支援について、障害者手帳所持者等、施設・グループホーム利用者は「家族が亡くなった後の本人のすることについて相談できるサービス」、特別支援学校高等部3年生は「家族が亡くなった後の本人のすることについて相談できるサービス」と「わかりやすいサービスや制度の紹介」が最も多くなっています。
- 障害者手帳所持者等の内訳では、身体障害者、難病患者は「わかりやすいサービスや制度の紹介」、知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者は「家族が亡くなった後の本人のすることについて相談できるサービス」が最も多くなっています。

【介助者に必要な支援】



- 障害者手帳所持者等 (n=1,651)
- 身体障害者 (n=450)
- 知的障害者 (n=389)
- 精神障害者 (n=367)
- 難病患者 (n=445)
- 発達障害者 (n=357)
- 高次脳機能障害者 (n=45)
- 特別支援学校高等部3年生 (n=18)
- 施設・グループホーム利用者 (n=248)

注) 「発達障害者」「高次脳機能障害者」は、「障害者手帳所持者等」対象の調査で「発達障害や高次脳機能障害がある」と回答された方を内数で抽出しています。

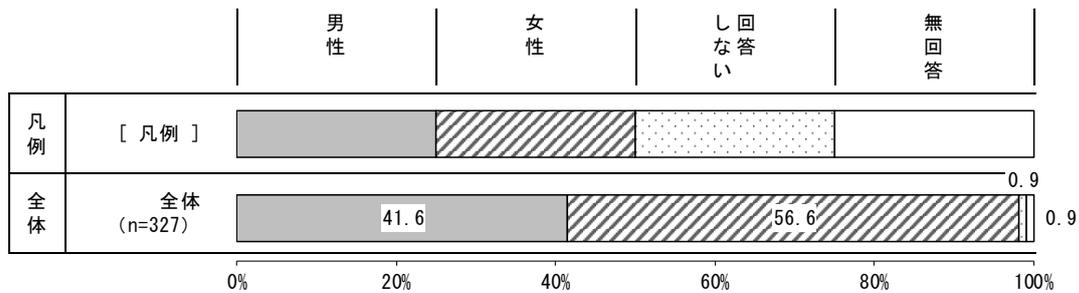
調査結果Ⅱ 障がいのない市民向け調査

1. 記入者・本人のことについて

(1) あなたの性別をお答えください。

○ 性別について、「女性」が56.6%で最も多く、次いで「男性」が41.6%、「回答しない」が0.9%となっています。

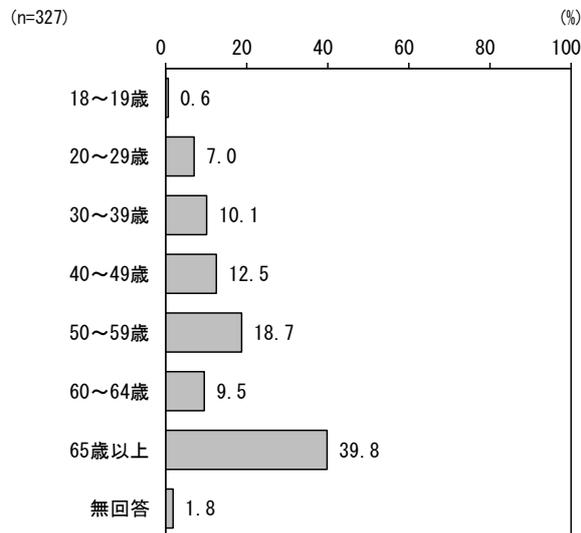
【性別】



(2) 年齢

○ 年齢について、「65歳以上」が39.8%で最も多く、次いで「50～59歳」が18.7%、「40～49歳」が12.5%となっています。

【年齢】

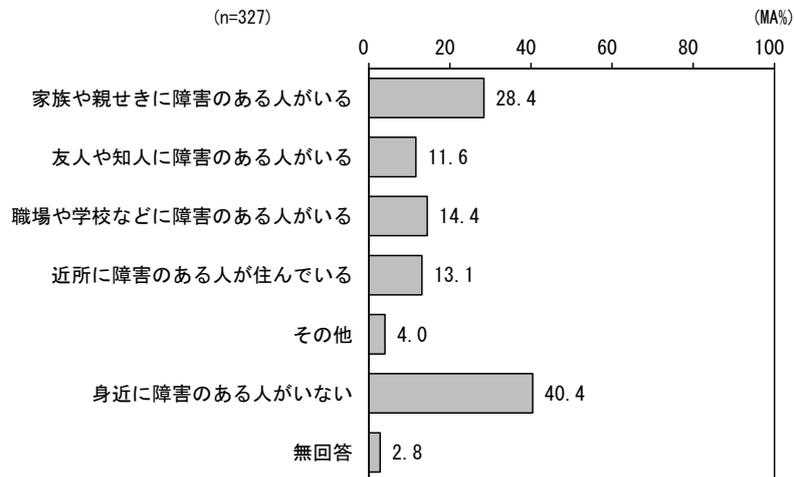


2. 障害者との関わりについて

(1) 身近に障害のある人はいますか。(MA)

- 身近に障害のある人はいるかについて、「身近に障害のある人がいない」が 40.4%で最も多く、次いで「家族や親せきに障害のある人がいる」が 28.4%、「職場や学校などに障害のある人がいる」が 14.4%となっています。

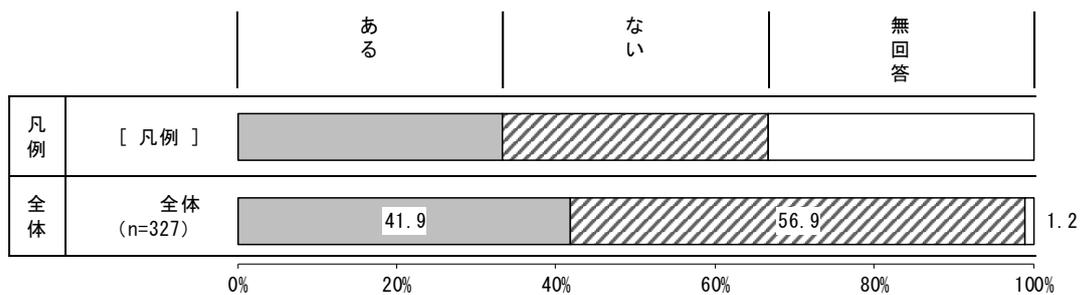
【身近に障害のある人はいるか】



(2) 普段の生活で、障害のある人と接する機会はありますか。

- 障害のある人と接する機会について、「ある」が 41.9%、「ない」が 56.9%となっています。

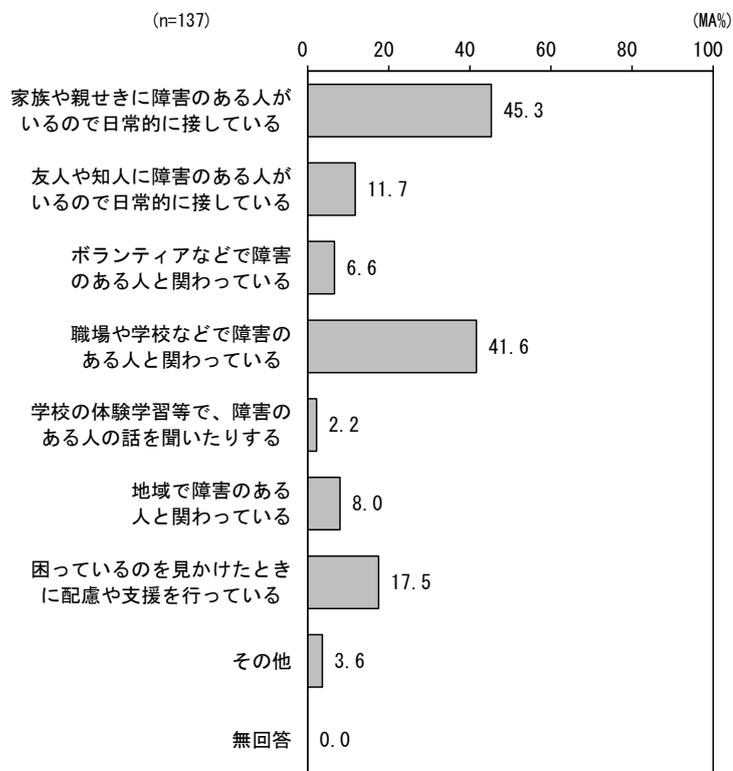
【障害のある人と接する機会】



(3) 障害のある人と接するのはどのような場面ですか。(MA)

- 障害のある人と接する場面について、「家族や親せきに障害のある人がいるので日常的に接している」が 45.3%で最も多く、次いで「職場や学校などで障害のある人と関わっている」が 41.6%、「困っているのを見かけたときに配慮や支援を行っている」が 17.5%となっています。

【障害のある人と接する場面】

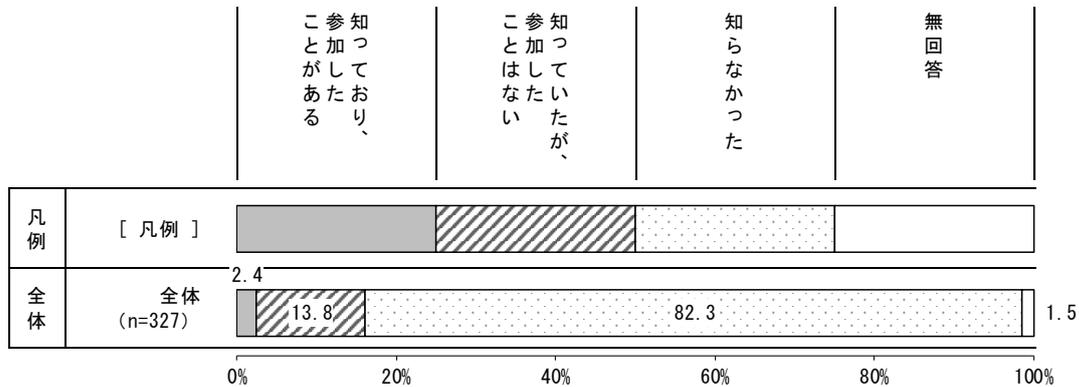


3. 障害福祉の知識について

(1) 「障害者週間の集い」を知っていますか。

○ 障害者週間の集いの認知状況について、「知らなかった」が 82.3%で最も多く、次いで「知っていたが、参加したことはない」が 13.8%、「知っており、参加したことがある」が 2.4%となっています。「知っており、参加したことがある」「知っていたが、参加したことはない」を合わせた“知っている”は 16.2%となっています。

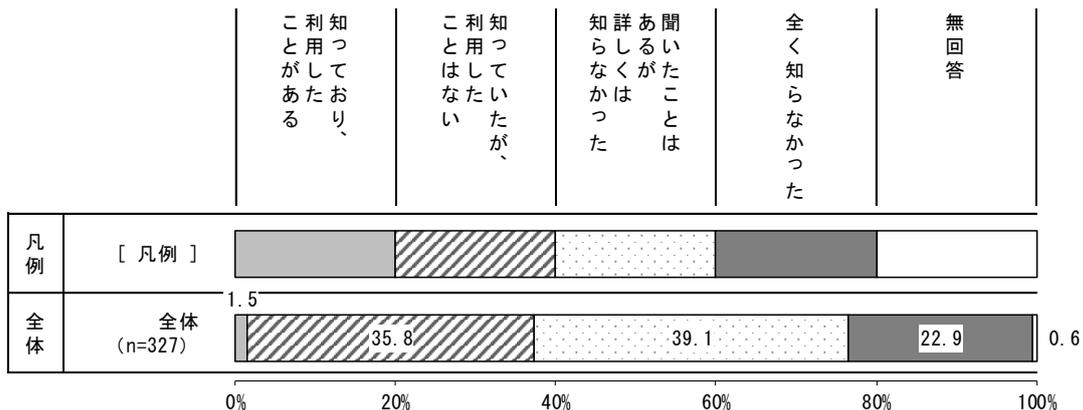
【障害者週間の集いの認知状況】



(2) 「成年後見制度」について知っていましたか。

○ 成年後見制度の認知状況について、「聞いたことはあるが詳しくは知らなかった」が 39.1%で最も多く、次いで「知っていたが、利用したことはない」が 35.8%、「全く知らなかった」が 22.9%となっています。「知っており、利用したことがある」「知っていたが、利用したことはない」を合わせた“知っている”は 37.3%となっています。

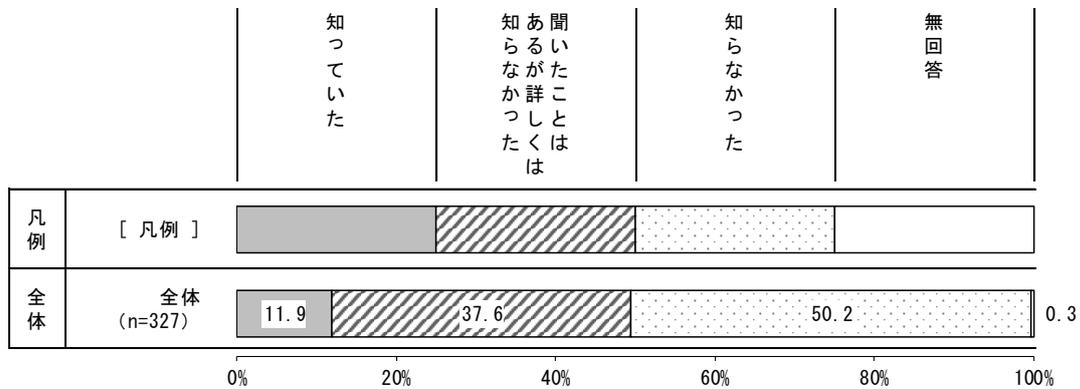
【成年後見制度の認知状況】



(3) 「地域共生社会」を知っていますか。

- 地域共生社会の認知状況について、「知らなかった」が 50.2%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが詳しくは知らなかった」が 37.6%、「知っていた」が 11.9%となっています。

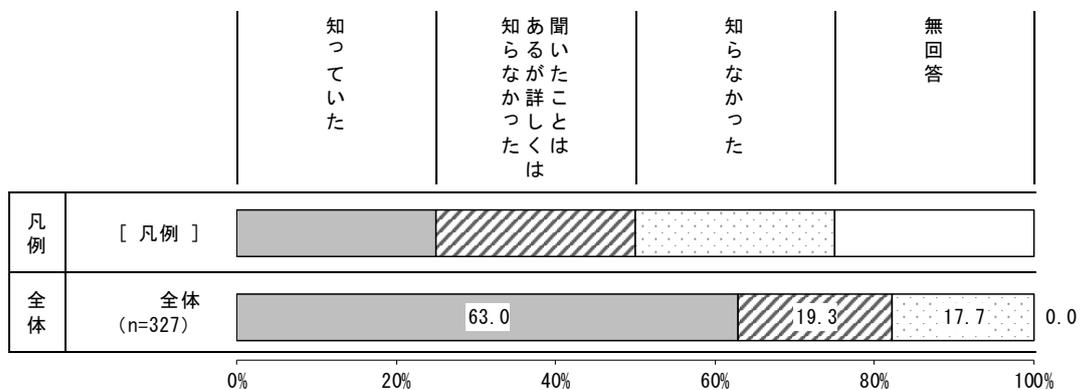
【地域共生社会の認知状況】



(4) 「ヘルプマーク」を知っていますか。

- ヘルプマークの認知状況について、「知っていた」が 63.0%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが詳しくは知らなかった」が 19.3%、「知らなかった」が 17.7%となっています。

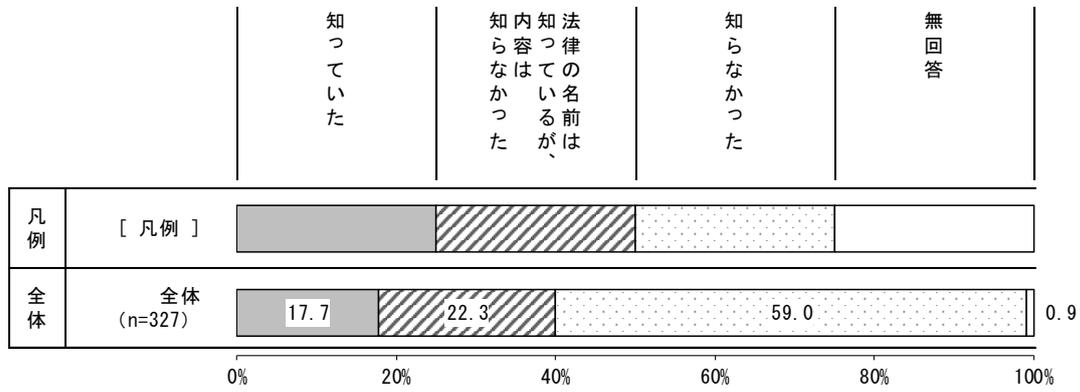
【ヘルプマークの認知状況】



(5) 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」を知っていますか。

○ 障害者差別解消法の認知状況について、「知らなかった」が 59.0%で最も多く、次いで「法律の名前は知っているが、内容は知らなかった」が 22.3%、「知っていた」が 17.7%となっています。

【障害者差別解消法の認知状況】

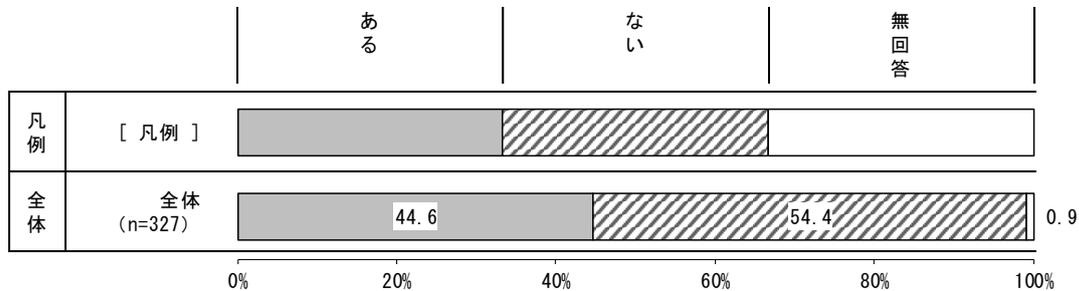


4. 障害への理解について

(1) 障害のある人への差別や偏見を感じたことはありますか。

○ 差別や偏見を感じたことの有無について、「ある」が 44.6%、「ない」が 54.4%となっています。

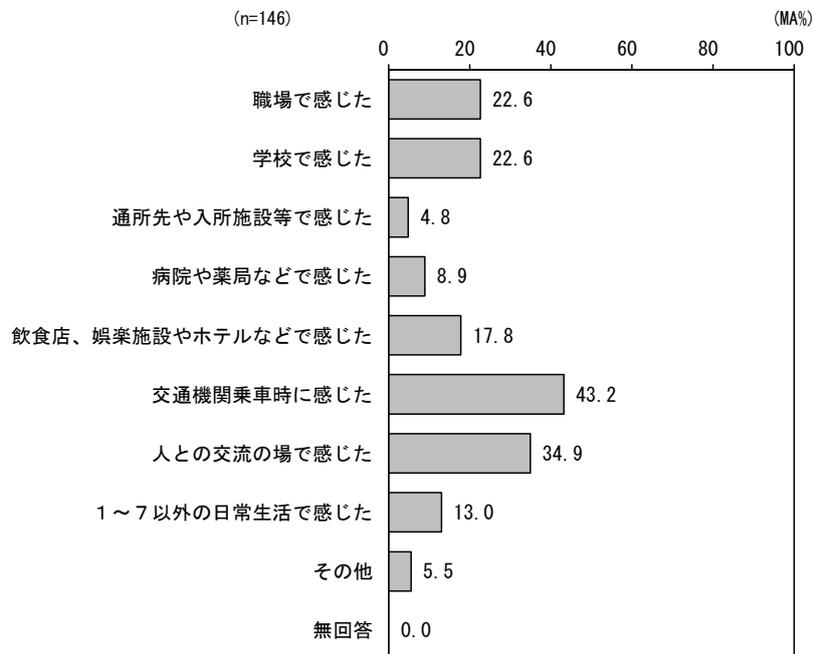
【差別や偏見を感じたことの有無】



(2) どのような場面で差別や偏見を感じましたか。(MA)

○ 差別や偏見を感じた場面について、「交通機関乗車時に感じた」が 43.2%で最も多く、次いで「人との交流の場で感じた」が 34.9%、「職場で感じた」「学校で感じた」が 22.6%となっています。

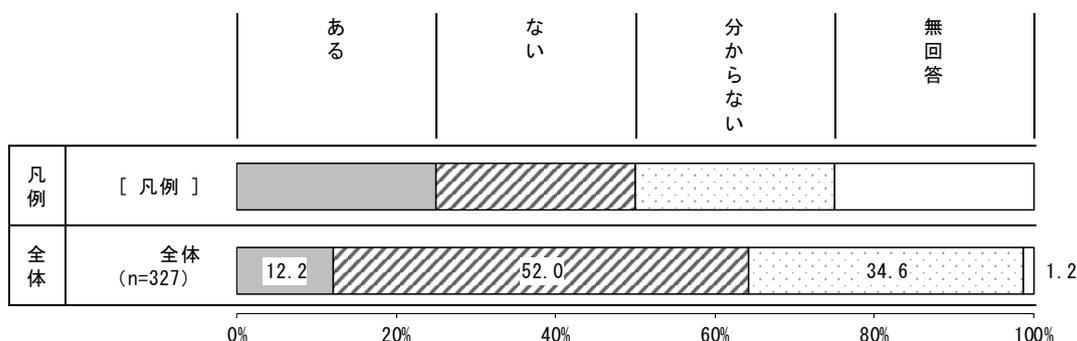
【差別や偏見を感じた場面】



(3) あなた自身に障害のある人に対して差別や偏見があると思いますか。

- 自身に差別や偏見があるかについて、「ない」が 52.0%で最も多く、次いで「分からない」が 34.6%、「ある」が 12.2%となっています。

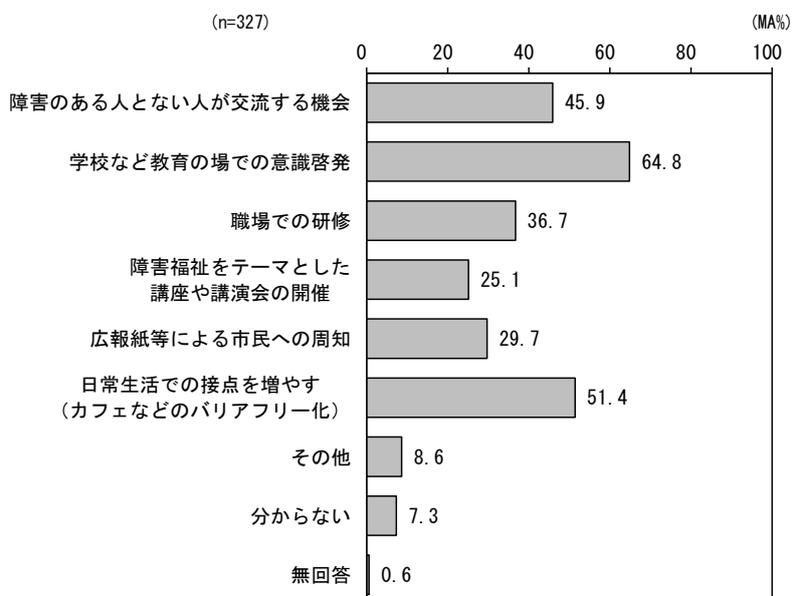
【自身に差別や偏見があるか】



(4) 障害のある人への誤解や偏見を解消するためにどのようなことが必要だと思いますか。(MA)

- 誤解や偏見を解消するために必要なことについて、「学校など教育の場での意識啓発」が 64.8%で最も多く、次いで「日常生活での接点を増やす (カフェなどのバリアフリー化)」が 51.4%、「障害のある人となない人が交流する機会」が 45.9%となっています。

【誤解や偏見を解消するために必要なこと】



(5) 障害のある人が地域で生活するためには何が重要だと思いますか。(MA)

- 障害のある人の地域での生活に必要なものについて、「道路・交通・建物のバリアフリー化」が70.6%で最も多く、次いで「地域の人たちの障害に対する理解」が68.2%、「就労のための支援」が56.0%となっています。

【障害のある人の地域での生活に必要なもの】

